



ECS2100 シリーズ

取扱説明書



HYTEC INTER Co., Ltd.

第 2.4 版

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、弊社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、弊社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

改版履歴

第 1 版	2017 年 05 月 11 日	新規作成
第 2 版	2017 年 06 月 05 日	ECS2100-10T、ECS2100-28T、ECS2100-28PP 追加
第 2.1 版	2017 年 09 月 29 日	製品概要を修正
第 2.2 版	2019 年 02 月 18 日	ECS2100-28PP の動作温度を修正
第 2.3 版	2019 年 10 月 16 日	製品保証期間を変更
第 2.4 版	2020 年 02 月 04 日	製品概要を修正

ご使用上の注意事項

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品及び付属品を直射日光の当たる場所や、温度の高い場所で使用しないでください。本体内部の温度が上がり、故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品を暖房器具などのそばに置かないでください。ケーブルの被覆が溶けて感電や故障、火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品をほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気のあたる場所で使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品を重ねて使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 通気口をふさがないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 通気口の隙間などから液体、金属などの異物を入れないでください。感電や故障の原因になることがあります。
- 付属のACアダプタは本製品専用となります。他の機器には接続しないでください。また、付属品以外のACアダプタを本製品に接続しないでください。
- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

目次

1. 製品概要	7
2. 梱包物一覧.....	7
3. 製品外観	8
3.1. 前面部.....	8
3.2. 背面部.....	13
4. スイッチの設置	14
5. 設定画面へのログイン.....	17
6. 設定.....	19
6.1. Dashboard.....	19
6.2. System.....	20
6.2.1. General	20
6.2.2. Switch	21
6.2.3. IP.....	22
6.2.4. IPv6 Configuration.....	24
6.2.5. Capability	28
6.2.6. File.....	29
6.2.7. Time	31
6.2.8. Console.....	35
6.2.9. Telnet.....	36
6.2.10. CPU Utilization	37
6.2.11. CPU Guard.....	39
6.2.12. Memory Status	40
6.2.13. Reset.....	41
6.3. Interface	43
6.3.1. Port.....	43
6.3.2. Trunk	50
6.3.3. Green Ethernet.....	61
6.3.4. Mirror.....	62

6.3.5.	RSPAN.....	63
6.3.6.	Traffic Segmentation.....	64
6.4.	VLAN	66
6.4.1.	Static.....	66
6.4.2.	Protocol.....	70
6.4.3.	MAC-Based	72
6.5.	MAC Address.....	73
6.5.1.	Dynamic.....	73
6.5.2.	Learning Status	75
6.5.3.	Static.....	76
6.5.4.	MAC Notification.....	77
6.6.	Spanning Tree	79
6.6.1.	Loopback Detection.....	79
6.6.2.	STA.....	80
6.6.3.	MSTP.....	84
6.7.	Traffic.....	88
6.7.1.	Rate Limit.....	88
6.7.2.	Storm Control	89
6.7.3.	Priority	90
6.7.4.	Diff Serv	96
6.7.5.	VoIP	98
6.8.	Security	101
6.8.1.	AAA.....	101
6.8.2.	User Accounts.....	113
6.8.3.	Network Access	115
6.8.4.	HTTPS	118
6.8.5.	SSH.....	120
6.8.6.	ACL.....	123
6.8.7.	IP Filter.....	131
6.8.8.	Port Security.....	132
6.8.9.	Port Authentication	133
6.8.10.	DoS Protection.....	136
6.8.11.	DHCP Snooping.....	137
6.8.12.	IP Source Guard	139
6.8.13.	ARP Inspection.....	143
6.9.	Administration	145
6.9.1.	Log.....	145
6.9.2.	LLDP.....	149

6.9.3.	PoE.....	154
6.9.4.	SNMP	156
6.9.5.	RMON.....	165
6.9.6.	Time Range	169
6.9.7.	LBD.....	171
6.10.	Tool	173
6.10.1.	Ping.....	173
6.10.2.	Trace Route.....	174
6.10.3.	ARP.....	175
6.11.	IP Service	176
6.11.1.	DNS.....	176
6.11.2.	DHCP	180
6.12.	Multicast.....	183
6.12.1.	IGMP Snooping	183
6.12.2.	MLD Snooping.....	193
7.	製品仕様	200
8.	困ったときは	204
9.	製品保証	205

1. 製品概要

ECS2100 シリーズ(ECS2100-10T/28T/10P/28P/28PP)は、RJ-45 ポート(10/100/1000BASE-T)を 8 ポート/24 ポート、SFP ポート(1000BASE-SX/LX/ZX)を 2 ポート/4 ポート持つ、スマートイーサネットスイッチです。

ECS2100-10P のポート 1～8、ECS2100-28P/28PP のポート 1～24 は、IEEE 802.3af/at 準拠の PoE(Power over Ethernet)に対応し、PSE(Power Sourcing Equipment)として PD 機器(Power Device)に電源を供給することができます。

SFP ポートは、両機種とも DDM(Digital Diagnostic Monitoring)に対応し、リアルタイムで SFP ポートの動作状態を監視することができます。

2. 梱包物一覧

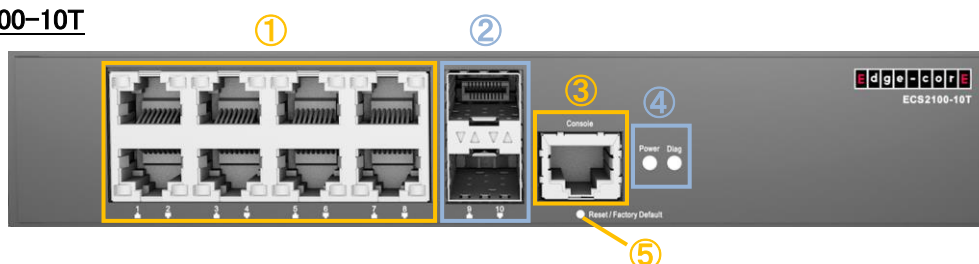
ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

名 称	数 量
本体	1 台
AC アダプタ	1 個
ゴム足	4 個
19 インチラックマウントキット	1 個

3. 製品外觀

3.1. 前面部

EC2100-10T



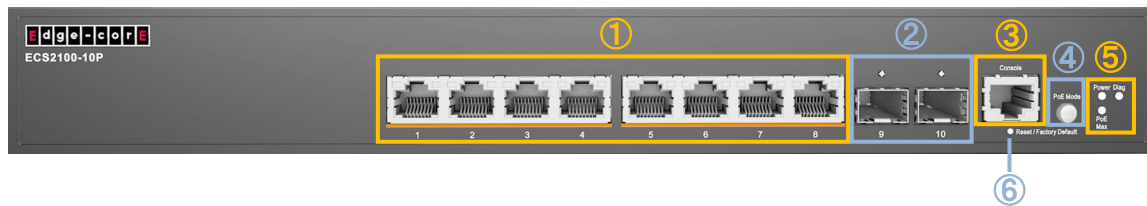
#	表示	説明
①	1~8 port	【RJ-45 ポート】 ・10/100/1000BASE-T ・オートネゴシエーション ・オート MDI/MDI-X ・フローコントロール
②	9,10 port	【SFP ポート】 ・1000BASE-SX/LX/ZX ・DDM (Digital Diagnostic Monitoring)
③	Console	【コンソールポート】 ・RJ-45 コネクタ ・RS232 インタフェース
④	LED	システムステータスを LED で表示します。
⑤	Reset / Factory Default	再起動: リセットボタンを 5 秒未満押します。 初期化: リセットボタンを 5 秒以上押します。

- LED



名称	状態	説明
Power	消灯	AC 電源が接続されていないか、内部電源が故障しています。
	緑点灯	内部電源は正常に動作しています。
Diag	消灯	システムの起動に失敗しました。
	緑点滅	システム診断テストを行っています。
	緑点灯	システム診断テストが正常に完了しました。

EC2100-10P



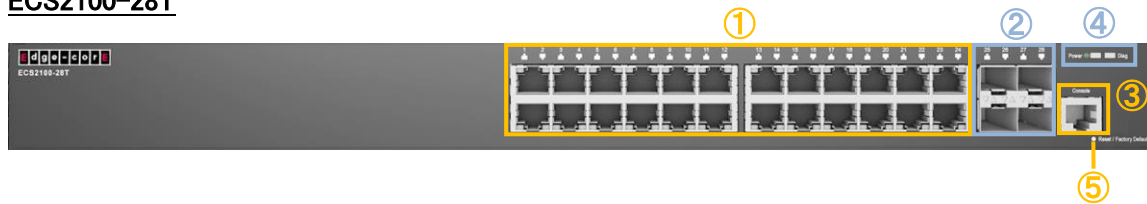
#	表示	説明
①	1～8 port	【RJ-45 ポート】 ・10/100/1000BASE-T ・オートネゴシエーション ・オート MDI/MDI-X ・フローコントロール ・PoE (Power over Ethernet)
②	9,10 port	【SFP ポート】 ・1000BASE-SX/LX/ZX ・DDM (Digital Diagnostic Monitoring)
③	Console	【コンソールポート】 ・RJ-45 コネクタ ・RS232 インタフェース
④	PoE Mode	ポート LED が PoE ステータスを表示するように変更できます。
⑤	LED	システムステータスを LED で表示します。
⑥	Reset / Factory Default	再起動: リセットボタンを 5 秒未満押します。 初期化: リセットボタンを 5 秒以上押します。

・LED



名称	状態	説明
Power	消灯	AC 電源が接続されていないか、内部電源が故障しています。
	緑点灯	内部電源は正常に動作しています。
Diag	消灯	システムの起動に失敗しました。
	緑点滅	システム診断テストを行っています。
	緑点灯	システム診断テストが正常に完了しました。
PoE Max	橙点灯	スイッチの PoE デバイスの電力システムの制限に達しました。

ECS2100-28T



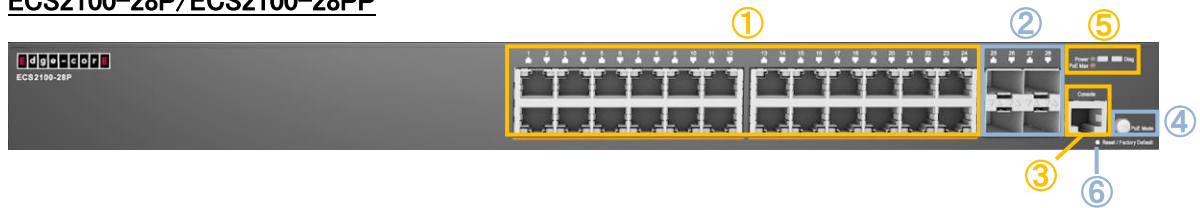
#	表示	説明
①	1～24 port	【RJ-45 ポート】 ・10/100/1000BASE-T ・オートネゴシエーション ・オート MDI/MDI-X ・フローコントロール
②	25～28 port	【SFP ポート】 ・1000BASE-SX/LX/ZX ・DDM (Digital Diagnostic Monitoring)
③	Console	【コンソールポート】 ・RJ-45 コネクタ ・RS232 インタフェース
④	LED	システムステータスを LED で表示します。
⑤	Reset / Factory Default	再起動: リセットボタンを 5 秒未満押します。 初期化: リセットボタンを 5 秒以上押します。

・LED



名称	状態	説明
Power	消灯	AC 電源が接続されていないか、内部電源が故障しています。
	緑点灯	内部電源は正常に動作しています。
Diag	消灯	システムの起動に失敗しました。
	緑点滅	システム診断テストを行っています。
	緑点灯	システム診断テストが正常に完了しました。

ECS2100-28P/ECS2100-28PP



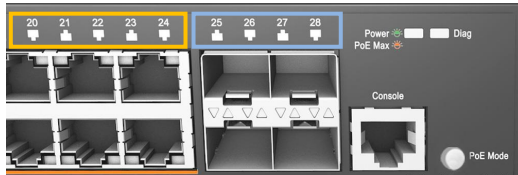
#	表示	説明
①	1～24 port	【RJ-45 ポート】 ・10/100/1000BASE-T ・オートネゴシエーション ・オート MDI/MDI-X ・フローコントロール ・PoE (Power over Ethernet)
②	25～28 port	【SFP ポート】 ・1000BASE-SX/LX/ZX ・DDM (Digital Diagnostic Monitoring)
③	Console	【コンソールポート】 ・RJ-45 コネクタ ・RS232 インタフェース
④	PoE Mode	ポート LED が PoE ステータスを表示するように変更できます。
⑤	LED	システムステータスを LED で表示します。
⑥	Reset / Factory Default	再起動: リセットボタンを 5 秒未満押します。 初期化: リセットボタンを 5 秒以上押します。

・LED



名称	状態	説明
Power PoE Max	消灯	AC 電源が接続されていないか、内部電源が故障しています。
	緑点灯	内部電源は正常に動作しています。
	橙点灯	スイッチの PoE デバイスの電力システムの制限に達しました。
Diag	消灯	システムの起動に失敗しました。
	緑点滅	システム診断テストを行っています。
	緑点灯	システム診断テストが正常に完了しました。

・ポートステータス LED



RJ-45 Port Link/Activity LEDs

LED	状態	説明
Link/Activity	消灯	リンクダウンしています。
	緑点灯	1000Mbps でリンクしています。 点滅は、ポート上のトラフィックを示します。
	橙点灯	100Mbps でリンクしています。 点滅は、ポート上のトラフィックを示します。
PoE Mode※	消灯	PoE 電源を供給しません。
	橙点灯	PoE デバイスが接続され、PoE 電源を供給します。

※ PoE Mode は“PoE Mode ボタン”を押した場合の表示です。

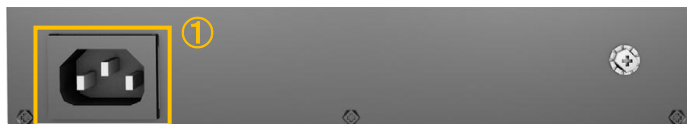
(ECS2100-10P/ECS2100-28P)

SFP/Support Link/Activity LEDs

LED	状態	説明
Link/Activity	消灯	リンクダウンしています。
	緑点灯	1000Mbps でリンクしています。 点滅は、ポート上のトラフィックを示します。
	橙点灯	100Mbps でリンクしています。 点滅は、ポート上のトラフィックを示します。

3.2. 背面部

ECS2100-10T



#	表示	説明
①	Power	AC 100-240V,50-60Hz を供給します。

ECS2100-10P



#	表示	説明
①	Power	AC 100-240V,50-60Hz を供給します。

ECS2100-28T/ECS-2100-28P



#	表示	説明
①	Power	AC 100-240V,50-60Hz を供給します。

ECS-2100-28PP



#	表示	説明
①	Power	AC 100-240V,50-60Hz を供給します。

4. スイッチの設置

本章では、本製品の設置方法について説明します。

設置スペースの確保

下記条件を満たす場所に設置されていることを推奨します。

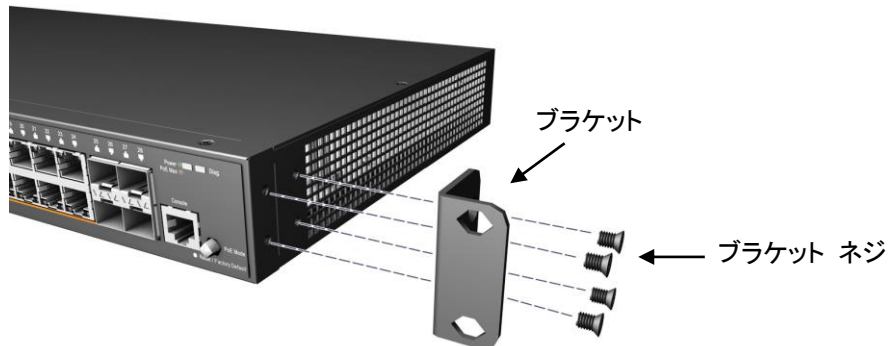
- ・ 温度範囲 : 0～40℃ (ECS2100-10P/28PP) 、0～50℃ (ECS2100-10T/28T/28P)
- ・ 湿度 : 10～90%(結露なきこと)
- ・ 本体側面にある通気口を塞がない設置方法

19 インチラックマウントキット取付け方法

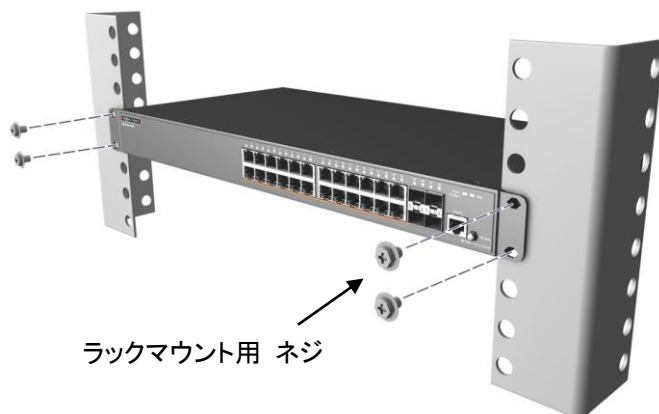
付属品の 19 インチラックマウントキットを使用して、スイッチをラックに設置します。

スイッチをラックに取り付けるには次の手順を実行します。

1. ラックマウントキットの付属のネジを使用して、ブラケットを本機に取り付けます。



2. スイッチをラックに持ち上げ穴に合わせます。
3. 4 個のラックマウント用ネジ(別売)を使用して、スイッチをラックに固定する必要があります。



4. 複数のスイッチを設置する場合は、1～3 の手順を繰り返してください。

棚またはデスクトップにスイッチを設置する方法

スイッチを、棚やデスクトップなどの平らな面に設置します。

スイッチを平らな面に設置するには、次の手順を実行します。

1. 付属のゴム足 4 つをスイッチの底に取り付けます。



2. 装置を平らな面に置き、適切な空気の流のためすべての面に 5 センチ以上のスペースがあることを確認します。

5. 設定画面へのログイン

WEB ブラウザを使用して、ECS2100-28P の設定を行います。

- 推奨ブラウザ

Internet Explorer バージョン 11

注) Windows10 は正式サポートしていないため、正常動作しない可能性があります。

- ログイン初期設定

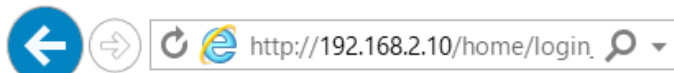
IP アドレス : 192.168.2.10/24

ユーザ名 : admin

パスワード : admin

- ログイン手順

1. ブラウザのアドレスバーに”192.168.2.10”を入力して接続します。



2. ユーザ名とパスワードを入力して、”Login”をクリックします。



3. ログインに成功すると、下図の画面 (Dashboard) が表示されます。



6. 設定

6.1. Dashboard

本機の情報を表示します。

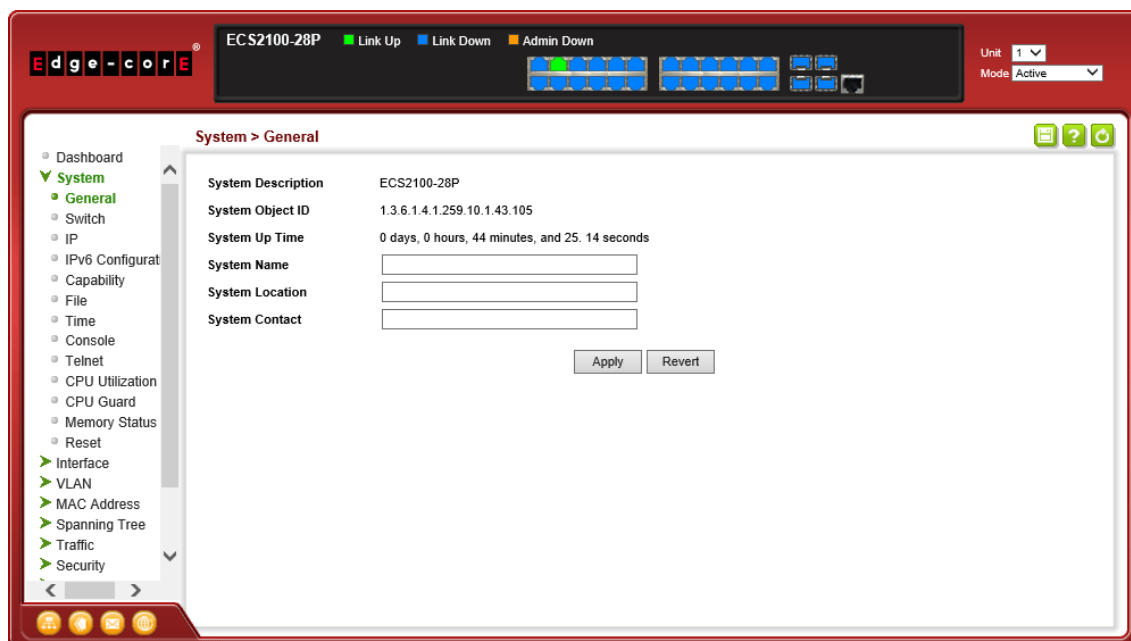


表示	説明
Switch Information	本機のモデルやシリアルナンバー等の、本機の情報を表示します。
CPU Utilization	CPU 使用率を表示します。
Switch Event	本機で発生しているイベントをグラフで表示します。
Memory Utilization	メモリ使用率を表示します。
Recent 5 Event Information	最新の 5 件までのイベントを表示します。
Port Utilization	ポートの使用率を表示します。
Dynamic Address Count	動的に学習した MAC アドレスのカウントを表示します。
LLDP Remote Device Port List	接続されている LLDP に対応したデバイスの情報を表示します。

6.2. System

6.2.1. General

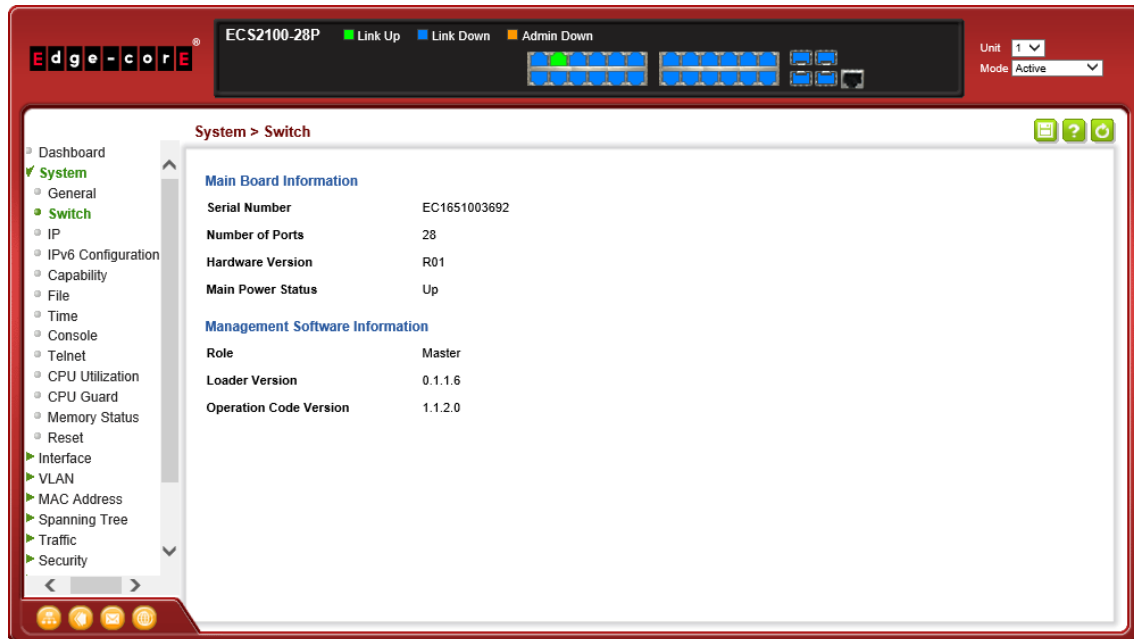
システムに関する設定を行います。



表示	説明
System Description	デバイスタイプを表示します。
System Object ID	システムオブジェクト ID を表示します。
System Up Time	システム稼働時間を表示します。
System Name	スイッチシステムに割り当てる名前を入力します。
System Location	システムの場所を指定します。
System Contact	システム担当者を入力します。

6.2.2. Switch

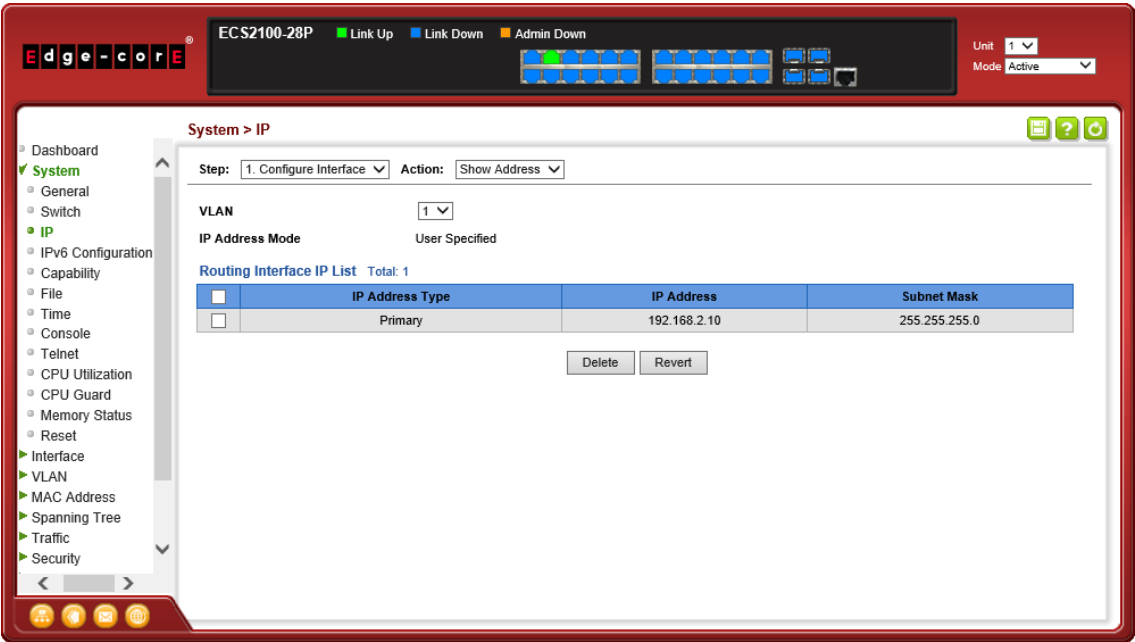
本機のメインボード情報及びソフトウェア情報を表示します。



表示	説明
Serial Number	スイッチのシリアルナンバーを表示します。
Number of Ports	組み込みポートの数を表示します。
Hardware Version	ハードウェアバージョンを表示します。
Main Power Status	内部電源の状態を表示します。
Role	スイッチがマスター又はスレーブとして動作していることを表示します。
Loader Version	読み込みコードのバージョンを表示します。
Operation Code Version	ランタイムコードのバージョンを表示します。

6.2.3. IP

IP アドレスに関する設定を行います。



● **Step: 1.Configure Interface – Action: Show Address**

各 VLAN に設定している IP アドレス設定の確認を行います。

Step:	1. Configure Interface	Action:	Show Address
VLAN 1			
IP Address Mode User Specified			
Routing Interface IP List Total: 1			
<input type="checkbox"/>	IP Address Type	IP Address	Subnet Mask
<input type="checkbox"/>	Primary	192.168.2.10	255.255.255.0
<div>Delete Revert</div>			

表示	説明
VLAN	VLAN を選択します。
IP Address Mode	IP アドレスのモードを表示します。
Routing Interface IP List	IP アドレスのタイプ、IP アドレス、サブネットマスクのリストを表示します。

- **Step: 1.Configure Interface – Action: Add Address**

各 VLAN に IP アドレスを設定します。

Step:	1. Configure Interface ▼	Action:	Add Address ▼
VLAN	1 ▼		
IP Address Mode	DHCP ▼		
IP Address Type	Primary ▼		
IP Address	<input type="text"/>		
Subnet Mask	<input type="text"/>		
<input type="button" value="Restart DHCP"/> Click this button to resend DHCP client request.			
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>			

表示	説明
VLAN	VLAN を選択します。
IP Address Mode	User Specified、DHCP、BOOTP から選択します。
IP Address Type	Primary、Secondary から選択します。
IP Address	IP アドレスを入力します。
Subnet Mask	サブネットマスクを入力します。
<input type="button" value="Restart DHCP"/>	クリックすると DHCP サーバへの要求を再送します。

- **Step: 2.Configure Global**

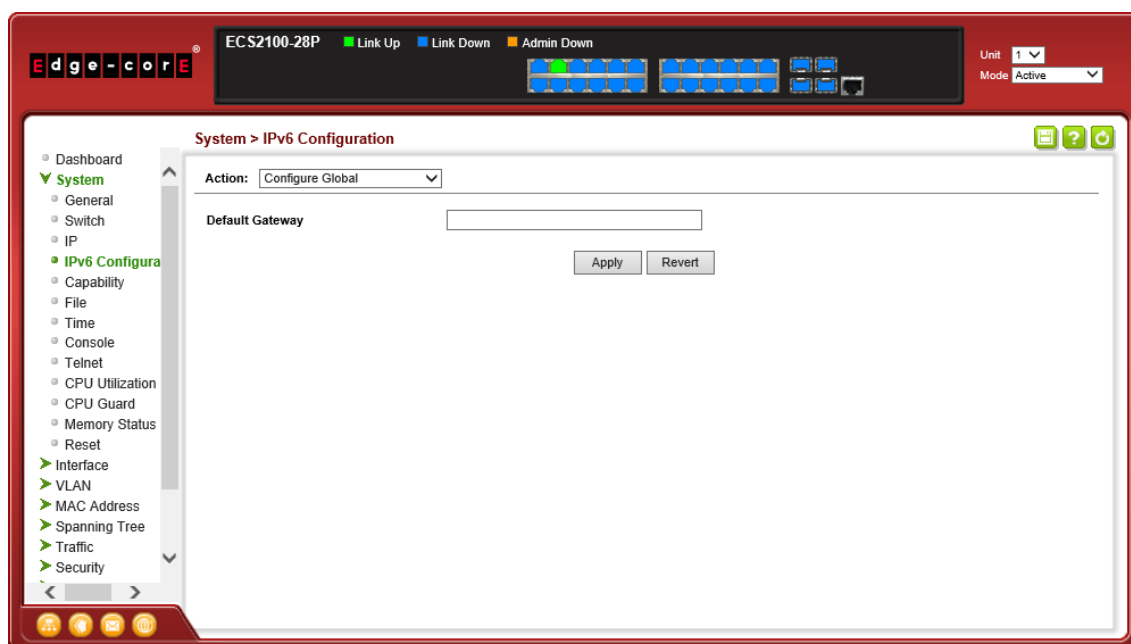
デフォルトゲートウェイを設定します。

Step:	2. Configure Global ▼
Gateway IP Address	<input type="text"/>
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
Gateway IP Address	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。

6.2.4. IPv6 Configuration

IPv6 に関する設定を行います。



- **Action: Configure Global**

デフォルトゲートウェイを設定します。

Action:	Configure Global
Default Gateway	<input type="text"/>
	<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>

表示	説明
Default Gateway	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。

- **Action: Configure Interface**

VLAN 毎に基本設定を行います。

Action: Configure Interface

VLAN

1

Address Autoconfig

☐ Enabled

Enable IPv6 Explicitly

☐ Enabled

MTU (1280-65535)

1500

bytes

ND DAD Attempts (0-600)

3

ND NS Interval (1000-3600000)

1000

ms

ND Reachable-Time (0-3600000)

30000

ms

Restart DHCPv6

Click this button to restart DHCPv6 service.

Apply

Revert

表示	説明
VLAN	VLAN を選択します。
Address Autoconfig	ステートレス自動設定の有効/無効を設定します。
MTU	インタフェース上で送信されるIPv6 パケットの最大伝送ユニット(MTU)のサイズを設定します。
ND DAD Attempts	IPv6 インタフェースにおける重複検出(DAD)パケットの送信回数を設定します。
ND NS Interval	IPv6 ネイバー送信要求メッセージを送信する間隔を指定します。
ND Reachable-Time	隣接ノードの到達性についての情報の有効時間を指定します。
<div>Restart DHCPv6</div>	クリックすると DHCP サーバへの要求を再送します。

- **Action: Add IPv6 Address**

各 VLAN に IP アドレスを設定します。

Action: Add IPv6 Address

VLAN

1

Address Type

Global

IPv6 Address

Apply

Revert

表示	説明
VLAN	VLAN を選択します。
Address Type	アドレスタイプ (Link Local、EUI-64、Global) を選択します。
IPv6 Address	IPv6 のアドレスを入力します。

- **Action: Show IPv6 Address**

各 VLAN に設定している IP アドレス設定の確認を行います。

Action: Show IPv6 Address		
VLAN 1		
IPv6 Address List Total: 0		
IPv6 Address Type	IPv6 Address	Configuration Mode

表示	説明
VLAN	VLAN を選択します。
IPv6 Address List	登録した IPv6 のアドレス情報を表示します。

- **Action: Show IPv6 Neighbor Cache**

Neighbor Discovery キャッシュを表示します。

Action: Show IPv6 Neighbor Cache				
Current Neighbor Cache Table Total: 0				
IPv6 Address	Age	Link-layer Address	State	VLAN

表示	説明
Current Neighbor Cache Table	Neighbor Discovery キャッシュを表示します。

- **Action: Show Statistics**

統計情報を表示します。

Action: Show Statistics			
Type <input checked="" type="radio"/> IPv6 <input type="radio"/> ICMPv6 <input type="radio"/> UDP			
IPv6 Statistics			
Total Received	0	Received Reassembly Succeeded	0
Received Header Errors	0	Received Reassembly Failed	0
Received Too Big Errors	0	Transmitted Forwards Datagrams	0
Received No Routes	0	Transmitted Requests	0
Received Address Errors	0	Transmitted Discards	0
Received Unknown Protocols	0	Transmitted No Routes	0
Received Truncated Packets	0	Transmitted Generated Fragments	0
Received Discards	0	Transmitted Fragment Succeeded	0
Received Delivers	0	Transmitted Fragment Failed	0
Received Reassembly Request Datagrams	0		
Clear			

表示	説明
Type	IPv6、ICMPv6、UDP から選択します。
Statistics	タイプごとの統計を表示します。

- **Action: Show MTU**

MTU の情報を表示します。

Action:

Show MTU

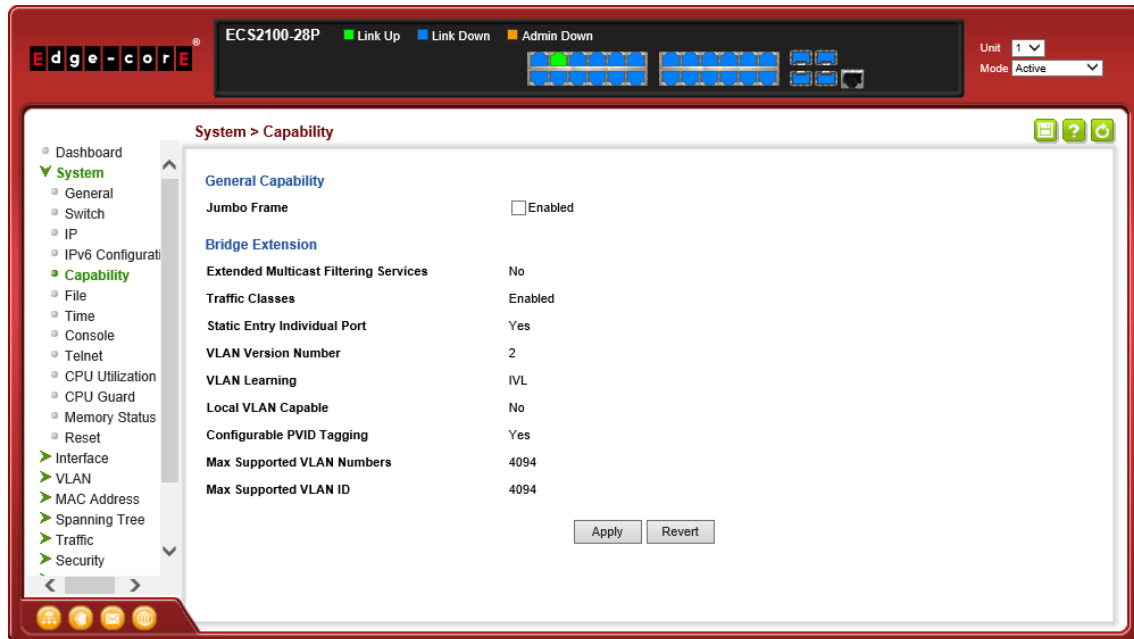
MTU Table Total: 0

MTU	Since	Destination Address
-----	-------	---------------------

表示	説明
MTU Table	スイッチへの受け入れ可能な MTU とともに、ICMP パケットメッセージを返送した宛先の MTU キャッシュを表示します。

6.2.5. Capability

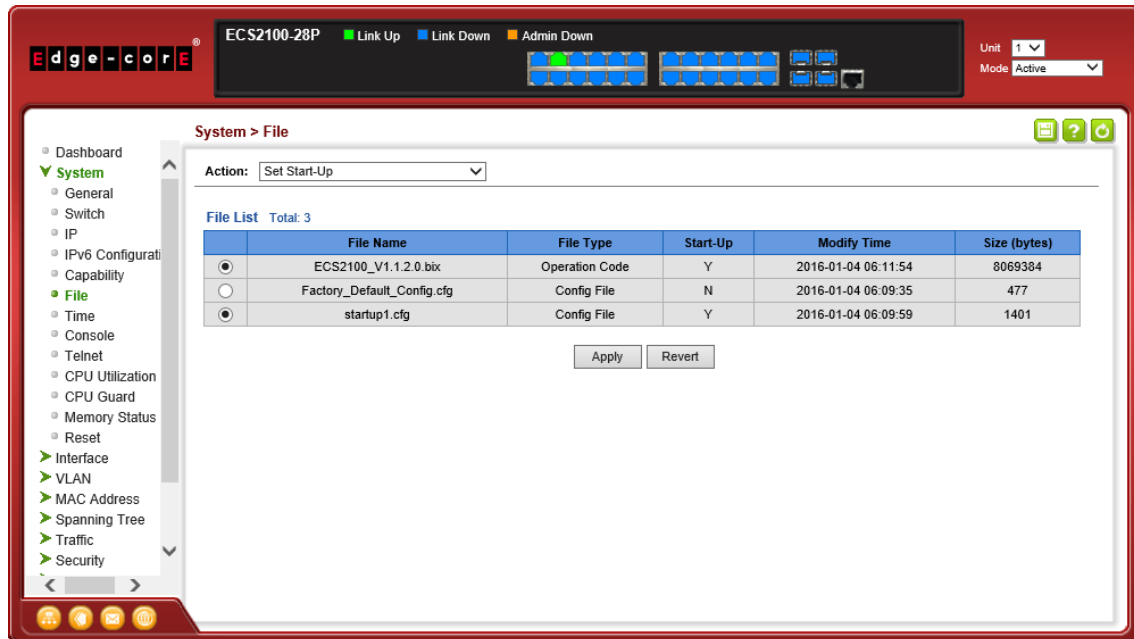
本機の能力の表示及び、ジャンボフレームの有効/無効の設定を行います。



表示	説明
General Capability	ジャンボフレームを有効/無効を選択する。
Bridge Extension	Bridge MIB に基づく設定を表示します。 マルチキャストフィルタリング、トラフィッククラス、および仮想 LAN をサポートする管理対象デバイスの拡張機能が含まれています。

6.2.6. File

本機に保存されているファイルを管理します。



- **Action: Set Start-Up**

スタートアップコンフィグを選択します。

Action: Set Start-Up

File List Total: 3

	File Name	File Type	Start-Up	Modify Time	Size (bytes)
<input checked="" type="radio"/>	ECS2100_V1.1.2.0.bix	Operation Code	Y	2016-01-04 06:11:54	8069384
<input type="radio"/>	Factory_Default_Config.cfg	Config File	N	2016-01-04 06:09:35	477
<input checked="" type="radio"/>	startup1.cfg	Config File	Y	2016-01-04 06:09:59	1401

Apply Revert

- **Action: Show**

ファイル名やファイルサイズ等の情報を表示します。

Action: Show

File List Total: 3

	File Name	File Type	Start-Up	Modify Time	Size (bytes)
<input type="checkbox"/>	ECS2100_V1.1.2.0.bix	Operation Code	Y	2016-01-04 06:11:54	8069384
<input type="checkbox"/>	Factory_Default_Config.cfg	Config File	N	2016-01-04 06:09:35	477
<input type="checkbox"/>	startup1.cfg	Config File	Y	2016-01-04 06:09:59	1401

Delete Revert

- **Action: Copy**

ファイルのコピーを行います。

Action: Copy ▼	
Copy Type	Running-Config ▼
Destination File Name	<input checked="" type="radio"/> startup1.cfg ▼ <input type="radio"/> <input type="text"/>
Apply Revert	

表示	説明
Copy Type	コピー操作するタイプを選択します。
Destination File Name	現在指定されているスタートアップファイル又は新しいファイルにコピーします。

- **Action: Automatic Operation Code Upgrade**

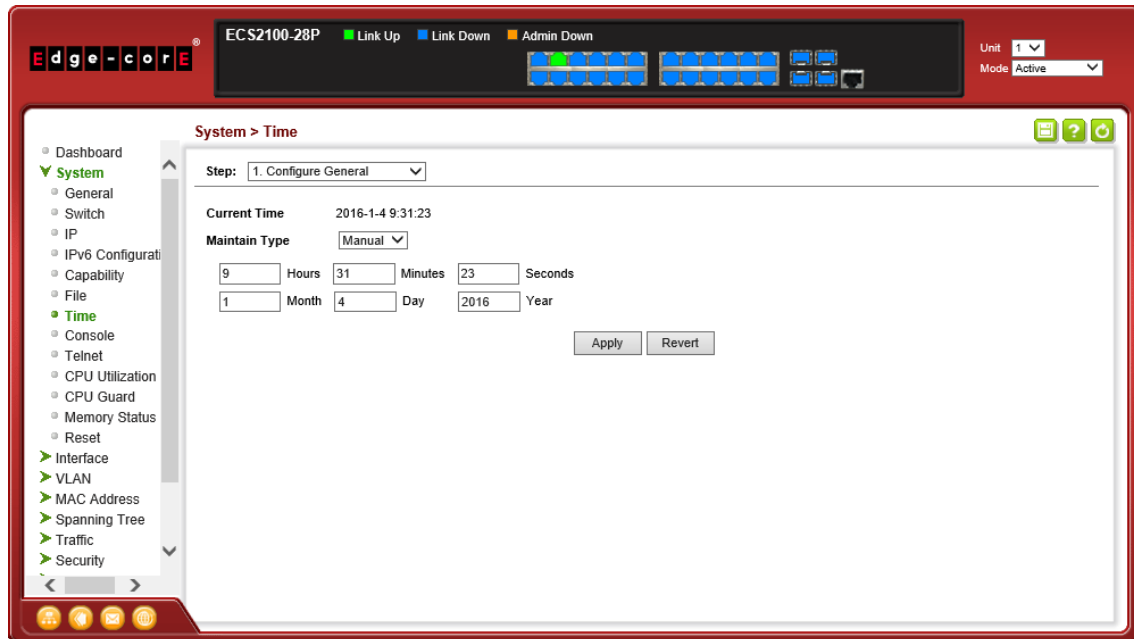
オペレーションコードの自動更新についての設定を行います。

Action: Automatic Operation Code Upgrade ▼	
Automatic Opcode Upgrade	<input type="checkbox"/> Enabled
Automatic Upgrade Location URL	<input type="text"/>
<small>Note: For automatic upgrades, the operation code file name must be set as ECS2100-series.bix.</small>	
Apply Revert	

表示	説明
Automatic Opcode Upgrade	<p>現在インストールされているファイルよりも新しいファイルがファイルサーバ上で検出された場合、オペレーションコードファイルを自動的にダウンロードします。</p> <p>正常にファイルシステムに書き込まれると、自動的にスタートアップファイルとして設定され、スイッチが再起動します。</p>
Automatic Upgrade Location URL	スイッチがオペレーションコードのアップグレードファイルを検索する場所を指定します。

6.2.7. Time

時刻に関する設定を行います。



- **Step: 1. Configure General**

時刻の基本設定を行います。

Step: 1. Configure General	
Current Time	2016-1-4 9:31:23
Maintain Type	Manual
9 Hours	31 Minutes
23 Seconds	
1 Month	4 Day
2016 Year	
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
Current Time	現在の日付・時刻を表示します。
Maintain Type	<p>日付・時刻の設定方法を下から選択します。</p> <p>Manual : 日付・時刻を手動で入力します。</p> <p>SNTP : SNMP Polling Interval (NTP サーバからの時間更新の要求送信間隔)を入力します。Configure SNTP Server へ。</p> <p>NTP : Authentication Status (スイッチとNTP サーバ間の時間要求と更新の認証)の有効/無効を選択します。</p> <p>Polling Interval は固定されています。Add NTP Server へ。</p>

- **Step: 2.Configure Time Server – Action: Configure SNTP Server**

SNTP サーバの登録を行います。

Step: 2. Configure Time Server Action: Configure SNTP Server

SNTP Server IP Address 1

SNTP Server IP Address 2

SNTP Server IP Address 3

Apply Revert

表示	説明
SNTP Server IP Address 1～3	最大 3 つのタイムサーバの IP アドレスを設定します。 上にあるサーバから順に更新を試みます。

- **Step: 2.Configure Time Server – Action: Add NTP Server**

NTP サーバの登録を行います。

Step: 2. Configure Time Server Action: Add NTP Server

NTP Server IP Address

Version 3

Authentication Key (1-65535) (optional)

Apply Revert

表示	説明
NTP Server IP Address	タイムサーバの IP アドレスを設定します。
Version	サーバでサポートされている NTP バージョンで固定されています。
Authentication Key	設定されたサーバとの認証に使用する NTP 認証キーを指定します。

- **Step: 2.Configure Time Server – Action: Show NTP Server**

登録した NTP サーバを表示します。

Step: 2. Configure Time Server Action: Show NTP Server

NTP Server List Total: 1

<input type="checkbox"/>	Server IP Address	Version	Authentication Key
<input type="checkbox"/>	172.16.2.254	3	3

Delete Revert

表示	説明
NTP Server List	NTP サーバの IP アドレス、バージョン、認証キーが表示されます。 NTP サーバを削除する場合、サーバを選択し Delete をクリックします。

- **Step: 2.Configure Time Server – Action: Add NTP Authentication Key**

NTP サーバとの認証設定を行います。

Step: 2. Configure Time Server ▼	Action: Add NTP Authentication Key ▼
Authentication Key (1-65535)	<input type="text"/>
Key Context (1-32)	<input type="text"/>
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
Authentication Key	設定されたサーバとの認証に使用する NTP 認証キーを指定します。 スイッチ上で最大 225 個のキーが設定できます。
Key Context	MD5 認証キー文字列を指定します。最大 32 文字の大文字・小文字を 区別できる印字可能な ASCII 文字を使用できます。

- **Step: 2.Configure General –Action: Show NTP Authentication Key**

設定済みの NTP 認証キーを表示します。

Step: 2. Configure Time Server ▼	Action: Show NTP Authentication Key ▼
NTP Authentication Key List Total: 0	
Authentication Key	Key Context

表示	説明
NTP Authentication Key List	設定済みの NTP 認証キーリストを表示します。

- **Step: 3.Configure Time Zone**

タイムゾーンの設定を行います。

Predefined Configuration

日本のタイムゾーンは『GMT+0900 -Osaka,Sapporo,Tokyo』を選択します。

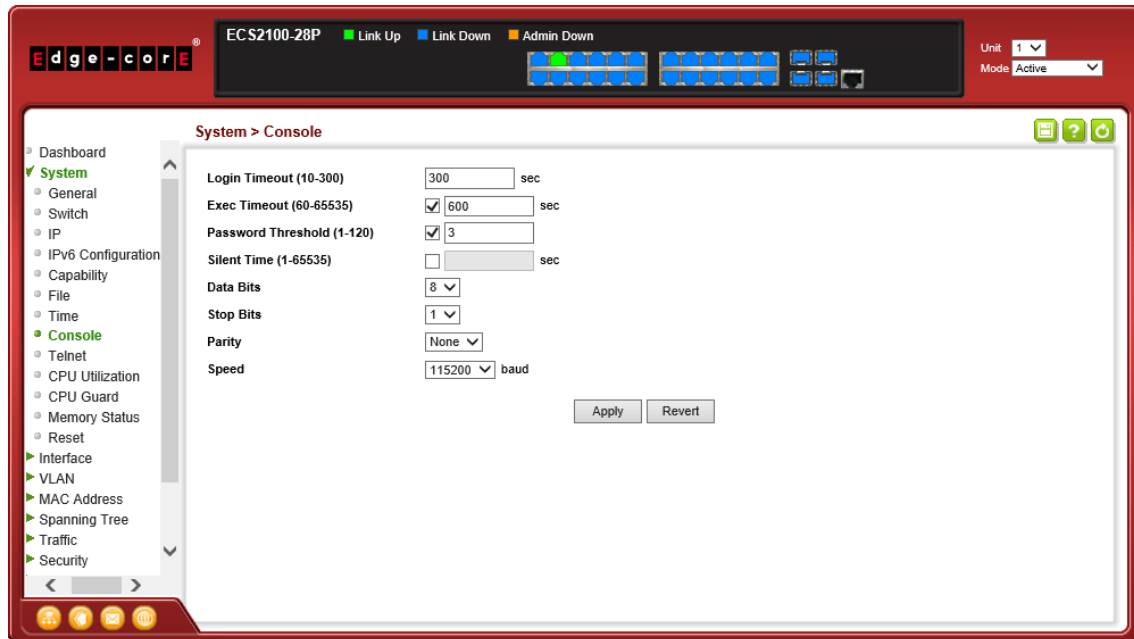
User Defined Configuration

ローカルタイムゾーンを手動で入力します。

表示	説明
Direction	タイムゾーンを設定します。 ※ Before(東方)/After(西方)
Name	タイムゾーンに名前を割り当てます。
Hours	UTC の前後の時間を入力します。
Minutes	UTC の前後の分数を入力します。

6.2.8. Console

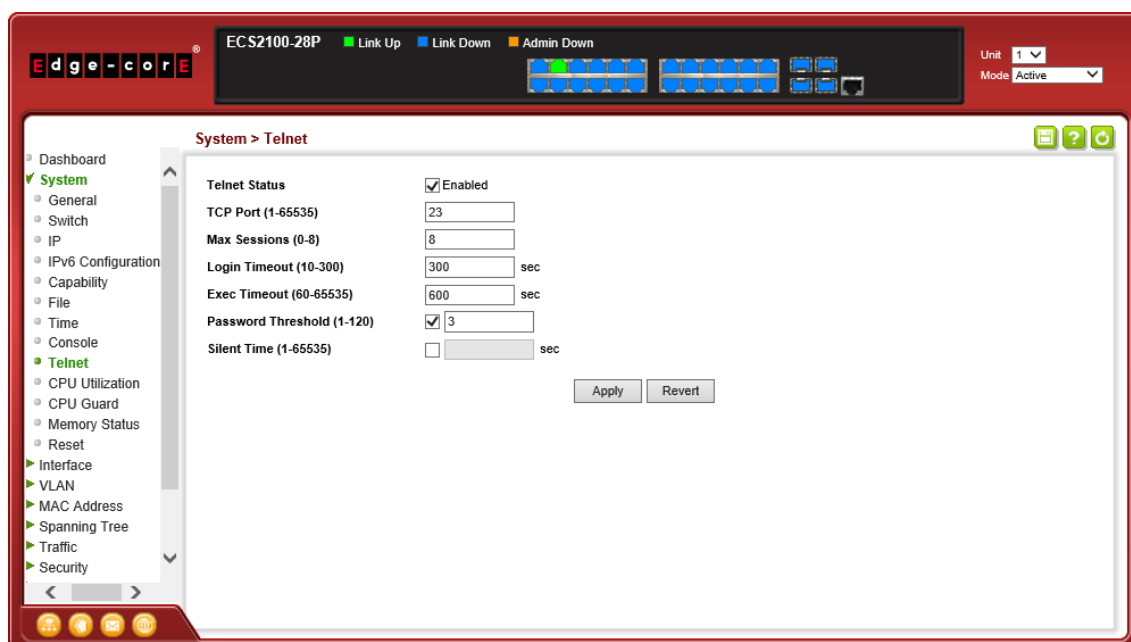
コンソールポートに関する設定を行います。



表示	説明
Login Timeout	CLI にログインするためにシステムが待機する時間を設定します。
Exec Timeout	ユーザが入力検出されるまでシステムが待機する間隔を設定します。
Password Threshold	失敗ログイン試行回数を制限するパスワード侵入閾値を設定します。
Silent Time	ログインに失敗した回数が設定した数を超えた場合、管理コンソールにアクセスできなくなる時間を設定します。
Data Bits	データビット数を設定します。
Stop Bits	1 バイトあたりに送信されるストップビットの数を設定します。
Parity	パリティビットを Even(偶数)、Odd(奇数)、None(なし)から選択します。
Speed	送信および受信の端末回線のボーレートを設定します。

6.2.9. Telnet

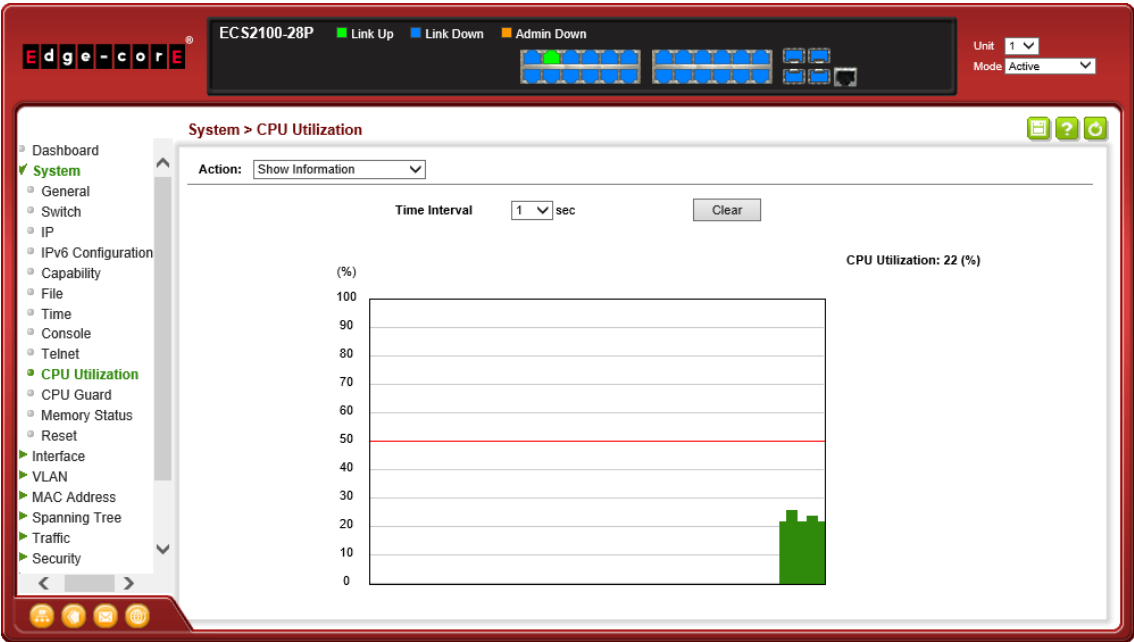
Telnet に関する設定を行います。



表示	説明
Telnet Status	Telnet アクセスの有効/無効を選択します。
TCP Port	Telnet の TCP ポート番号を設定します。
Max Sessions	システムに同時に接続できる Telnet セッションの最大数を設定します。
Login Timeout	CLI にログインするためにシステムが待機する時間を設定します。
Exec Timeout	ユーザが入力検出されるまでシステムが待機する間隔を設定します。
Password Threshold	失敗ログイン試行回数を制限するパスワード侵入閾値を設定します。
Silent Time	ログインに失敗した回数が設定した数を超えた場合、管理コンソールにアクセスできなくなる時間を設定します。

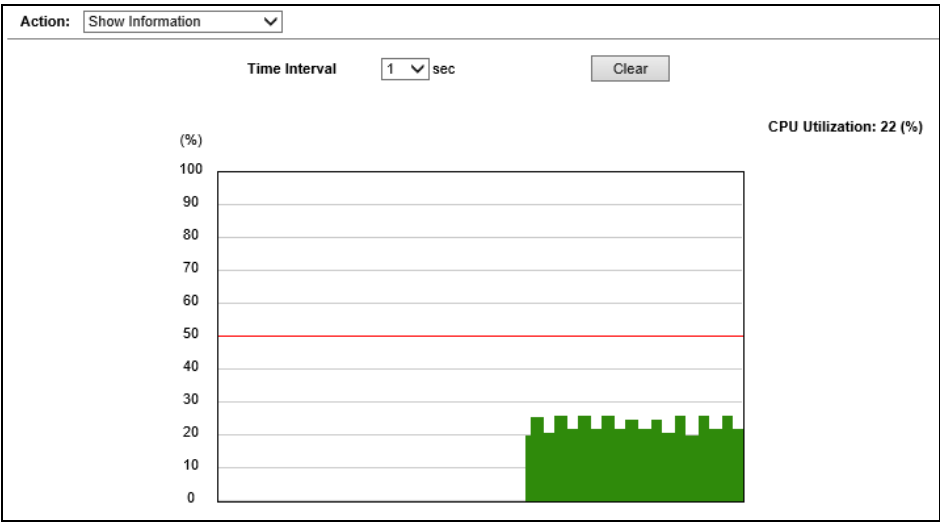
6.2.10. CPU Utilization

CPU 使用率を表示します。



● Action: Show Information

CPU 使用率をグラフで表示します。



表示	説明
Time Interval	CPU 使用率を更新する間隔を選択します。
CPU Utilization	CPU 使用率を表示します。

- **Action: Show Information by Task**

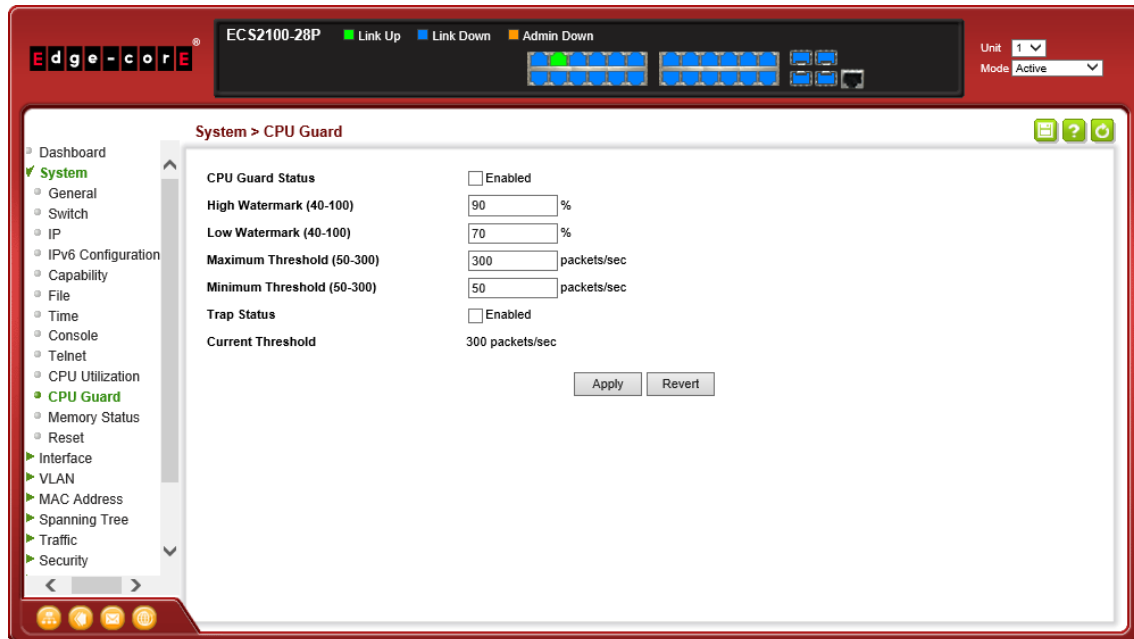
タスク毎の CPU 使用率を表示します。

Action: Show Information by Task ▼				
CPU Utilization Task Total: 61				
Index	Task	Util (%)	AVG (%)	Max (%)
1	AMTR_ASIC_COM	0.00	0.00	0.00
2	APP_PROTOCOL_GR	0.00	0.00	0.00
3	APP_PROTOCOL_PR	0.00	0.00	0.00
4	AUTH_GROUP	0.00	0.00	0.00
5	CFGDB_TD	0.00	0.25	1.01
6	CLITASK0	0.00	0.00	0.00
7	CMGR_GROUP	0.00	0.00	0.00
8	CORE_UTIL_PROC	0.00	0.00	0.00
9	DHCPSNP_GROUP	0.00	0.00	0.00
10	DHCPSNP_TD	0.00	0.00	0.00
11	DNS_PROXY_TD	0.00	0.00	0.00
12	DNS_RESOL_TD	0.00	0.00	0.00
13	DRIVER_GROUP	9.90	15.18	30.48
14	DRIVER_GROUP_FR	0.00	0.00	0.00
15	DRIVER_GROUP_TW	0.00	0.00	0.00

表示	説明
CPU Utilization Task	CPU が何にどれくらい使われているのか等の情報が表示されます。

6.2.11. CPU Guard

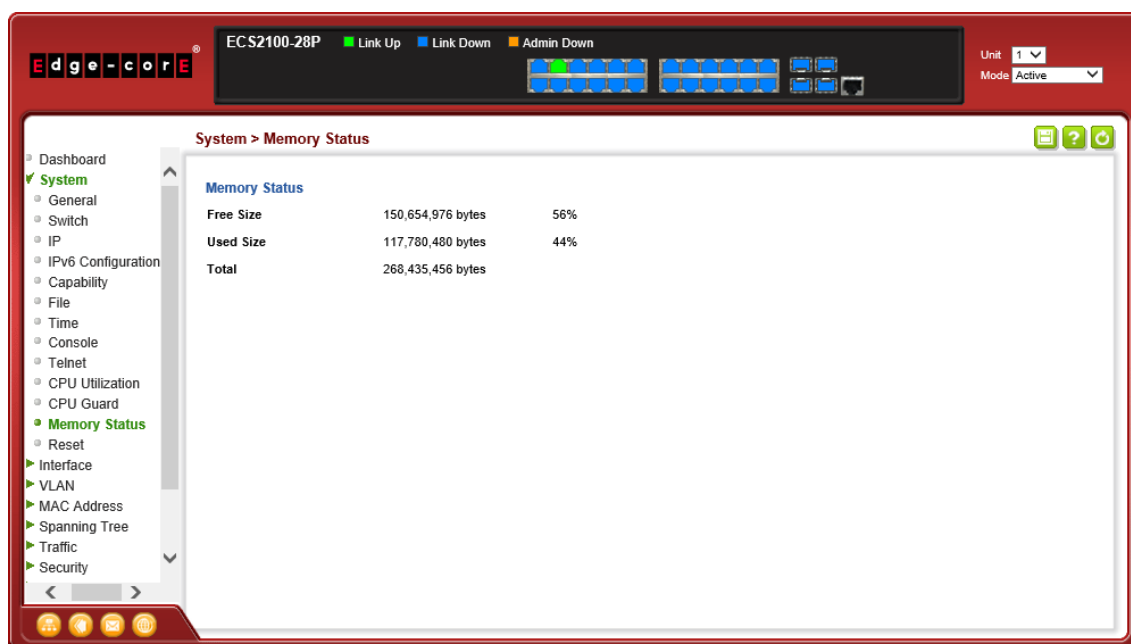
CPU 保護機能に関する設定を行います。



表示	説明
CPU Guard Status	CPU ガードの有効/無効を選択します。
High Watermark	CPU 使用率が設定値を上回った場合、スイッチは CPU へのパケットフローを停止します。
Low Watermark	High Watermark によってパケットフローが停止した場合、Low Watermark の設定値を下回ると正常なフローに戻ります。
Maximum Threshold	CPU によって処理されているパケット数が最大閾値を超えた場合、スイッチは処理中のパケット数が低下するまで CPU へのパケットフローを停止します。
Minimum Threshold	最大閾値を超えてパケットフローが停止した場合、使用率が最小値を下回ると正常なフローに戻ります。
Trap Status	有効にすると、CPU 使用率が High Watermark 又は Maximum Threshold の設定値を超えた場合、アラームメッセージを生成します。
Current Threshold	設定された閾値をパケット/秒で表示します。

6.2.12. Memory Status

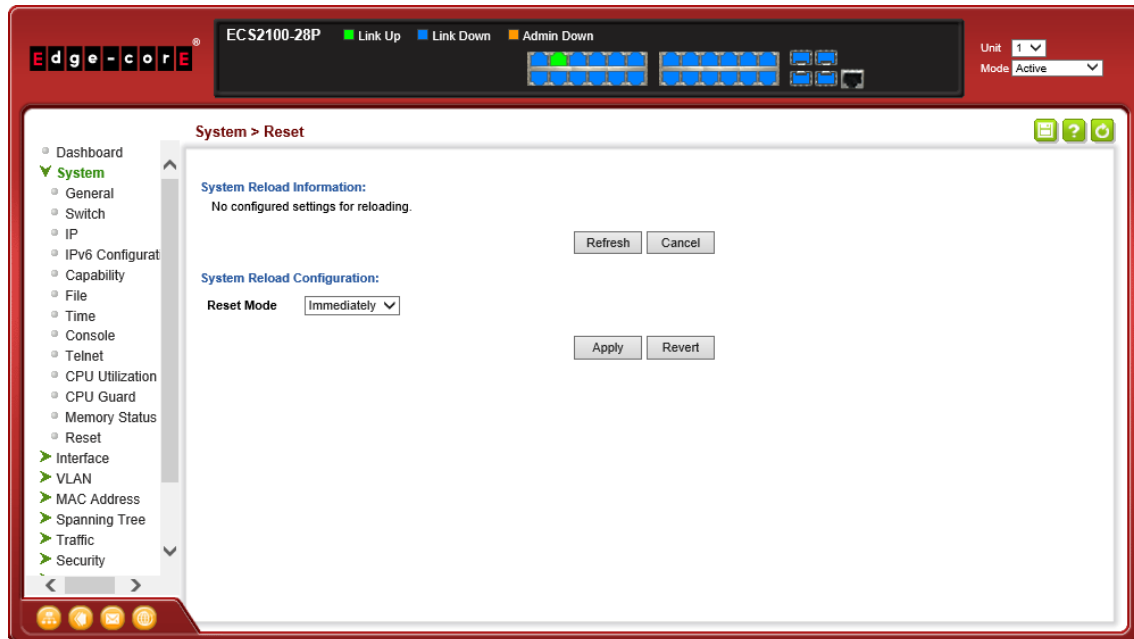
メモリのステータスを表示します。



表示	説明
Free Size	メモリの空き容量を表示します。
Used Size	メモリの使用量を表示します。
Total	システムメモリの合計量を表示します。

6.2.13. Reset

本体の再起動に関する操作を行います。



System Reload Information

表示	説明
<input type="button" value="Refresh"/>	リロード情報を更新します。

System Reload Configuration

Reset Mode : **Immediately**

すぐにシステムを再起動します。

System Reload Configuration:

Reset Mode

Reset Mode : **In**

スイッチをリロードする間隔(時間・分)を指定します。(最大 24 日)

System Reload Configuration:

Reset Mode

Reload switch in hours minutes.

Note: The specified time must be equal to or less than 24 days.

Reset Mode : **At**

スイッチをリロードする時刻を指定します。

System Reload Configuration:

Reset Mode

Reload switch at (DD/MM/YYYY) (HH:MM)

Warning: You have to setup system time first. Otherwise this function won't work.

Reset Mode : **Regularly**

スイッチをリロードする定期的な間隔を指定します。

System Reload Configuration:

Reset Mode

Time (HH:MM)

Period ☒ Daily

☐ Weekly

☐ Monthly

Warning: You have to setup system time first. Otherwise this function won't work.

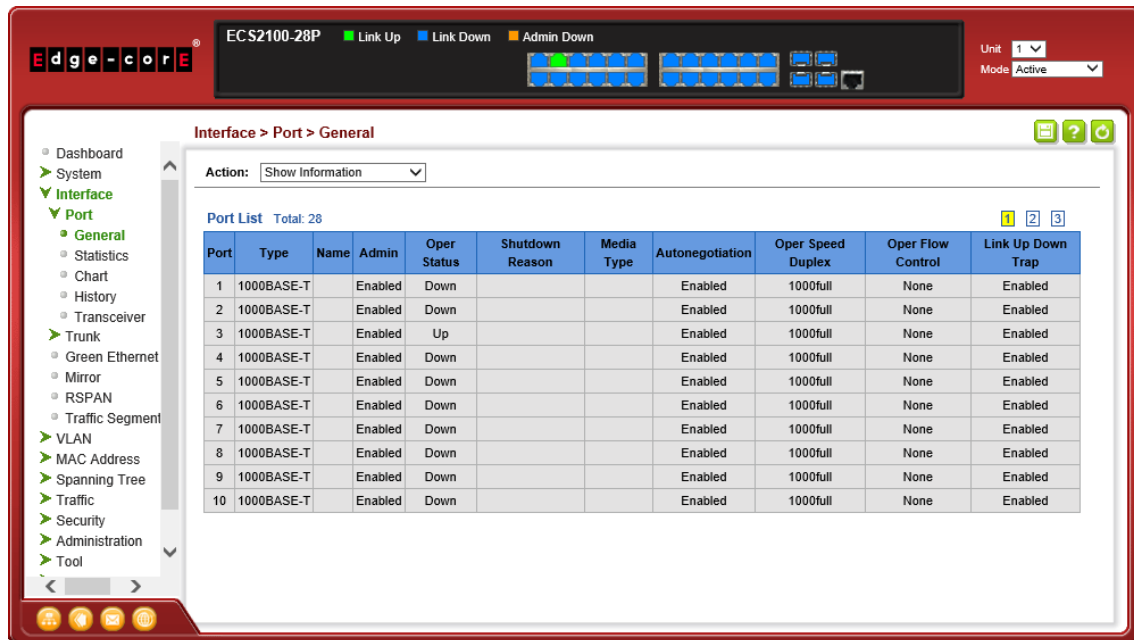
表示	説明
Time	リロードする時間・分を設定します。
Period	リロードする間隔を毎日、週単位(曜日)、月単位(日付)から選択します。

6.3. Interface

6.3.1. Port

6.3.1.1. General

ポートの状態表示及び、設定変更を行います。



- **Action: Show Information**

ポートの状態を確認します。

Action: Show Information										
Port List Total: 28 1 2 3										
Port	Type	Name	Admin	Oper Status	Shutdown Reason	Media Type	Autonegotiation	Oper Speed Duplex	Oper Flow Control	Link Up Down Trap
1	1000BASE-T		Enabled	Down			Enabled	1000full	None	Enabled
2	1000BASE-T		Enabled	Down			Enabled	1000full	None	Enabled
3	1000BASE-T		Enabled	Up			Enabled	1000full	None	Enabled
4	1000BASE-T		Enabled	Down			Enabled	1000full	None	Enabled
5	1000BASE-T		Enabled	Down			Enabled	1000full	None	Enabled
6	1000BASE-T		Enabled	Down			Enabled	1000full	None	Enabled
7	1000BASE-T		Enabled	Down			Enabled	1000full	None	Enabled
8	1000BASE-T		Enabled	Down			Enabled	1000full	None	Enabled
9	1000BASE-T		Enabled	Down			Enabled	1000full	None	Enabled
10	1000BASE-T		Enabled	Down			Enabled	1000full	None	Enabled

表示	説明
Port List	各ポートの情報を表示します。

- **Action: Configure by Port List**

ポート毎に設定変更を行います。

Action: Configure by Port List

Port List Total: 28 1 2 3

Port	Type	Name	Admin	Media Type	Autonegotiation	Speed Duplex	Flow Control	Link Up Down Trap
1	1000BASE-T		<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	None	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled <input checked="" type="checkbox"/> 10h <input checked="" type="checkbox"/> 100h <input checked="" type="checkbox"/> 1000f <input type="checkbox"/> FC <input checked="" type="checkbox"/> 10f <input checked="" type="checkbox"/> 100f <input type="checkbox"/> Sym	100full	<input type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled
2	1000BASE-T		<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	None	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled <input checked="" type="checkbox"/> 10h <input checked="" type="checkbox"/> 100h <input checked="" type="checkbox"/> 1000f <input type="checkbox"/> FC <input checked="" type="checkbox"/> 10f <input checked="" type="checkbox"/> 100f <input type="checkbox"/> Sym	100full	<input type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled
3	1000BASE-T		<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	None	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled <input checked="" type="checkbox"/> 10h <input checked="" type="checkbox"/> 100h <input checked="" type="checkbox"/> 1000f <input type="checkbox"/> FC <input checked="" type="checkbox"/> 10f <input checked="" type="checkbox"/> 100f <input type="checkbox"/> Sym	100full	<input type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled

- **Action: Configure by Port Range**

指定した範囲のポートをまとめて設定変更します。

Action: Configure by Port Range

Port Range (1-28) -

Admin ☐ Enabled

Autonegotiation ☐ Enabled

☐ 10h ☐ 100h ☐ 1000f ☐ FC
☐ 10f ☐ 100f ☐ Sym

Speed Duplex 10half

Flow Control ☐ Enabled

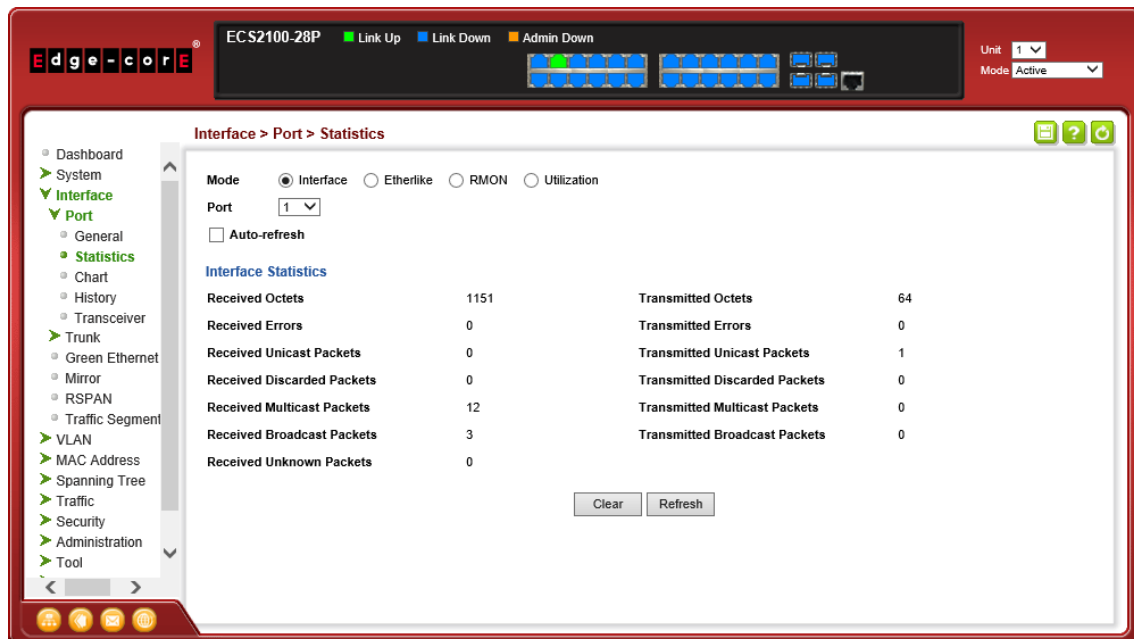
Link Up Down Trap ☐ Enabled

Apply Revert

表示	説明
Port Range	ポートの範囲を設定します。
Admin	インタフェースの有効/無効を手動で行えます。
Autonegotiation	オートネゴシエーションの有効/無効を選択します。 無効の場合は、Speed Duplex と Flow Control の設定ができます。
Speed Duplex	ポート速度とデュプレックスモードを手動で設定します。
Flow Control	フロー制御を自動または手動で選択します。
Link Up Down Trap	ポートリンクが UP または Down したときに通知メッセージを発行します。

6.3.1.2. Statistics

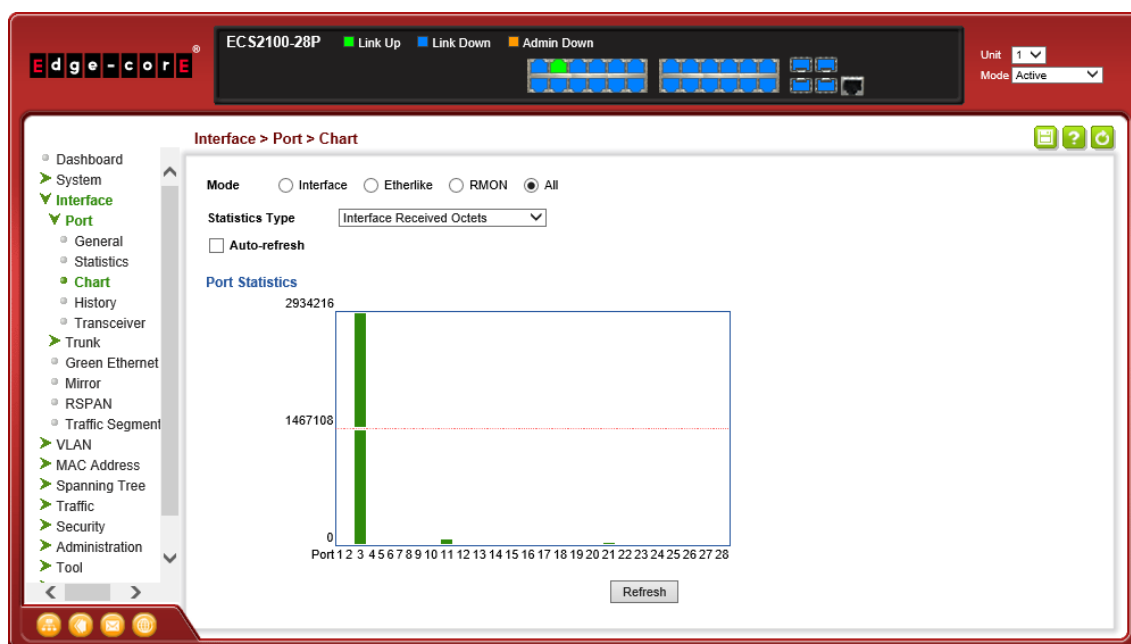
ポート毎に統計情報を表示します。



表示	説明
Mode	Interface/Etherlike/RMON/Utilization から選択します。
Port	ポートを選択します。(1～28)
Auto-refresh	自動更新を行います。
Statistics	各モードの統計を表示します。

6.3.1.3. Chart

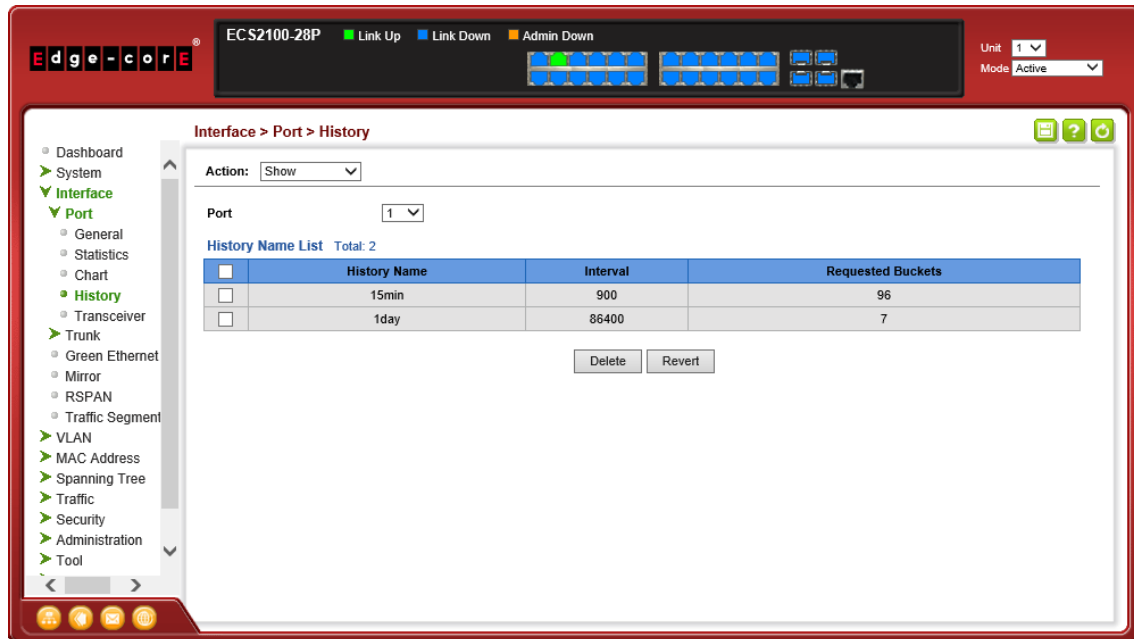
統計情報をチャートで表示します。



表示	説明
Mode	Interface/Etherlike/RMON/All から選択します。
Port	ポートを選択します。(1～28)
Statistics Type	統計タイプを選択します。
Auto-refresh	自動更新を行います。
Statistics	各モードの統計を表示します。

6.3.1.4. History

指定したバケット数および時間で、統計情報のサンプリングを行います。



- **Action: Add**

統計情報のサンプリングを設定します。

Action: ▼ Add	
Port	1 ▼
History Name	<input type="text"/>
Interval (1-86400)	<input type="text"/>
Requested Buckets (1-96)	<input type="text"/>
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
Port	設定するポートを選択します。
History Name	サンプルの名前を入力します。
Interval	統計をサンプリングする間隔を設定します。
Requested Buckets	取得するサンプルの数を設定します。

- **Action: Show**

設定内容を表示します。

Action: Show ▼			
Port 1 ▼			
History Name List Total: 2			
<input type="checkbox"/>	History Name	Interval	Requested Buckets
<input type="checkbox"/>	15min	900	96
<input type="checkbox"/>	1day	86400	7
<div> Delete Revert </div>			

表示	説明
Port	ポートを選択します。
History Name List	History Name、Interval、Requested Buckets を表示します。

- **Action: Show Details**

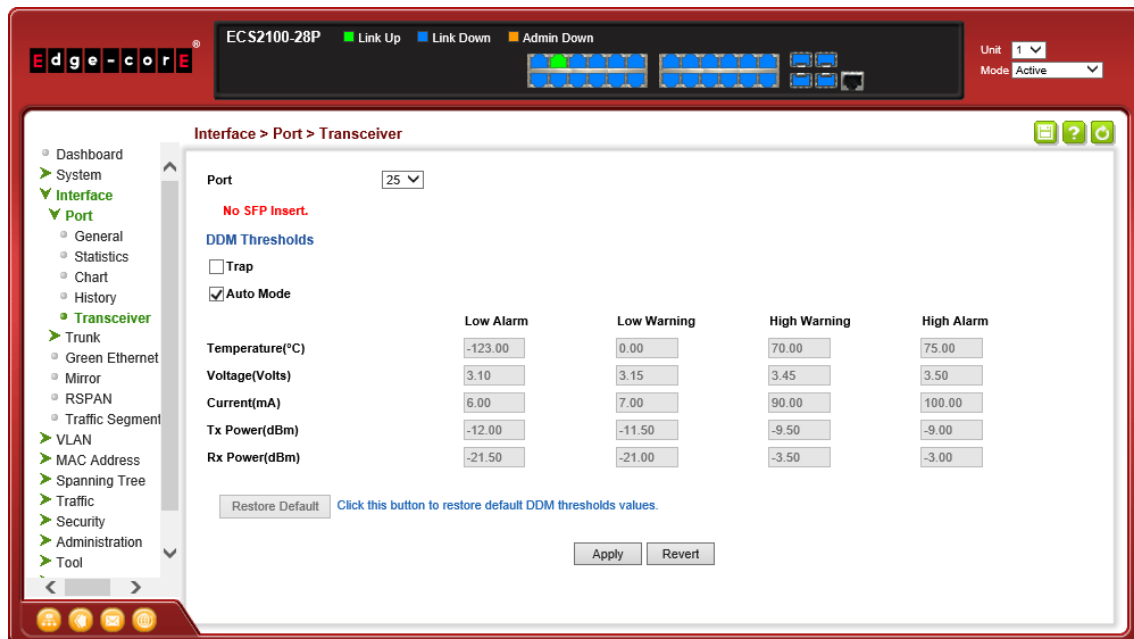
サンプリングした情報を表示します。

Action: Show Details ▼	
Mode	<input checked="" type="radio"/> Status <input type="radio"/> Current Entry <input type="radio"/> Input Previous Entries <input type="radio"/> Output Previous Entries
Port	1 ▼
Name	15min ▼
History Status	
Name	15min
Interval	900 second(s)
Requested Buckets	96
Granted Buckets	21
Status	Active
<div>Refresh</div>	

表示	説明
Mode	モードを選択します。
Port	設定するポートを選択します。
Name	Add で作成したサンプル名を選択します。
History Status	サンプルパラメーターを表示します。
Current Entry	指定されたポートと名前付きサンプルの現在の統計情報を表示します。
Input Previous Entry List	入カトラフィックの統計履歴を表示します。
Output Previous Entry List	出カトラフィックの統計履歴を表示します。

6.3.1.5. Transceiver

SFP のステータスを表示及び DDM を使用した閾値設定を行います。



表示	説明
Port	ポートを選択します。

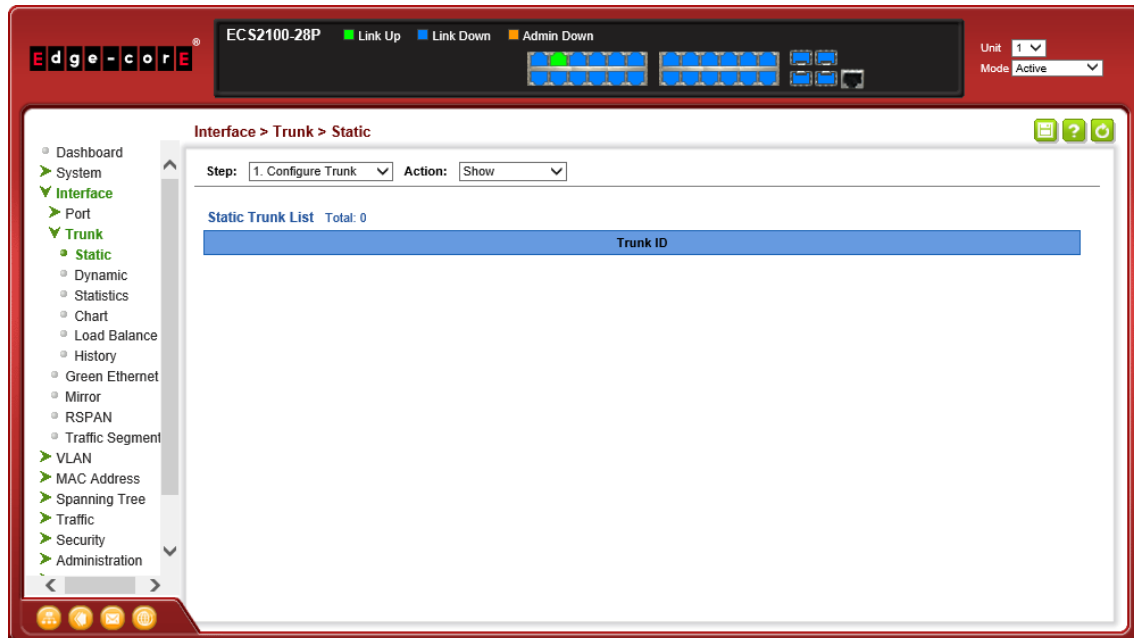
DDM Thresholds

表示	説明
Trap	動作値が指定された閾値を超えた場合、トラップを送信します。
Auto Mode	デフォルトの閾値設定を使用して、アラームまたはトラップメッセージの送信数タイミングを決定します。
Low Alarm	低閾値を下回ったときにアラームメッセージを送信します。
Low Warning	低閾値を下回ったときに警告メッセージを送信します。
High Alarm	高閾値を超えたときにアラームメッセージを送信します。
High Warning	高閾値を超えた場合に警告メッセージを送信します。
Temperature	-128.00～+128.00 °C
Voltage	0.00～6.55 Volts
Current	0.00～131.00 mA
Tx/Rx Power	-40.00～8.20 dBm
Restore Default	クリックすると、DDM の閾値がデフォルトに戻ります。

6.3.2. Trunk

6.3.2.1. Static

Static Trunk の設定を行います。



- **Step: 1.Configure Trunk – Action: Add**

Static Trunk グループを新規作成します。

Step:	1. Configure Trunk	Action:	Add	
Trunk ID (1-8)	<input type="text"/>			
Member	Unit	1	Port	1
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>				

表示	説明
Trunk ID	トランク ID を入力します。
Member	最初のトランクメンバーを設定します。 Add Member ページを使用して、追加のメンバーを構成します。

- **Step: 1.Configure Trunk – Action: Show**

Static Trunk グループのリストを表示します。

Step:	1. Configure Trunk	Action:	Show
Static Trunk List Total: 0			
Trunk ID			

表示	説明
Static Trunk List	トランク ID のリストを表示します。

- **Step: 1.Configure Trunk – Action: Add Member**

作成済みの Static Trunk グループにポートを追加します。

Step:	1. Configure Trunk ▼	Action:	Add Member ▼
Trunk	1 ▼		
Member	Unit 1 ▼	Port	2 ▼
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>			

表示	説明
Trunk	トランク ID を選択します。
Member	トランクメンバーを追加します。

- **Step: 1.Configure Trunk – Action: Show Member**

Static Trunk のメンバーを表示します。

Step:	1. Configure Trunk ▼	Action:	Show Member ▼
Trunk	1 ▼		
Member List Total: 1			
<input type="checkbox"/>	Member (Unit/Port)		
<input type="checkbox"/>	1/1		
<input type="button" value="Delete"/> <input type="button" value="Revert"/>			

表示	説明
Trunk	トランク ID を選択します。
Member	トランクメンバーを表示します。

- **Step: 2.Configure General – Action: Show Information**

Static Trunk のステータスを表示します。

Step:	2. Configure General ▼	Action:	Show Information ▼						
Static Trunk List Total: 1									
Trunk	Type	Name	Admin	Oper Status	Shutdown Reason	Autonegotiation	Oper Speed Duplex	Oper Flow Control	Link Up Down Trap
1	1000BASE-T		Enabled	Down		Enabled	1000full	None	Enabled

表示	説明
Static Trunk List	トランク毎のステータスを表示します。

- **Step: 2.Configure General -Action: Configure**

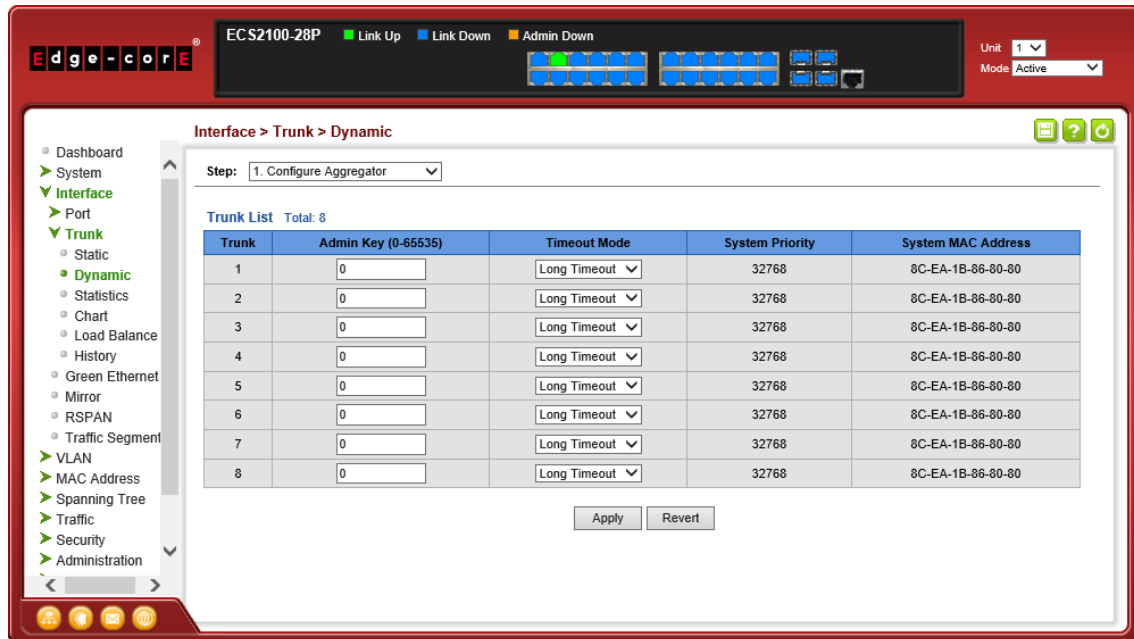
Static Trunk グループのポート設定を行います。

Step: 2. Configure General		Action: Configure					
Static Trunk List Total: 1							
Trunk	Type	Name	Admin	Autonegotiation	Speed Duplex	Flow Control	Link Up Down Trap
1	1000BASE-T		<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled <input checked="" type="checkbox"/> 10h <input checked="" type="checkbox"/> 100h <input checked="" type="checkbox"/> 1000f <input type="checkbox"/> FC <input checked="" type="checkbox"/> 10f <input checked="" type="checkbox"/> 100f <input type="checkbox"/> Sym	100full	<input type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>							

表示	説明
Static Trunk List	トランク毎にポート設定を行います。

6.3.2.2. Dynamic

Dynamic Trunk に関する設定を行います。



- **Step: 1 Configure Aggregator**

LACP の Admin Key/Timeout Mode の設定を行います。

Step: 1. Configure Aggregator				
Trunk List Total: 8				
Trunk	Admin Key (0-65535)	Timeout Mode	System Priority	System MAC Address
1	0	Long Timeout	32768	8C-EA-1B-86-80-80
2	0	Long Timeout	32768	8C-EA-1B-86-80-80
3	0	Long Timeout	32768	8C-EA-1B-86-80-80
4	0	Long Timeout	32768	8C-EA-1B-86-80-80
5	0	Long Timeout	32768	8C-EA-1B-86-80-80
6	0	Long Timeout	32768	8C-EA-1B-86-80-80
7	0	Long Timeout	32768	8C-EA-1B-86-80-80
8	0	Long Timeout	32768	8C-EA-1B-86-80-80
<div>Apply Revert</div>				

表示	説明
Admin Key	LACP 管理キーは、スイッチのローカル LACP 設定中に特定のリンクアグリゲーショングループ (LAG) を識別するために使用されます。
Timeout Mode	Long Timeout : 90 秒のタイムアウトを指定します。 Short Timeout : 3 秒のタイムアウトを指定します。

- **Step: 2 Configure Aggregation Port – Action: Configure**

ポート毎に LACP の設定を行います。

Step: 2. Configure Aggregation Port Action: Configure

☒ General
 ☐ Actor
 ☐ Partner

Port List Total: 28 1 2 3

Port	LACP Status
1	<input type="checkbox"/> Enabled
2	<input type="checkbox"/> Enabled
3	<input type="checkbox"/> Enabled
4	<input type="checkbox"/> Enabled
5	<input type="checkbox"/> Enabled
6	<input type="checkbox"/> Enabled
7	<input type="checkbox"/> Enabled
8	<input type="checkbox"/> Enabled
9	<input type="checkbox"/> Enabled
10	<input type="checkbox"/> Enabled

General

表示	説明
LACP Status	LACP の有効/無効を選択します。

Actor / Partner

表示	説明
Admin Key	同じ LAG に属するポートに対して同じ値に設定する必要があります。
System Priority	リンクアグリケーショングループ (LAG) メンバーシップを決定するため、又は LAG ネゴシエーション中に他のスイッチにこのデバイスを識別させるために使用されます。
Port Priority	リンクダウンしたときに、バックアップリンクの選択に使用されます。

- **Step: 3 Configure Trunk – Action: Show**

LACP の情報を表示します。

Step: 3. Configure Trunk Action: Show

Dynamic Trunk List Total: 0

Trunk	Type	Name	Admin	Oper Status	Shutdown Reason	Autonegotiation	Oper Speed Duplex	Oper Flow Control	Link Up Down Trap

表示	説明
Dynamic Trunk List	LACP の情報(タイプや名前、スピード等)を表示します。

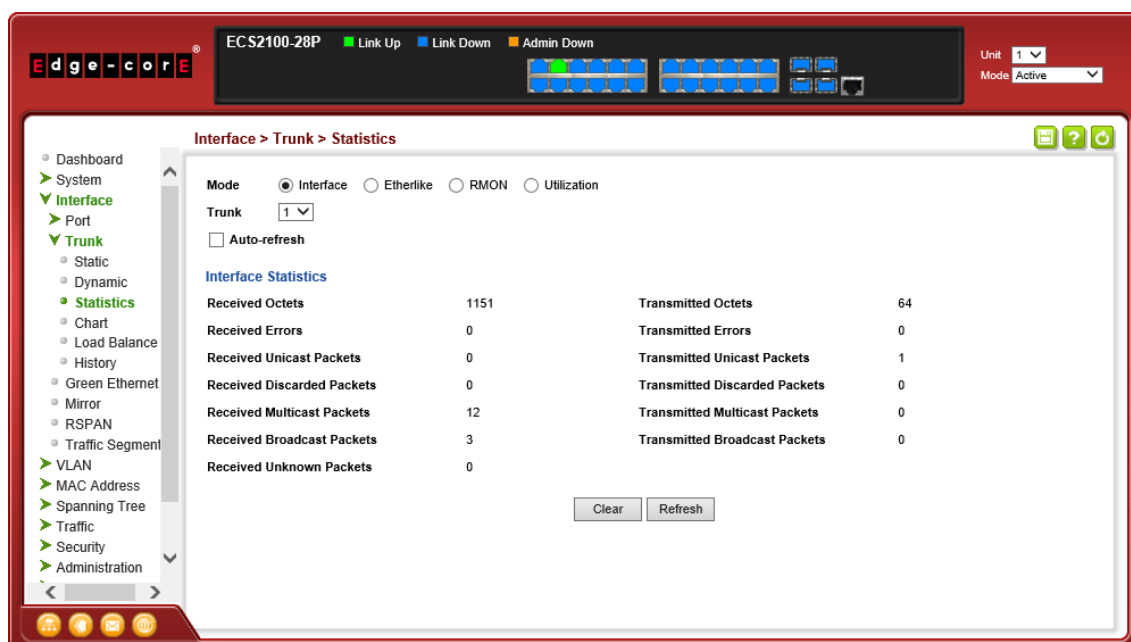
- **Step: 3 Configure Trunk – Action: Configure**

LACP グループのポート設定を行います。

Step:	3. Configure Trunk ▼	Action:	Configure ▼		
Dynamic Trunk List Total: 0					
Trunk	Type	Name	Admin	Autonegotiation	Speed Duplex
表示		説明			
Dynamic Trunk List		LACP の名前やスピード等の設定をします。			

6.3.2.3. Statistics

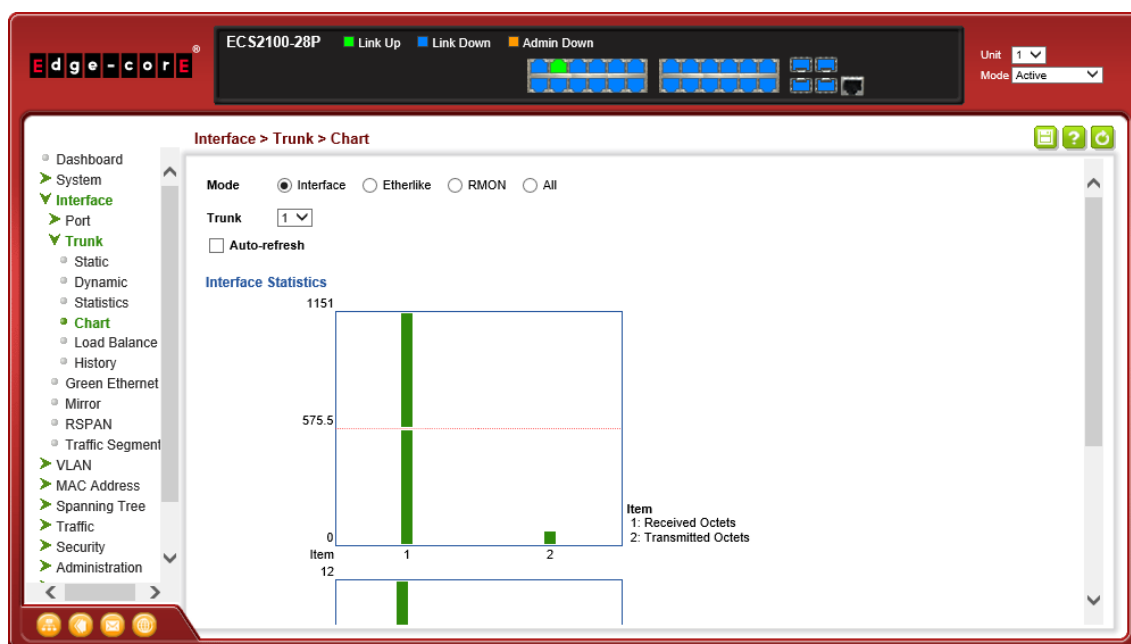
LACP の統計情報を表示します。



表示	説明
Mode	Interface、Etherlike、RMON、Utilization から選択します。
Trunk	Trunk ID を選択します。
Auto-refresh	自動更新を行います。
Statistics	各モードの統計を表示します。

6.3.2.4. Chart

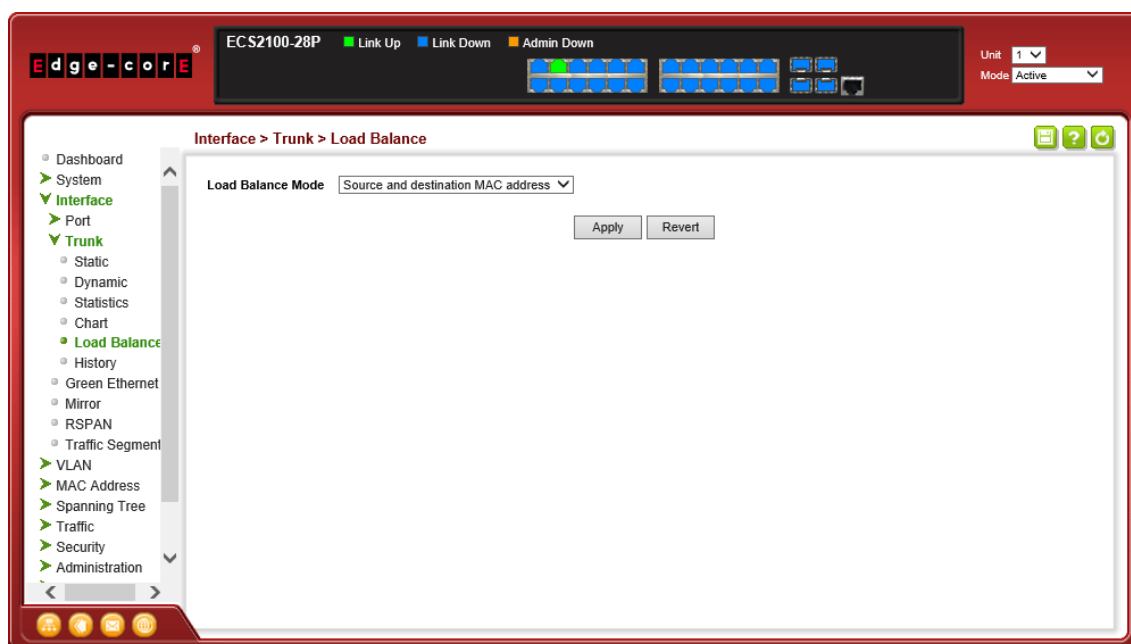
LACP の統計情報をチャートで表示します。



表示	説明
Mode	Interface、Etherlike、RMON、Utilization から選択します。
Trunk	Trunk ID を選択します。
Statistics Type	統計タイプを選択します。 ※”Trunk”で All を選択したときのみ表示されます。
Auto-refresh	自動更新を行います。
Statistics	各モードの統計を表示します。

6.3.2.5. Load Balance

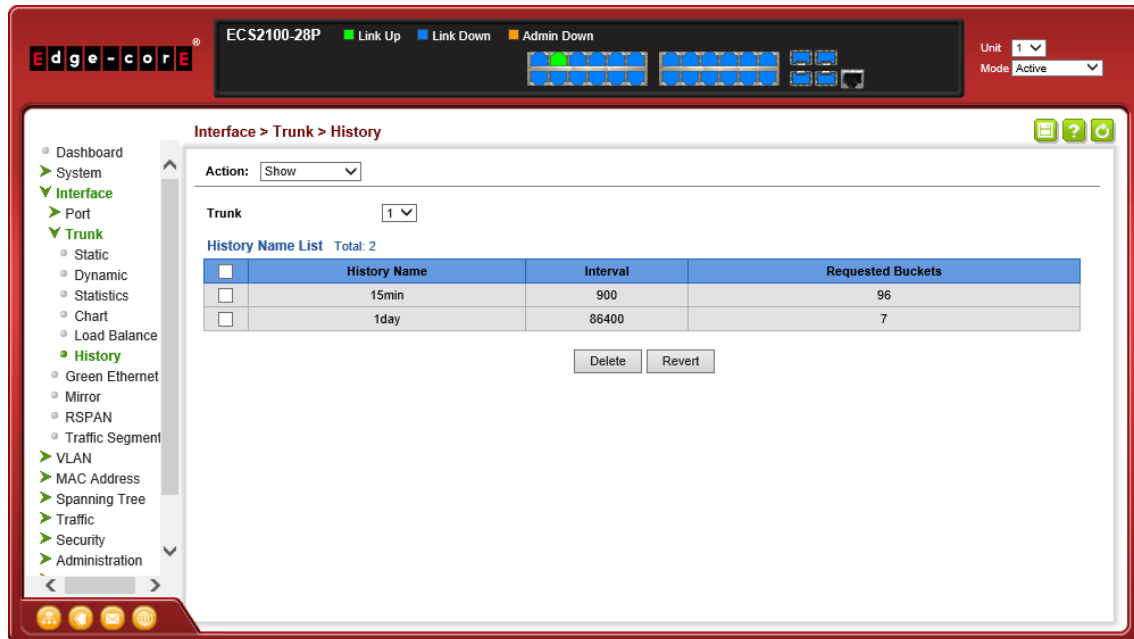
トランクグループでの負荷分散方法の設定を行います。



表示	説明
Load Balance Mode	集約リンク内のポート間で使用される負荷分散方法を設定します。

6.3.2.6. History

指定したバケット数および時間で、履歴のサンプリングを行います。



- **Action: Add**

統計情報のサンプリングを設定します。

Action: **Add** ▼

Trunk: 1 ▼

History Name:

Interval (1-86400):

Requested Buckets (1-96):

Apply Revert

表示	説明
Trunk	設定する Trunk ID を選択します。
History Name	サンプルの名前を入力します。
Interval	統計をサンプリングする間隔を設定します。
Requested Buckets	取得するサンプルの数を設定します。

- **Action: Show**

設定内容を表示します。

Action: Show ▼			
Trunk 1 ▼			
History Name List Total: 2			
<input type="checkbox"/>	History Name	Interval	Requested Buckets
<input type="checkbox"/>	15min	900	96
<input type="checkbox"/>	1day	86400	7
<div> Delete Revert </div>			

表示	説明
Trunk	Trunk を選択します。
History Name List	History Name、Interval、Requested Buckets を表示します。

- **Action: Show Details**

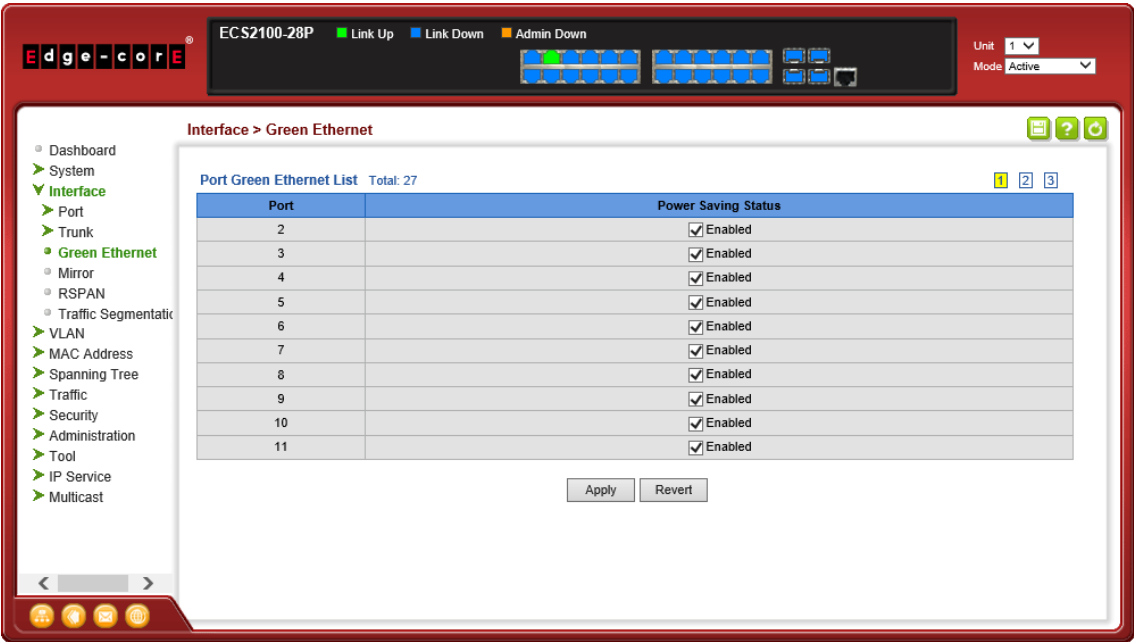
サンプリングした情報を表示します。

Action: Show Details ▼	
Mode	<input checked="" type="radio"/> Status <input type="radio"/> Current Entry <input type="radio"/> Input Previous Entries <input type="radio"/> Output Previous Entries
Trunk	1 ▼
Name	15min ▼
History Status	
Name	15min
Interval	900 second(s)
Requested Buckets	96
Granted Buckets	29
Status	Active
<div>Refresh</div>	

表示	説明
Mode	モードを選択します。
Trunk	設定する Trunk を選択します。
Name	Add で作成したサンプル名を選択します。
History Status	サンプルパラメーターを表示します。
Current Entry	指定された Trunk と名前付きサンプルの現在の統計情報を表示します。
Input Previous Entry List	入カトラフィックの統計履歴を表示します。
Output Previous Entry List	出カトラフィックの統計履歴を表示します。

6.3.3. Green Ethernet

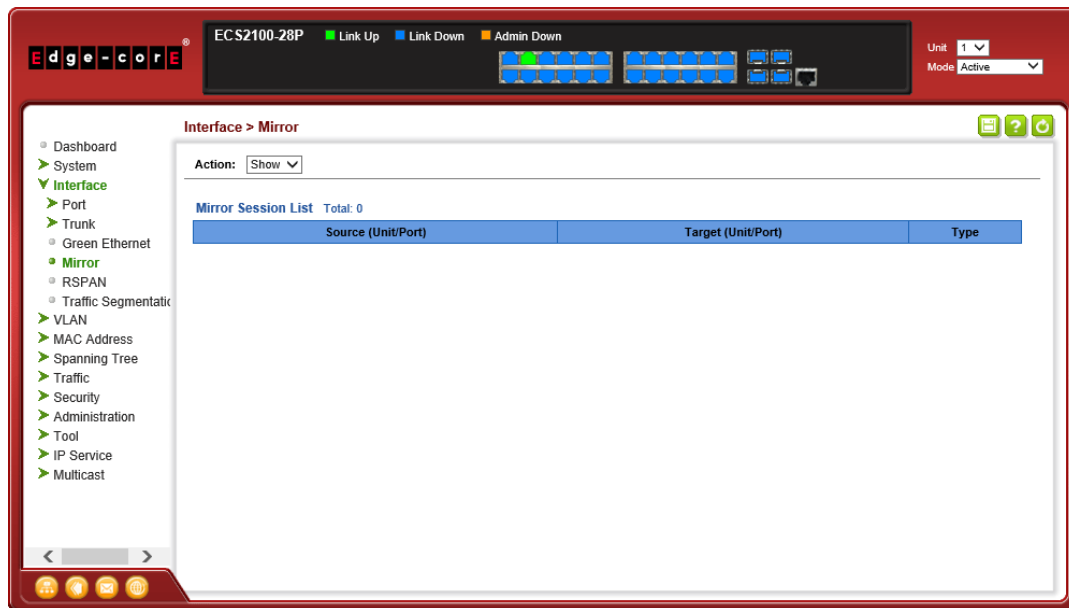
省電力イーサネットの設定を行います。



表示	説明
Power Saving Status	ポートに供給される電力を調整します。

6.3.4. Mirror

ポートミラーリングの設定を行います。



- **Action: Add**

ミラーリングを設定します。

Action: **Add** ▼

Source Port Unit **1** ▼ Port **2** ▼

Target Port Unit **1** ▼ Port **2** ▼

Type **Both** ▼

Apply Revert

表示	説明
Source Port	トラフィックが監視されるポートを指定します。
Target Port	トラフィックをミラーリングするポートを指定します。
Type	Rx(受信)、Tx(送信)、Both(両方)から、ターゲットポートにミラーリングするトラフィックを選択します。

- **Action: Show**

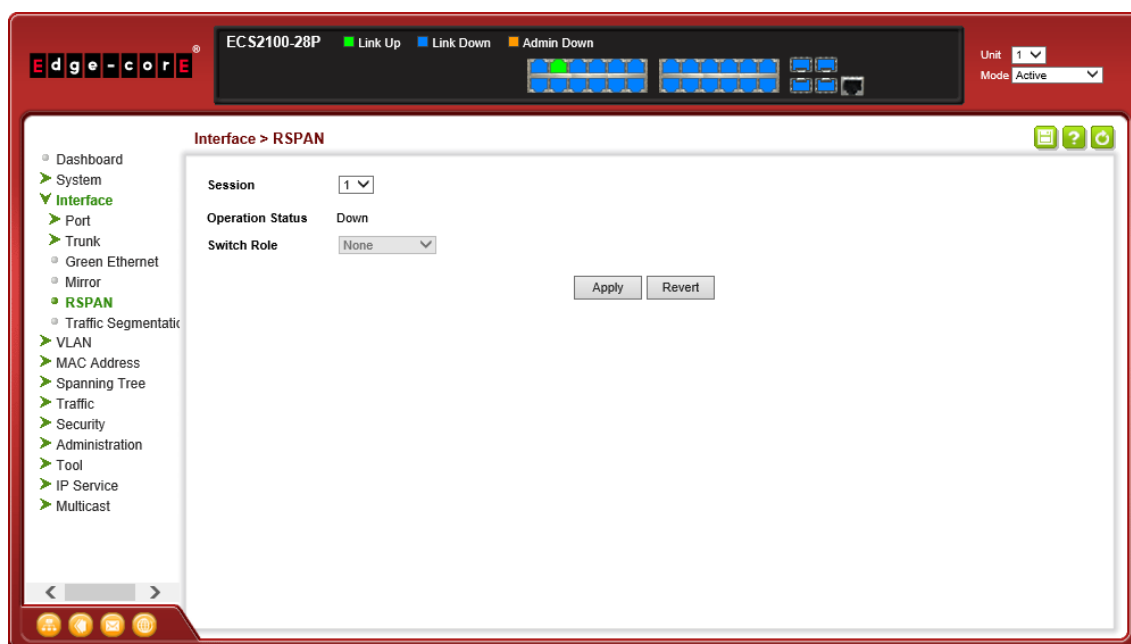
ミラーリングの設定内容を表示します。

Mirror Session List Total: 2			
<input type="checkbox"/>	Source (Unit/Port)	Target (Unit/Port)	Type
<input type="checkbox"/>	1 / 5	1 / 10	Both
<input type="checkbox"/>	1 / 20	1 / 21	Rx
Delete Revert			

表示	説明
Mirror Session List	送信元ポート、受信ポート、トラフィックのタイプを表示します。

6.3.5. RSPAN

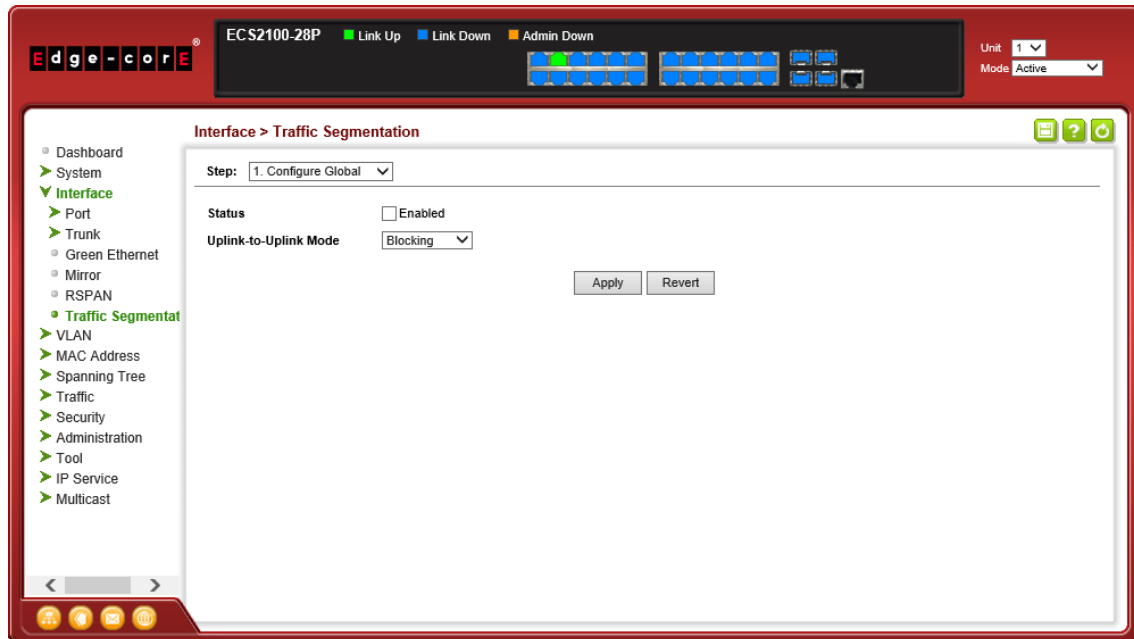
RSPAN の設定を行います。



表示	説明
Session	RSPAN セッションを識別する番号を選択します。
Operation Status	RSPAN が現在機能しているか表示します。
Switch Role	トラフィックをミラーリングするときの役割を指定します。

6.3.6. Traffic Segmentation

トラフィックセグメンテーションの設定を行います。



- **Step: 1. Configure Global**

トラフィックセグメンテーションの有効/無効を設定します。

Step: 1. Configure Global

Status

☐ Enabled

Uplink-to-Uplink Mode

Blocking

Apply

Revert

表示	説明
Status	ポートベースのトラフィックセグメンテーションの有効/無効を選択します。
Uplink-to-Uplink Mode	異なるセッションに割り当てられたアップリンクポート間のトラフィックを転送するかどうかを設定します。 Blocking : アップリンクポート間のトラフィックをブロックします。 Forwarding : アップリンクポート間のトラフィックを転送します。

- **Step: 2. Configure Session – Action: Add**

セッション毎にアップリンクとダウンリンクポートを設定します。

Step:	2. Configure Session ▼	Action:	Add ▼
Session ID (1-4)	<input type="text"/>		
Direction	Uplink ▼		
Interface	<input checked="" type="radio"/> Port (1-28) <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="radio"/> Trunk (1-8) <input type="text"/> - <input type="text"/>		
		Apply	Revert

表示	説明
Session ID	セッション ID を入力します。
Direction	アップリンクまたはダウンリンクを選択します。
Interface	Port または Trunk を選択し、範囲を指定します。

- **Step: 2. Configure Session – Action: Show**

設定内容を表示します。

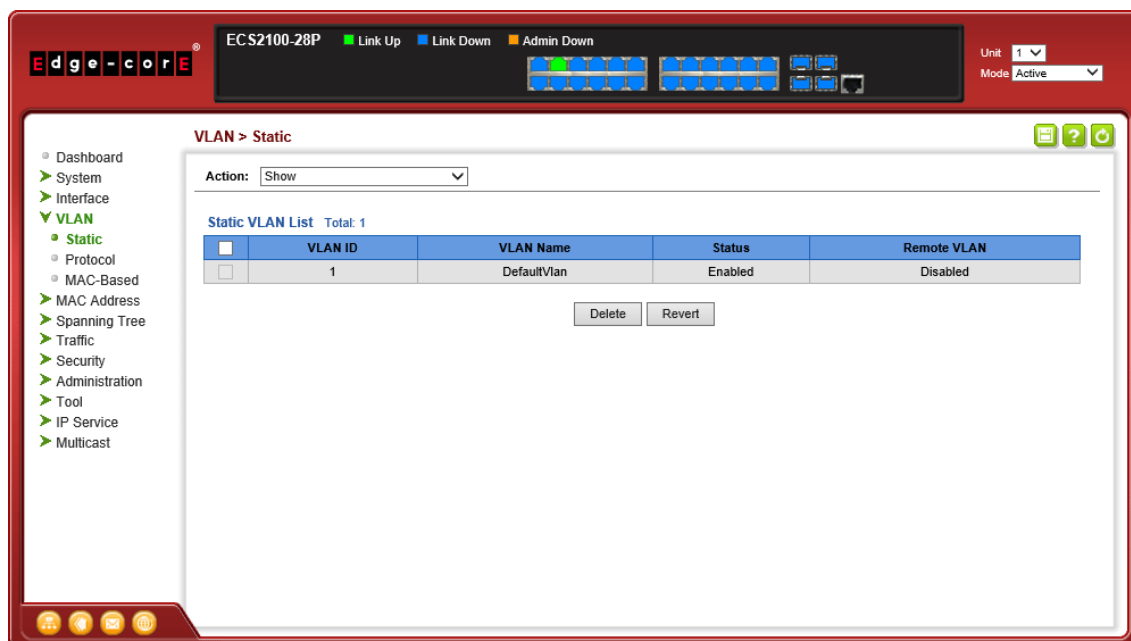
Step:	2. Configure Session ▼	Action:	Show ▼
Session List Total: 0			
Session ID	Direction	Interface	

表示	説明
Session List	Add で設定した内容を表示します。

6.4. VLAN

6.4.1. Static

802.1Q の VLAN 設定を行います。



- **Action: Add**

新しい VLAN を追加します。

Action: Add	
VLAN ID (1-4094)	<input type="text"/> - <input type="text"/>
Status	<input type="checkbox"/> Enabled
Remote VLAN	<input type="checkbox"/> Enabled
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
VLAN ID	VLAN ID または VLAN の範囲を設定します。
Status	設定している VLAN の有効/無効を選択します。
Remote VLAN	この VLAN を RSPAN 用に使用するかどうかを選択します。

- **Action: Show**

設定済みの VLAN を表示します。

Action: Show				
Static VLAN List Total: 1				
<input type="checkbox"/>	VLAN ID	VLAN Name	Status	Remote VLAN
<input type="checkbox"/>	1	DefaultVlan	Enabled	Disabled
<div> Delete Revert </div>				

表示	説明
Static VLAN List	設定済みの VLAN ステータスを表示します。

- **Action: Modify**

設定済みの VLAN を編集します。

Action: Modify	
VLAN ID (1-4094)	1
VLAN Name	DefaultVlan
Status	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled
<div> Apply Revert </div>	

表示	説明
VLAN ID	設定済みの VLAN ID を入力します。
VLAN Name	VLAN の名前を入力します。
Status	指定された VLAN の有効/無効を選択します。

- **Action: Edit Member by VLAN**

設定した VLAN 毎に所属させるポートを選択します。

Action: Edit Member by VLAN

VLAN 1

Interface ☒ Port ☐ Trunk

Static VLAN Port Member List Total: 27 1 2 3

Port	Mode	PVID (1-4094)	Acceptable Frame Type	Ingress Filtering	Membership Type			
					Tagged	Untagged	Forbidden	None
2	Hybrid	1	All	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	Hybrid	1	All	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	Hybrid	1	All	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	Hybrid	1	All	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	Hybrid	1	All	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	Hybrid	1	All	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	Hybrid	1	All	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	Hybrid	1	All	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	Hybrid	1	All	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

表示	説明
VLAN	VLAN を指定します。
Interface	Port または Trunk を選択します。
Mode	Access : タグなしフレームを単一の VLAN 上でのみ送受信します。 1Q Trunk : 2 つのスイッチ間の直接リンクであるため、ポートは送信元 VLAN を識別するタグ付きフレームを送信します。 Hybrid : タグ付きまたはタグなしフレームを送信できます。
PVID	タグなしフレームに割り当てる VLAN ID を入力します。
Acceptable Frame Type	All(すべてのフレームタイプ)、Tagged(タグ付きフレームのみ) から、インタフェースの受け入れるフレームタイプを選択します。
Ingress Filtering	Enable の場合、受信フレームがメンバーでない VLAN のタグだったときは、その受信フレームは破棄されます。
Membership Type	各インタフェースの VLAN メンバーシップを選択します。

- **Action: Edit Member by Interface**

ポート毎に所属させる VLAN を設定します。

Action: Edit Member by Interface

Interface ☒ Port 2 ☐ Trunk 1

Mode Hybrid

PVID 1

Acceptable Frame Type All

Ingress Filtering ☒ Enabled

Static VLAN Membership List Total: 1

VLAN	Membership Type			
	Tagged	Untagged	Forbidden	None
1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Apply Revert

表示	説明
Interface	Port または Trunk を選択します。
Mode	Access、1Q Trunk、Hybrid からモードを選択します。
PVID	タグなしフレームに割り当てる VLAN ID を入力します。
Acceptable Frame Type	All(すべてのフレームタイプ)、Tagged(タグ付きフレームのみ)から、インタフェースの受け入れるフレームタイプを選択します。
Ingress Filtering	Enable の場合、受信フレームがメンバーでない VLAN のタグだったとき、その受信フレームは破棄されます。
Static VLAN Membership List	選択したインタフェースの VLAN メンバーシップを選択します。

- **Action: Edit Member by Interface Range**

指定したポートの範囲で一括して VLAN の設定を行います。

Action: Edit Member by Interface Range

Interface ☒ Port ☐ Trunk

Port Range (1-28) -

Mode Hybrid

VLAN ID (1-4094) -

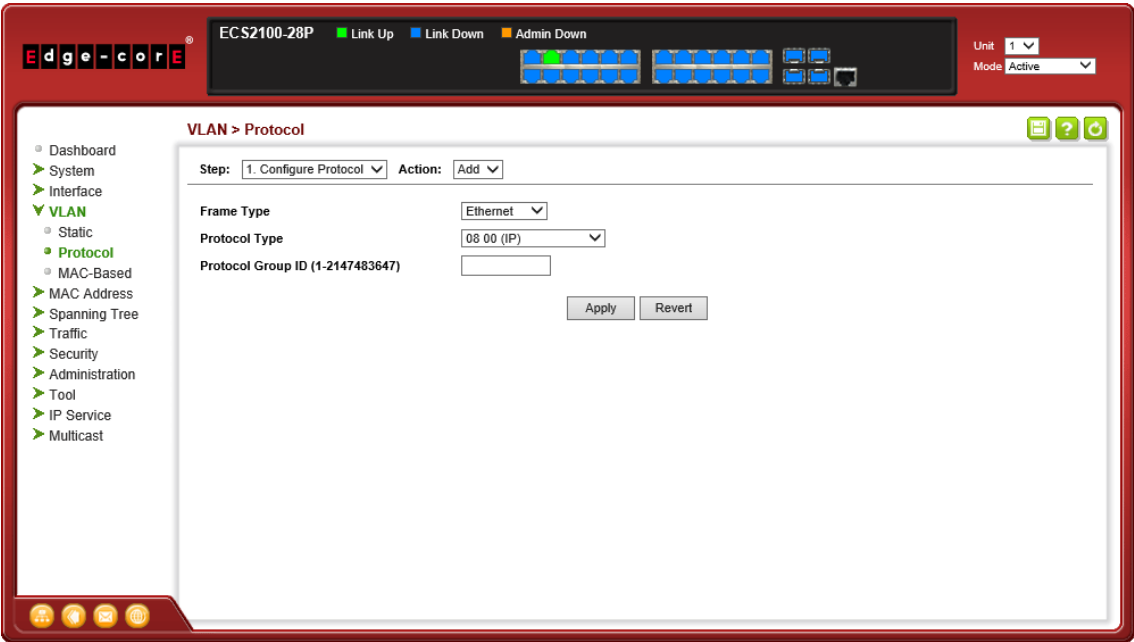
Membership Type ☒ Tagged ☐ Untagged ☐ Forbidden ☐ None

Apply Revert

表示	説明
Interface	Port または Trunk を選択します。
Port Range	インタフェースの範囲を設定します。
Mode	Access、1Q Trunk、Hybrid からモードを選択します。
VLAN ID	VLAN ID または VLAN の範囲を設定します。
Membership Type	VLAN メンバーシップを選択します。

6.4.2. Protocol

プロトコル VLAN の設定を行います。



● Step: 1. Configure Protocol – Action: Add

プロトコル VLAN の追加を行います。

Step: 1. Configure Protocol ▾ Action: Add ▾	
Frame Type	Ethernet ▾
Protocol Type	08 00 (IP) ▾
Protocol Group ID (1-2147483647)	<input type="text"/>
<div>Apply Revert</div>	

表示	説明
Frame Type	Ethernet、RFC 1042、LLC Other からフレームタイプを選択します。
Protocol Type	プロトコルタイプを選択します。
Protocol Group ID	プロトコル VLAN グループに割り当てられる ID を入力します。

- **Step: 1. Configure Protocol – Action: Show**

プロトコル VLAN の設定内容を表示します。

Step:	1. Configure Protocol ▼	Action:	Show ▼
Protocol to Group Mapping Table Total: 1			
<input type="checkbox"/>	Frame Type	Protocol Type	Protocol Group ID
<input type="checkbox"/>	Ethernet	08 00	124
<div style="text-align: right;"> <input type="button" value="Delete"/> <input type="button" value="Revert"/> </div>			

表示	説明
Protocol to Group Mapping Table	Add で設定した内容を表示します。 チェックを入れて Delete をクリックすると、削除できます。

- **Step: 2. Configure Interface – Action: Add**

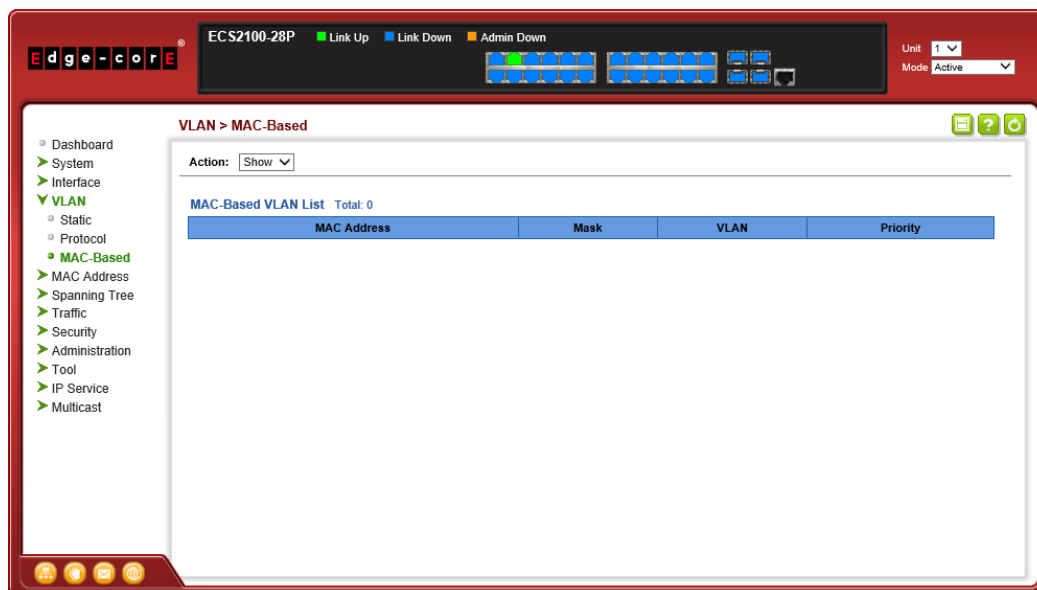
各ポートにプロトコル VLAN を設定します。

Step:	2. Configure Interface ▼	Action:	Add ▼
Interface	<input checked="" type="radio"/> Port 2 ▼ <input type="radio"/> Trunk 1 ▼		
Protocol Group ID	124 ▼		
VLAN ID (1-4094)	<input type="text"/>		
Priority (0-7)	<input type="text"/>		
<div style="text-align: right;"> <input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/> </div>			

表示	説明
Interface	Port または Trunk を選択します。
Protocol Group ID	Configure Protocol の Add で作成した ID から選択します。
VLAN ID	プロトコルトラフィックが転送される VLAN ID を設定します。
Priority	優先度を設定します。

6.4.3. MAC-Based

MAC ベース VLAN を設定します。



- **Action: Show**

MAC ベース VLAN の情報を表示します。

Action: Show			
MAC-Based VLAN List Total: 0			
MAC Address	Mask	VLAN	Priority

表示	説明
MAC-Based VLAN List	MAC Address、Mask、VLAN、Priority の情報を表示します。

- **Action:** Add

MAC ベース VLAN を追加します。

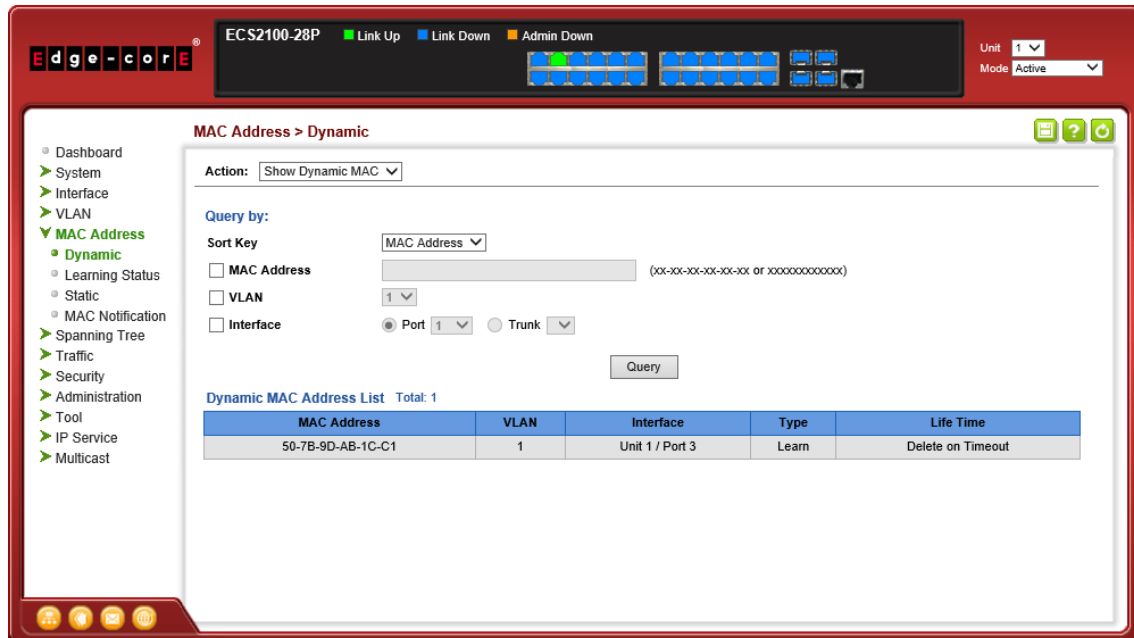
Action:	<input type="button" value="Add"/>	<input type="button" value="v"/>
MAC Address	<input type="text"/>	(xx-xx-xx-xx-xx-xx or xxxxxxxxxxxx)
Mask	<input type="text"/>	(xx-xx-xx-xx-xx-xx or xxxxxxxxxxxx)
VLAN (1-4094)	<input type="text"/>	
Priority (0-7)	<input type="text"/>	
		<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>

表示	説明
MAC Address	特定の VLAN にマッピングされる送信元 MAC アドレスを設定します。
Mask	MAC アドレスの範囲を指定します。
VLAN	指定した送信元 MAC アドレスに一致する転送先 VLAN の設定をします。
Priority	優先度を設定します。

6.5. MAC Address

6.5.1. Dynamic

MAC アドレステーブルに関する設定を行います。



- **Action: Show Dynamic MAC**

自動的に学習した MAC アドレスの情報を表示します。

Action: Show Dynamic MAC

Query by:

Sort Key: MAC Address

MAC Address: (xx-xx-xx-xx-xx-xx or xxxxxxxxxxxx)

VLAN: 1

Interface: Port 1

Query

Dynamic MAC Address List Total: 1

MAC Address	VLAN	Interface	Type	Life Time
50-7B-9D-AB-1C-C1	1	Unit 1 / Port 3	Learn	Delete on Timeout

表示	説明
Sort Key	Dynamic MAC Address List の情報を並べ替えることができます。
MAC Address	インタフェースに関連付けられた MAC アドレスを設定します。
VLAN	設定済みの VLAN ID を入力します。
Interface	Port または Trunk を選択します。
Dynamic MAC Address List	MAC アドレスや VLAN などの情報を表示しています。

- **Action: Clear Dynamic MAC**

自動的に学習した MAC アドレスを削除します。

Action: Clear Dynamic MAC ▼	
Clear by:	<div> All MAC Address VLAN Interface </div> Clear

表示	説明
Clear by	選択したリストを削除することができます。 All を選択した場合は、全てのエントリを削除します。

- **Action: Configure Aging**

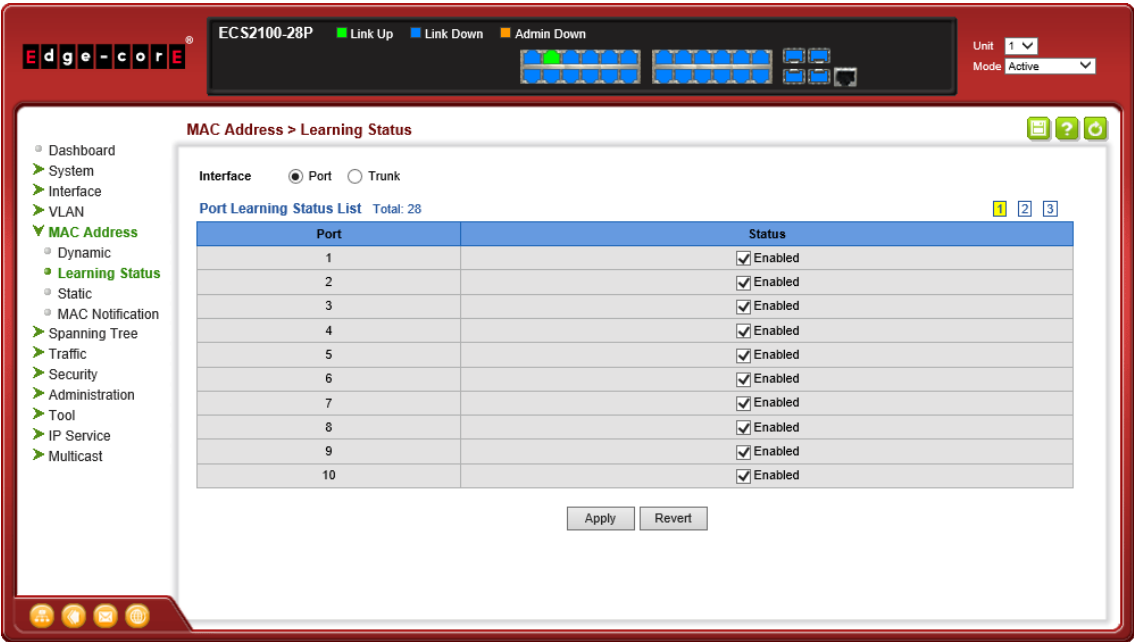
MAC アドレスのエージング機能の設定を行います。

Action: Configure Aging ▼	
Aging Status	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled
Aging Time (6-7200)	<input type="text" value="300"/> sec
Apply Revert	

表示	説明
Aging Status	エージング機能の有効/無効を選択します。
Aging Time	エントリが破棄されるまでの時間を設定します。

6.5.2. Learning Status

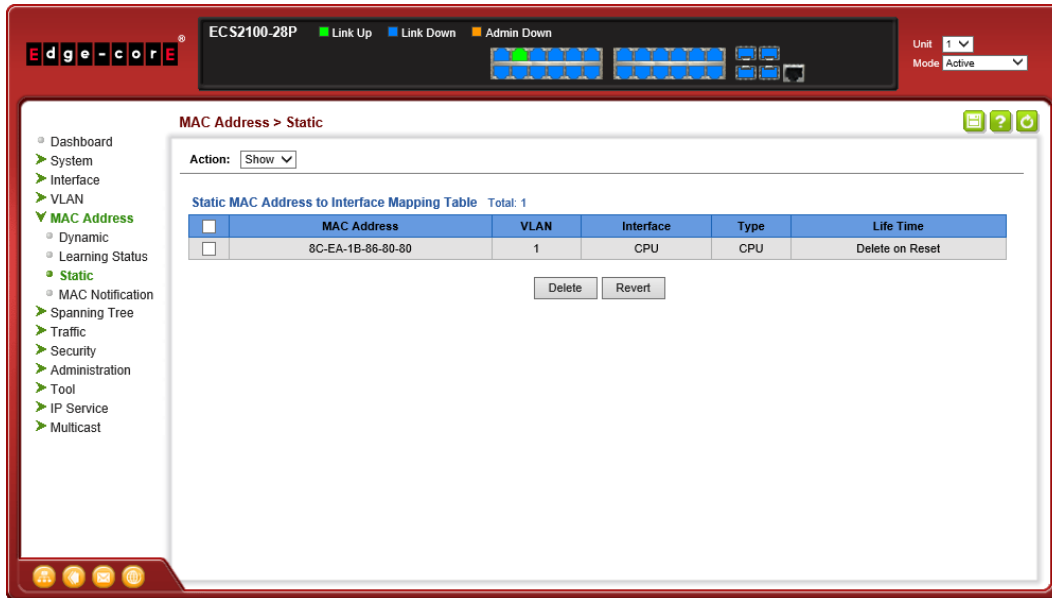
MAC アドレスの学習の設定を行います。



表示	説明
Interface	Port または Trunk を選択します。
Learning Status List	MAC アドレスの学習を行うか選択します。

6.5.3. Static

Static MAC アドレスの登録を行います。



● Action: Add

Static MAC アドレスの追加を行います。

Action: Add

VLAN: 1

Interface: Port 1 Trunk

MAC Address: (xx-xx-xx-xx-xx-xx or xxxxxxxxxxxx)

Static Status: Permanent

Apply Revert

表示	説明
VLAN	設置済み VLAN ID から選択します。
Interface	Port または Trunk を選択します。
MAC Address	インタフェースにマッピングされたデバイスの MAC アドレスを設定します。
Static Status	指定したアドレスを保持する時間を設定します。 Delete-on-reset : スイッチがリセットされるまで/Permanent : 永続的

● Action: Show

追加した Static MAC アドレスを表示します。

Action: Show

Static MAC Address to Interface Mapping Table Total: 1

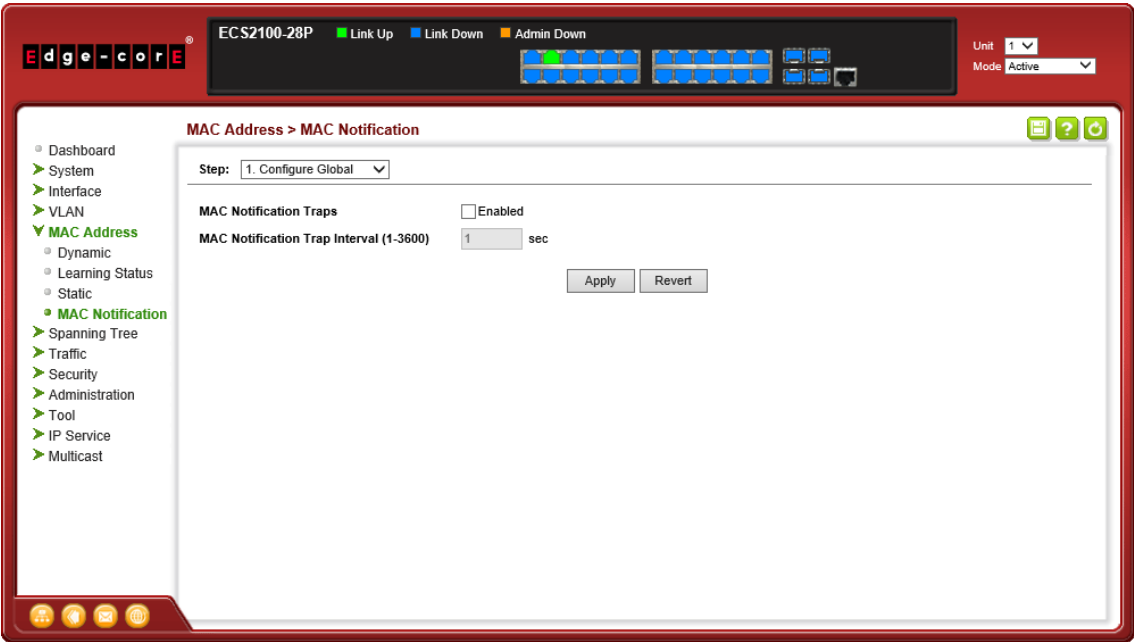
	MAC Address	VLAN	Interface	Type	Life Time
<input type="checkbox"/>	8C-EA-1B-86-80-80	1	CPU	CPU	Delete on Reset

Delete Revert

表示	説明
Static MAC Address to Interface Mapping Table	インタフェースのマッピングテーブルを表示します。

6.5.4. MAC Notification

MAC アドレス通知機能の設定を行います。



● Step: 1. Configure Global

MAC アドレス通知機能の基本設定を行います。

Step: 1. Configure Global ▼

MAC Notification Traps

☐ Enabled

MAC Notification Trap Interval (1-3600)

sec

Apply

Revert

表示	説明
MAC Notification Traps	動的 MAC アドレスが追加または削除されたときに、トラップを発行します。
MAC Notification Trap Interval	連続する 2 つのトラップを発行する間隔を指定します。

● Step: 2.Configure Interface

ポート毎に MAC アドレス通知機能の有効/無効を設定します。

Step: 2. Configure Interface

Interface

☒ Port ☐ Trunk

Port List

Total: 28

1

2

3

Port	MAC Notification Trap
1	<input type="checkbox"/> Enabled
2	<input type="checkbox"/> Enabled
3	<input type="checkbox"/> Enabled
4	<input type="checkbox"/> Enabled
5	<input type="checkbox"/> Enabled
6	<input type="checkbox"/> Enabled
7	<input type="checkbox"/> Enabled
8	<input type="checkbox"/> Enabled
9	<input type="checkbox"/> Enabled
10	<input type="checkbox"/> Enabled

Apply

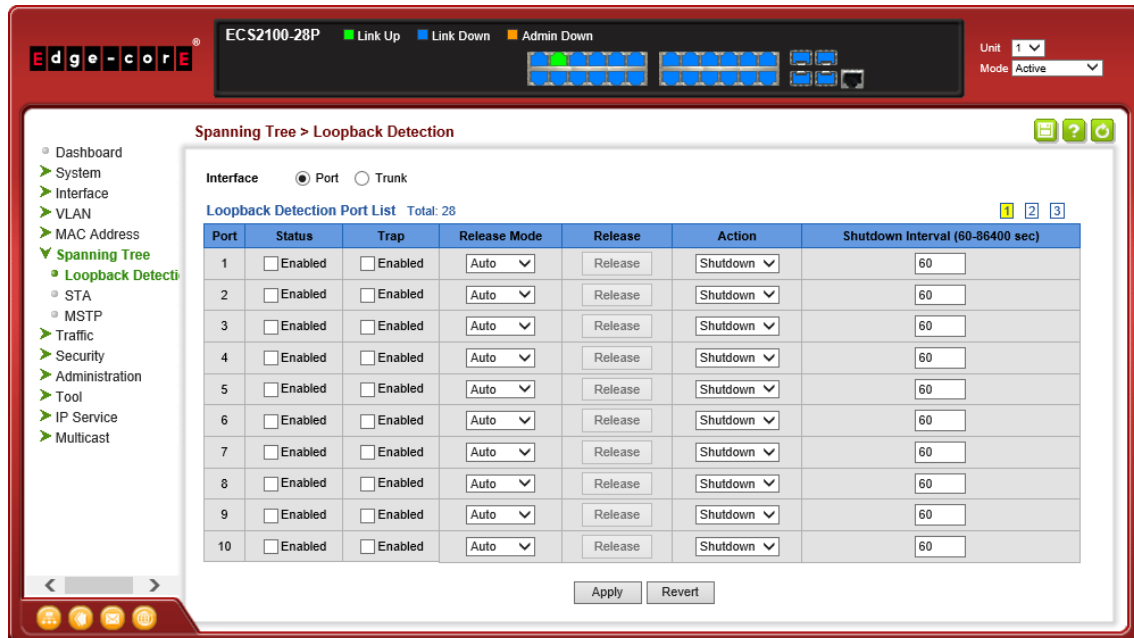
Revert

表示	説明
Interface	Port または Trunk を選択します。
MAC Notification Trap	Port または Trunk ごとに、トラップを発行するか設定します。

6.6. Spanning Tree

6.6.1. Loopback Detection

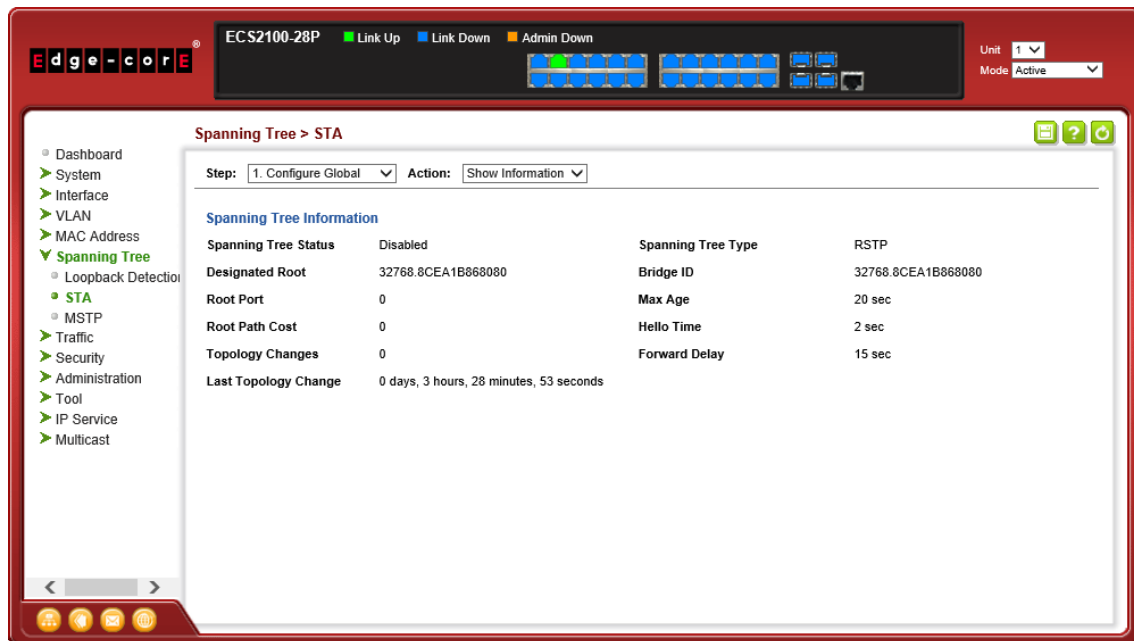
ループ検知機能の設定を行います。



表示	説明
Interface	Port または Trunk を選択します。
Status	ループバック検出の有効/無効を選択します。
Trap	ループバックが発生した際に、SNMPトラップ通知を行うか設定します。
Release Mode	自動または手動ループバックのリリースを設定します。
Release	Release Mode を Manual に設定した場合、手動でループバックのリリースを行うことができます。
Action	ループバックを検出した際、ユーザのトラフィックをブロックするか、インタフェースをシャットダウンするか設定します。
Shutdown Interval	インタフェースをシャットダウンする時間を設定します。

6.6.2. STA

スパニングツリーの設定を行います。



● **Step: 1. Configure Global** – **Action: Show Information**

スパニングツリーの設定情報を表示します。

Step: 1. Configure Global Action: Show Information			
Spanning Tree Information			
Spanning Tree Status	Disabled	Spanning Tree Type	RSTP
Designated Root	32768.8CEA1B868080	Bridge ID	32768.8CEA1B868080
Root Port	0	Max Age	20 sec
Root Path Cost	0	Hello Time	2 sec
Topology Changes	0	Forward Delay	15 sec
Last Topology Change	0 days, 3 hours, 30 minutes, 13 seconds		

表示	説明
Spanning Tree Information	スパニングツリーの設定情報を表示します。

● **Step: 1. Configure Global** - **Action: Configure**

スパニングツリーのグローバル設定を行います。

Step:	1. Configure Global	Action:	Configure
Spanning Tree Status	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled		
Spanning Tree Type	RSTP		
Priority (0-61440, in steps of 4096)	32768		
BPDU Flooding	To VLAN		
Cisco Prestandard Status	<input type="checkbox"/> Enabled		
Advanced:			
Path Cost Method	Long		
Transmission Limit (1-10)	3		
When the Switch Becomes Root:			
Hello Time (1-10)	2	sec	
Maximum Age (6-40)	20	sec	
Forward Delay (4-30)	15	sec	
Note: $2 * (\text{Hello Time} + 1) \leq \text{Max Age} \leq 2 * (\text{Forward Delay} - 1)$			
		Apply	Revert

表示	説明
Spanning Tree Status	スパニングツリーの有効/無効を選択します。
Spanning Tree Type	使用するスパニングツリーのタイプを設定します。
Priority	ブリッジプライオリティを設定します。(数値が小さいほど優先度は高い) ルートデバイス、ルートポート、指定ポートの選択の際に使用されます。
BPDU Flooding	スパニングツリーがスイッチ上または特定のポートで無効になっている場合、BPDU をスイッチ上の他のすべてのポートまたは VLAN 内の他のすべてのポートにフラッティングさせるように設定します。
Cisco Prestandard Status	Cisco のプロトコルと互換性を持たせるかどうか選択します。
Path Cost Method	パスコストはデバイス間の最適なパスを決定するために使用されます。 Long : 1~200,000,000 の範囲の 32 ビットベースの値を指定します。 Short : 1~65535 の範囲の 16 ビットベースの値を指定します。
Transmission Limit	BPDU の最大伝送速度は、連続するプロトコルメッセージの送信間隔の最小値を設定することによって設定されます。
Hello Time	BPDU 送信間隔を設定します。
Maximum Age	ルートデバイスから BPDU が届かなくなったことを認識するまでの時間を設定します。
Forward Delay	ポートの状態遷移時間を設定します。

※ Spanning Tree Type で“MSTP”を選択した場合

MSTP Configuration	
Max Instance Numbers	64
Configuration Digest	0xAC36177F50283CD4B83821D8AB26DE62
Region Revision (0-65535)	<input type="text" value="0"/>
Region Name	<input type="text" value="8C EA 1B 86 80 80"/>
Max Hop Count (1-40)	<input type="text" value="20"/>

表示	説明
Max Instance Number	スイッチに割り当てられる MSTP のインスタンスの最大数を表示します。
Configuration Digest	MST ID マッピングテーブルに VLAN ID を含む MD5 署名キーを表示します。
Region Revision	MSTI のリビジョンを設定します。
Region Name	MSTI の名前を入力します。
Max Hop Count	MST 領域で許可されるホップの最大数を設定します。

● **Step: 2. Configure Interface – Action: Show Information**

ポート毎の設定情報を表示します。

Step: 2. Configure Interface Action: Show Information											
Interface <input checked="" type="radio"/> Port <input type="radio"/> Trunk											
Spanning Tree Port List Total: 28 1 2 3											
Port	Spanning Tree	BPDU Flooding	STA Status	Forward Transitions	Designated Cost	Designated Bridge	Designated Port	Oper Path Cost	Oper Link Type	Oper Edge Port	Port Role
1	Enabled	Enabled	Discarding	0	0	32768.8CEA1B868080	128.1	10000	Point-to-Point	Disabled	Disabled
2	Enabled	Enabled	Discarding	0	0	32768.8CEA1B868080	128.2	10000	Point-to-Point	Disabled	Disabled
3	Enabled	Enabled	Forwarding	5	0	32768.8CEA1B868080	128.3	10000	Point-to-Point	Disabled	Disabled
4	Enabled	Enabled	Discarding	0	0	32768.8CEA1B868080	128.4	10000	Point-to-Point	Disabled	Disabled
5	Enabled	Enabled	Discarding	0	0	32768.8CEA1B868080	128.5	10000	Point-to-Point	Disabled	Disabled
6	Enabled	Enabled	Discarding	0	0	32768.8CEA1B868080	128.6	10000	Point-to-Point	Disabled	Disabled

表示	説明
Interface	Port または Trunk を選択します。
Spanning Tree List	スパニングツリーの設定情報をポートまたはトランク毎に表示します。

● **Step: 2. Configure Interface – Action: Configure**

ポート毎にスパンニングツリーの設定を行います。

Step: 2. Configure Interface Action: Configure

Interface ☒ Port ☐ Trunk

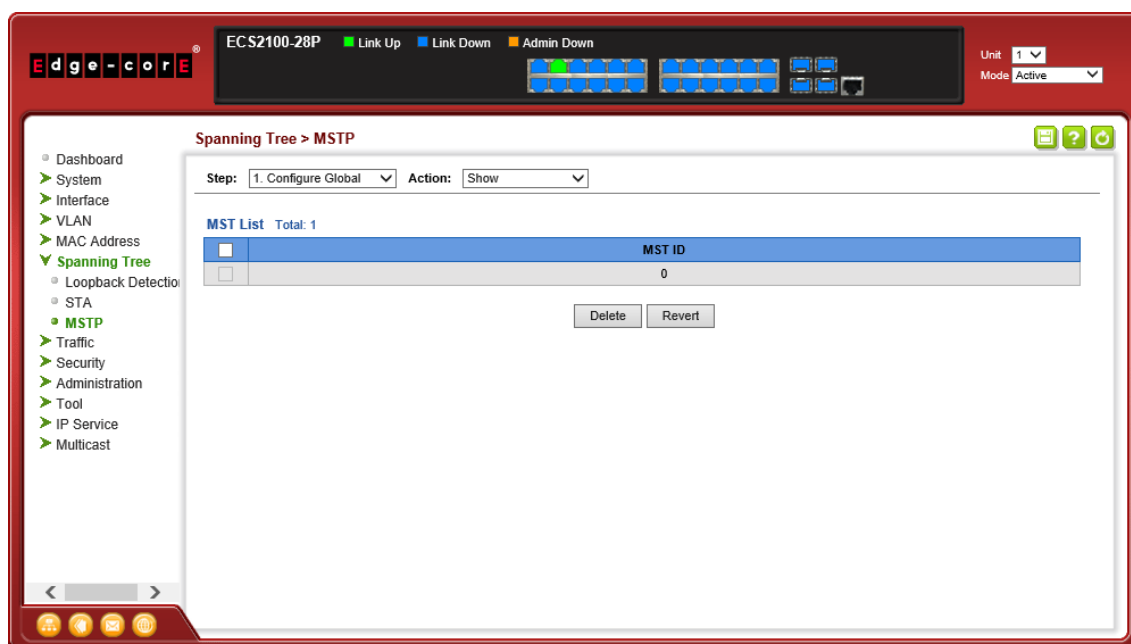
Port List Total: 28 1 2 3

Port	Spanning Tree	BPDU Flooding	Priority (0-240, in steps of 16)	Admin Path Cost (0-200000000, 0: Auto)	Admin Link Type	Root Guard	Admin Edge Port	BPDU Guard	BPDU Guard Auto Recovery	BPDU Guard Auto Recovery Interval (30-86400)	BPDU Filter
1	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	128	0	Auto	<input type="checkbox"/> Enabled	Auto	<input type="checkbox"/> Enabled	<input type="checkbox"/> Enabled	300	<input type="checkbox"/> Enabled
2	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	128	0	Auto	<input type="checkbox"/> Enabled	Auto	<input type="checkbox"/> Enabled	<input type="checkbox"/> Enabled	300	<input type="checkbox"/> Enabled
3	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	128	0	Auto	<input type="checkbox"/> Enabled	Auto	<input type="checkbox"/> Enabled	<input type="checkbox"/> Enabled	300	<input type="checkbox"/> Enabled
4	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	128	0	Auto	<input type="checkbox"/> Enabled	Auto	<input type="checkbox"/> Enabled	<input type="checkbox"/> Enabled	300	<input type="checkbox"/> Enabled
5	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	128	0	Auto	<input type="checkbox"/> Enabled	Auto	<input type="checkbox"/> Enabled	<input type="checkbox"/> Enabled	300	<input type="checkbox"/> Enabled
6	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	128	0	Auto	<input type="checkbox"/> Enabled	Auto	<input type="checkbox"/> Enabled	<input type="checkbox"/> Enabled	300	<input type="checkbox"/> Enabled

表示	説明
Interface	Port または Trunk を選択します。
Spanning Tree	スパンニングツリーの有効/無効を選択します。
BPDU Flooding	BPDU フラッディングの有効/無効を選択します。
Priority	プライオリティを設定します。
Admin Path Cost	パスコストを設定します。数値が低いほど、優先度は高くなります。
Admin Link Type	インタフェースに接続されているリンクの種類 (Point-to-Point 、 Shared、Auto)を選択します。
Root Guard	ルートブリッジの次の候補を選択することができます。
Admin Edge Port	エッジポートの設定を有効/無効/Auto(自動判別)から選択します。
BPDU Guard	エッジポートが BPDU を受信するのを防ぎます。 エッジポートをシャットダウンすることでループを防止します。
BPDU Guard Auto Recovery	指定した間隔の後、インタフェースを自動的に使用可能にします。
BPDU Guard Auto Recovery Interval	インタフェースを再度有効にするまでの時間(間隔)を設定します。
BPDU Filter	エンドノードに接続されている構成済みのエッジポートで BPDU を送信しないようにできます。
Migration	STP BPDUを検出すると、インタフェースが強制的に STP 互換モードに自動的に設定されます。
TC Propagate Stop	トポロジ—変化通知を停止します。

6.6.3. MSTP

MSTP の設定を行います。



- **Step: 1. Configure Global – Action: Add**

MST インスタンスの追加を行います。

Step:	1. Configure Global	Action:	Add
MST ID (0-4094)	<input type="text"/>		
VLAN ID (1-4094)	<input type="text"/>		
Priority (0-61440, in steps of 4096)	<input type="text"/>		
		Apply	Revert

表示	説明
MST ID	インスタンス ID を設定します。
VLAN ID	MST インスタンスに割り当てる VLAN を設定します。
Priority	スパニングツリーインスタンスの優先度を設定します。

- Step: 1. Configure Global – Action: Show

MST インスタンス ID の表示、及び削除を行います。

Step:	1. Configure Global ▼	Action:	Show ▼
MST List Total: 1			
<input type="checkbox"/>	MST ID		
<input type="checkbox"/>	0		
<input type="button" value="Delete"/> <input type="button" value="Revert"/>			

表示	説明
MST List	インスタンス ID を表示します。選択し Delete をクリックすると削除します。

- Step: 1. Configure Global – Action: Modify

MST インスタンスの優先度を設定します。

Step:	1. Configure Global ▼	Action:	Modify ▼
MST Details List Total: 1			
MST ID	Priority (0-61440, in steps of 4096)		
0	<input type="text" value="32768"/>		
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>			

表示	説明
MST Details List	インスタンス ID の優先度を設定します。

- Step: 1. Configure Global – Action: Show Information

MST インスタンスの設定情報を表示します。

Step:	1. Configure Global ▼	Action:	Show Information ▼
MST ID <input type="text" value="0"/>			
Priority	32768	Designated Root	32768.0.8CEA1B868080
Bridge ID	32768.0.8CEA1B868080	Root Port	0
Max Age	20 sec	Root Path Cost	0
Hello Time	2 sec	Configuration Changes	0
Forward Delay	15 sec	Last Topology Change	0 hrs 8 mins 51 seconds

表示	説明
MST ID	インスタンス ID を選択します。 インスタンスの設定情報が表示されます。

- **Step: 1. Configure Global – Action: Add Member**

MST インスタンスに VLAN を割り当てます。

Step:	1. Configure Global ▼	Action:	Add Member ▼
MST ID	0 ▼		
VLAN ID (1-4094)	<input type="text"/>		
		Apply	Revert

表示	説明
MST ID	インスタンス ID を選択します。
VLAN ID	MST インスタンスに割り当てる VLAN を設定します。

- **Step: 1. Configure Global – Action: Show Member**

MST インスタンスに割り当てた VLAN の表示及び削除を行います。

Step:	1. Configure Global ▼	Action:	Show Member ▼
MST ID	0 ▼		
Member List Total: 4094 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ▶			
<input type="checkbox"/>	VLAN		
<input type="checkbox"/>	1		
<input type="checkbox"/>	2		
<input type="checkbox"/>	3		

表示	説明
MST ID	インスタンス ID を選択します。
Member List	インスタンスに割り当てた VLAN を表示します。選択すると削除します。

- **Step: 2. Configure Interface – Action: Show Information**

ポート毎の設定情報を表示します。

Step:	2. Configure Interface ▼	Action:	Show Information ▼						
MST ID	0 ▼								
Interface	<input checked="" type="radio"/> Port <input type="radio"/> Trunk								
Spanning Tree Port List Total: 28 1 2 3									
Port	STA Status	Forward Transitions	Designated Cost	Designated Bridge	Designated Port	Oper Path Cost	Oper Link Type	Oper Edge Port	Port Role
1	Discarding	0	0	32768.0.8CEA1B868080	128.1	10000	Point-to-Point	Disabled	Disabled
2	Discarding	0	0	32768.0.8CEA1B868080	128.2	10000	Point-to-Point	Disabled	Disabled
3	Forwarding	6	0	32768.0.8CEA1B868080	128.3	10000	Point-to-Point	Enabled	Designated

表示	説明
Spanning Tree Port List	ポート毎の設定情報を表示します。

- **Step: 2. Configure Interface – Action: Configure**

ポート毎に設定を行います。

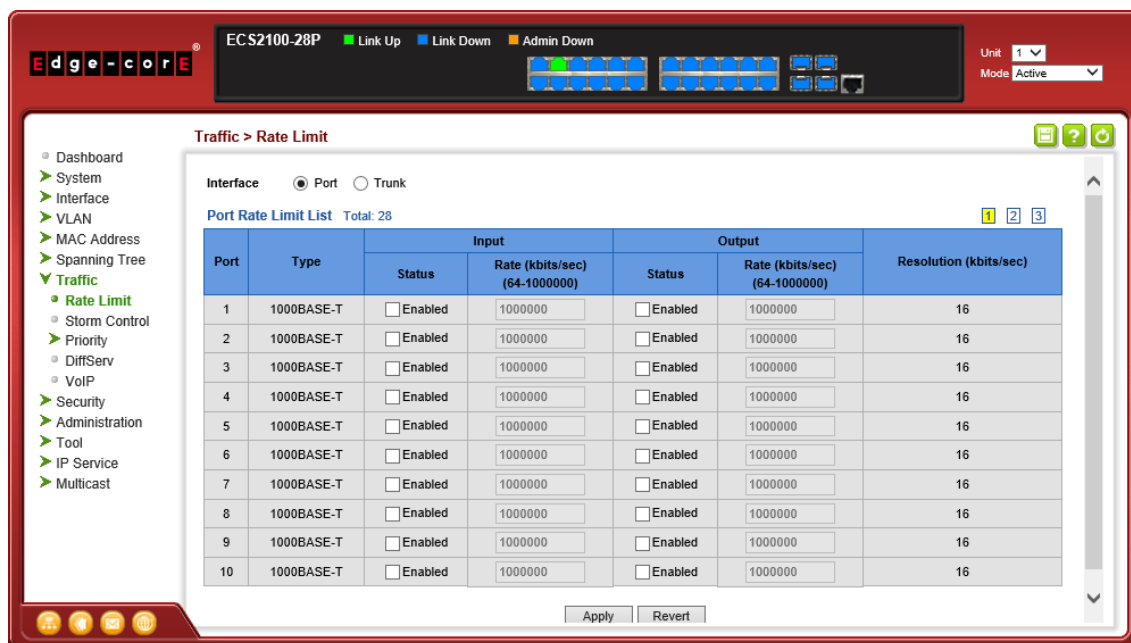
Step:	2. Configure Interface ▼	Action:	Configure ▼
MST ID	0 ▼		
Interface	<input checked="" type="radio"/> Port <input type="radio"/> Trunk		
Spanning Tree Port List Total: 28 1 2 3			
Port	STA Status	Priority (0-240, in steps of 16)	Admin MST Path Cost (0-200000000, 0: Auto)
1	Discarding	128	0
2	Discarding	128	0
3	Forwarding	128	0

表示	説明
MST ID	インスタンス ID を選択します。
Interface	Port または Trunk を選択します。
Priority	優先度を設定します。
Admin Path Cost	パスコストを設定します。

6.7. Traffic

6.7.1. Rate Limit

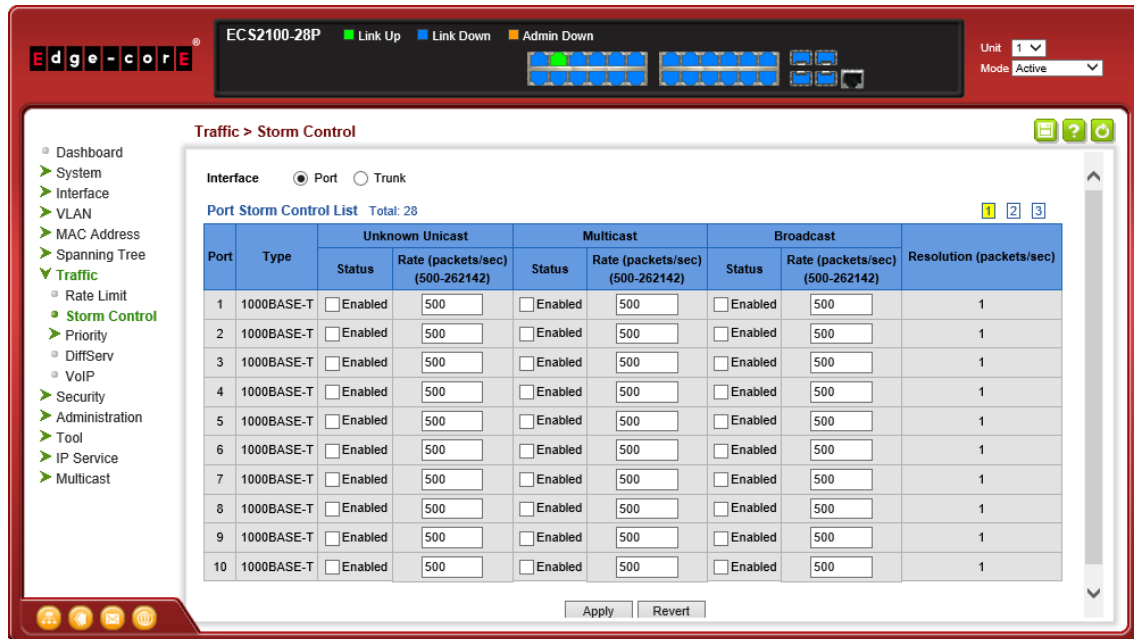
レート制御機能の設定を行います。



表示	説明
Interface	Port または Trunk を選択します。
Status	Input・Output それぞれレート制限を有効/無効にするか選択します。
Rate	レート制限レベルを設定します。

6.7.2. Storm Control

ストームコントロール機能の設定を行います。

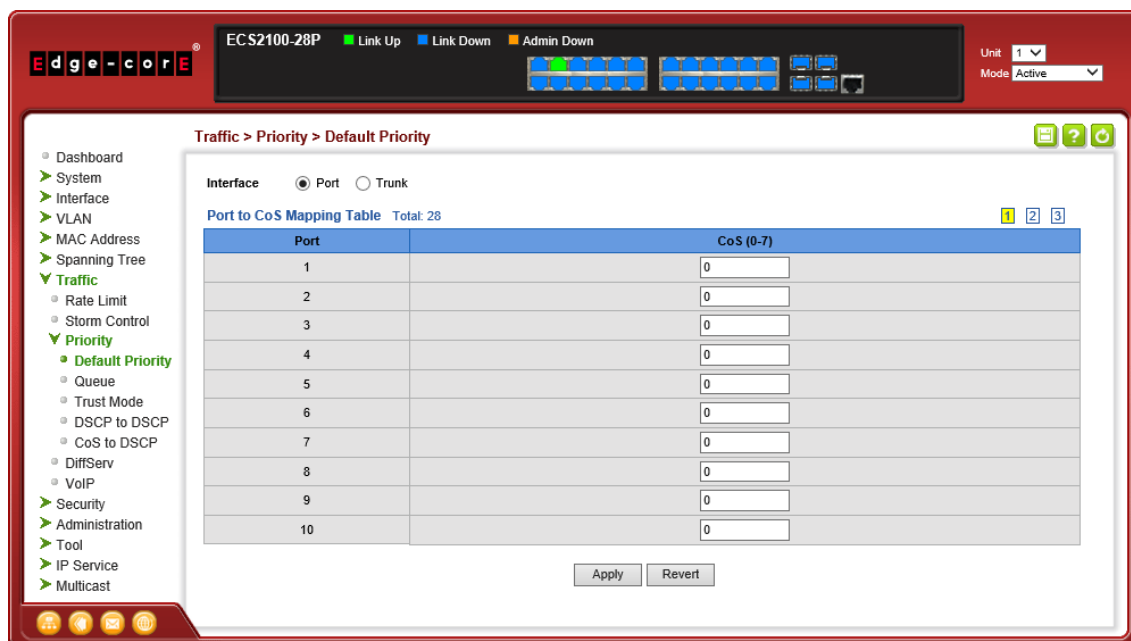


表示		説明
Interface		Port または Trunk を選択します。
Storm Control List		Unknown ユニキャスト、マルチキャスト、ブロードキャストストームの制御スレッシュホールドを設定します。
Unknown Unicast	Status	Unknown ユニキャストストームコントロールの有効/無効を選択します。
	Rate	1 秒あたりのパケット単位の閾値レベルを設定します。
Multicast	Status	マルチキャストストームコントロールの有効/無効を選択します。
	Rate	1 秒あたりのパケット単位の閾値レベルを設定します。
Broadcast	Status	ブロードキャストストームコントロールの有効/無効を選択します。
	Rate	1 秒あたりのパケット単位の閾値レベルを設定します。

6.7.3. Priority

6.7.3.1. Default Priority

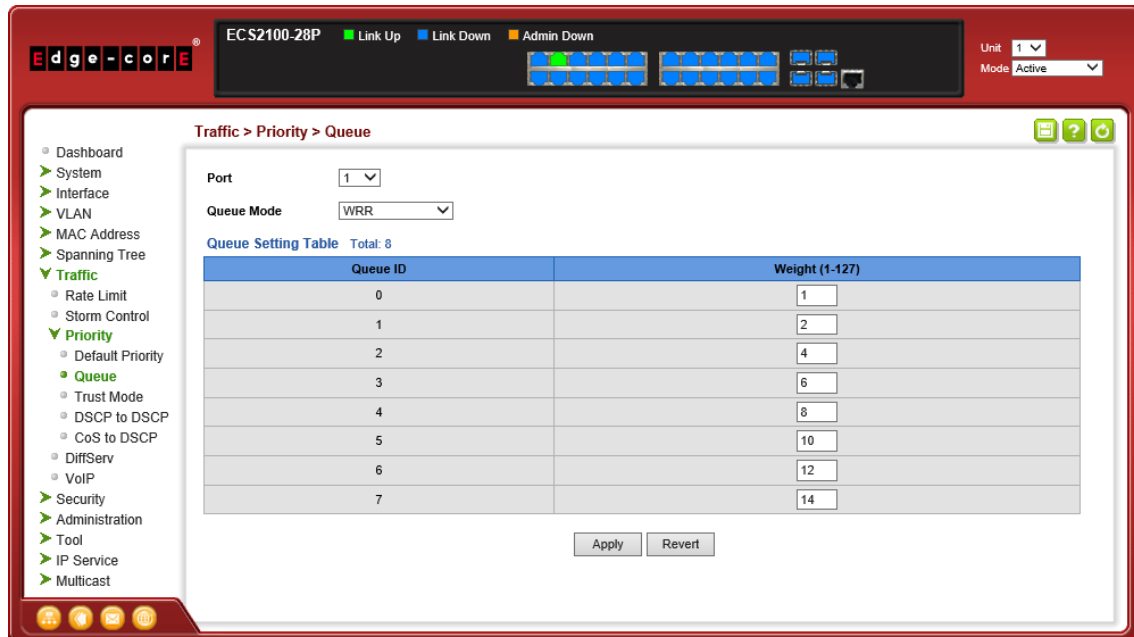
ポート毎に優先度の設定を行います。



表示	説明
Interface	Port または Trunk を選択します。
CoS	受信したタグなしフレームに割り当てられる優先度を設定します。

6.7.3.2. Queue

キュー毎の優先度の重み付けの設定を行います。



表示	説明
Port	Port または Trunk を選択します。
Queue Mode	Strict : 優先度の高いパケットは、他のトラフィックより常に先に転送されます。 WRR : すべてのプロセスが平等に扱われます。
Weight	WRR が使用する各キューの重みを設定します。

※ Queue Mode で “Strict and WRR” を選択した場合

Queue Mode

Strict and WRR

Queue Setting Table

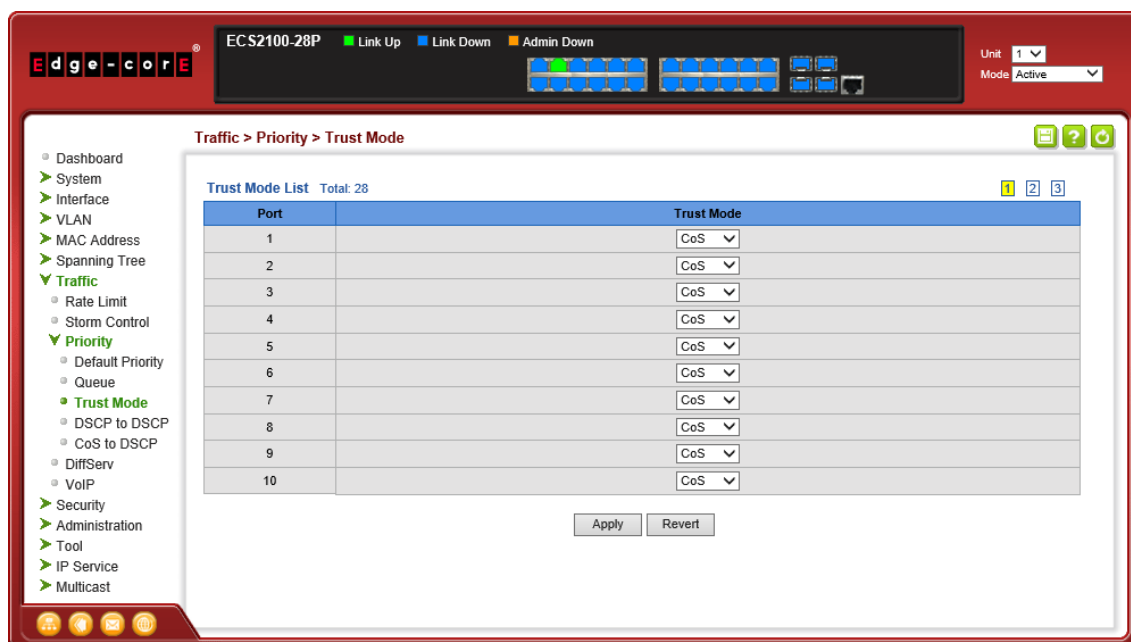
Total: 8

Queue ID	Strict Mode	Weight (1-127)
0	Disabled	1
1	Disabled	2
2	Disabled	4
3	Disabled	6
4	Disabled	8
5	Disabled	10
6	Disabled	12
7	Disabled	14

表示	説明
Strict Mode	Strict の有効/無効を選択します。
Weight	WRR が使用する各キューの重みを設定します。

6.7.3.3. Trust Mode

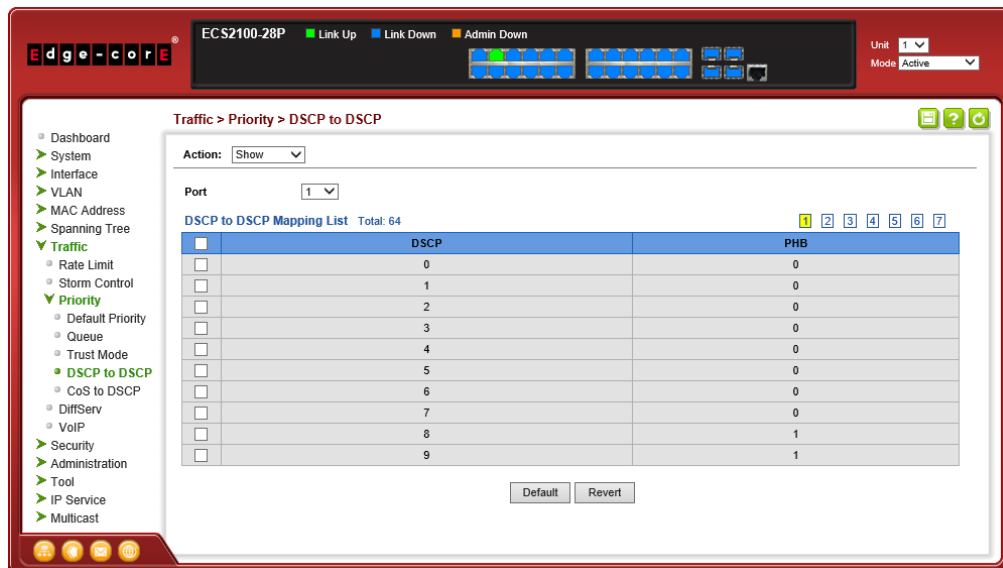
ポート毎に CoS 値と DSCP 値のどちらを使用して優先度を決めるかの設定を行います。



表示		説明
Trust Mode	CoS	CoS 値を使用して優先度をマッピングします。
	DSCP	DSCP 値を使用して優先度をマッピングします。

6.7.3.4. DSCP to DSCP

DSCP 値と PHB 値のマッピングを行います。



- **Action: Configure**

選択したポートでの、DHCP to PHB マッピングの設定を行います。

Action: Configure

Port: 1

DSCP (0-63):

PHB (0-7):

Apply Revert

表示	説明
Port	設定を入れるポートを選択します。
DSCP	DSCP 値を入力します。
PHB	PHB 値を入力します。

- **Action: Show**

DSCP to PHB マッピングの設定情報を表示します。

Action: Show

Port: 1

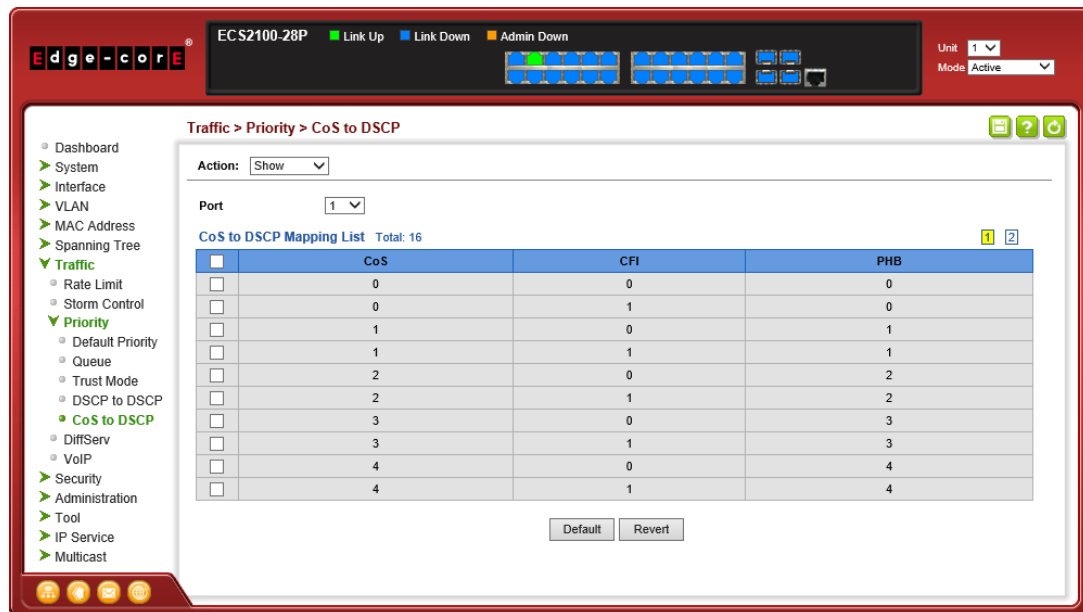
DSCP to DSCP Mapping List Total: 64

	DSCP	PHB
<input type="checkbox"/>	0	0
<input type="checkbox"/>	1	0
<input type="checkbox"/>	2	0
<input type="checkbox"/>	3	0

表示	説明
Port	ポート番号を選択します。
DSCP to DSCP Mapping List	設定した DSCP 値と PHB 値を表示します。

6.7.3.5. CoS to DSCP

CoS 値と DSCP 値のマッピングを行います。



- **Action: Configure**

ポート毎に設定を行います。

Action: Configure

Port: 1

CoS (0-7):

CFI (0-1):

PHB (0-7):

Apply Revert

表示	説明
Port	設定を入れるポートを選択します。
CoS	CoS 値を入力します。
CFI	CFI 値を入力します。
PHB	PHB 値を入力します。

- **Action: Show**

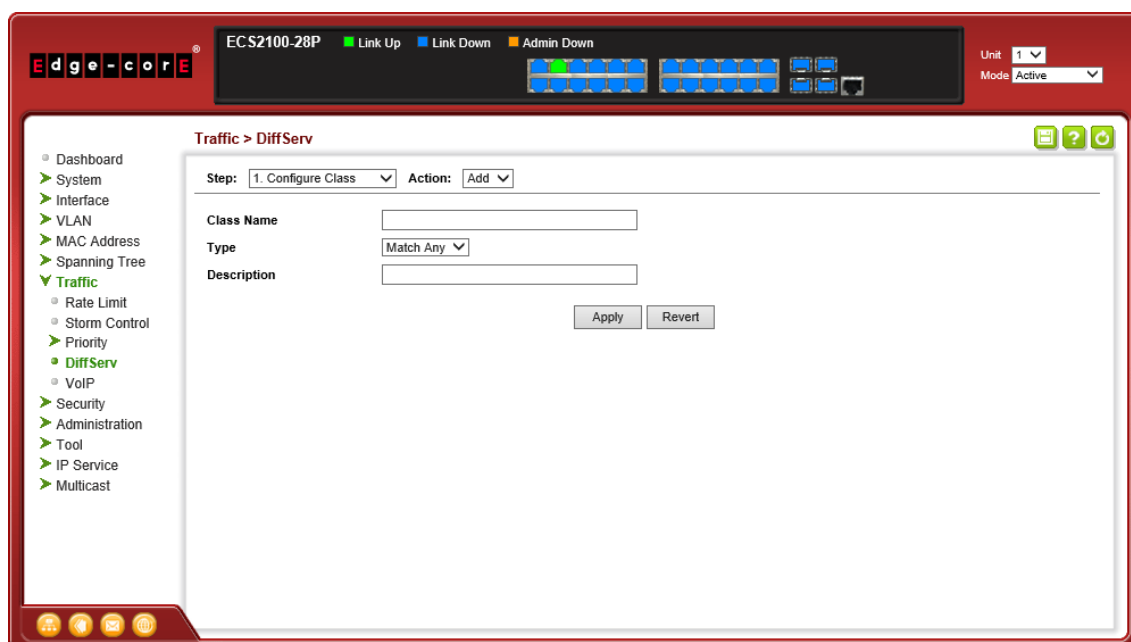
設定内容を表示します。

Action: Show ▼			
Port 1 ▼			
CoS to DSCP Mapping List Total: 16 1 2			
<input type="checkbox"/>	CoS	CFI	PHB
<input type="checkbox"/>	0	0	0
<input type="checkbox"/>	0	1	0

表示	説明
Port	ポート番号を選択します。
CoS to DSCP Mapping List	設定した CoS 値、CFI 値、PHB 値を表示します。

6.7.4. Diff Serv

Diff Serv の設定を行います。



- **Step: 1. Configure Class – Action: Add**

クラスの追加を行います。

Step:	1. Configure Class	Action:	Add
Class Name	<input type="text"/>		
Type	Match Any		
Description	<input type="text"/>		
		Apply	Revert

表示	説明
Class Name	クラスマップの名前を入力します。
Type	クラスマップごとに許可される Match コマンドは Match Any のみ。
Description	クラスマップを識別するユーザ定義のテキストを入力します。

- **Step: 2. Configure Policy – Action: Add**

ポリシーの追加を行います。

Step:	2. Configure Policy ▼	Action:	Add ▼
Policy Name	<input type="text"/>		
Description	<input type="text"/>		
		Apply	Revert

表示	説明
Policy Name	ポリシーマップの名前を入力します。
Description	ポリシーマップを識別するユーザ定義のテキストを入力します。

- **Step: 3. Configure Interface**

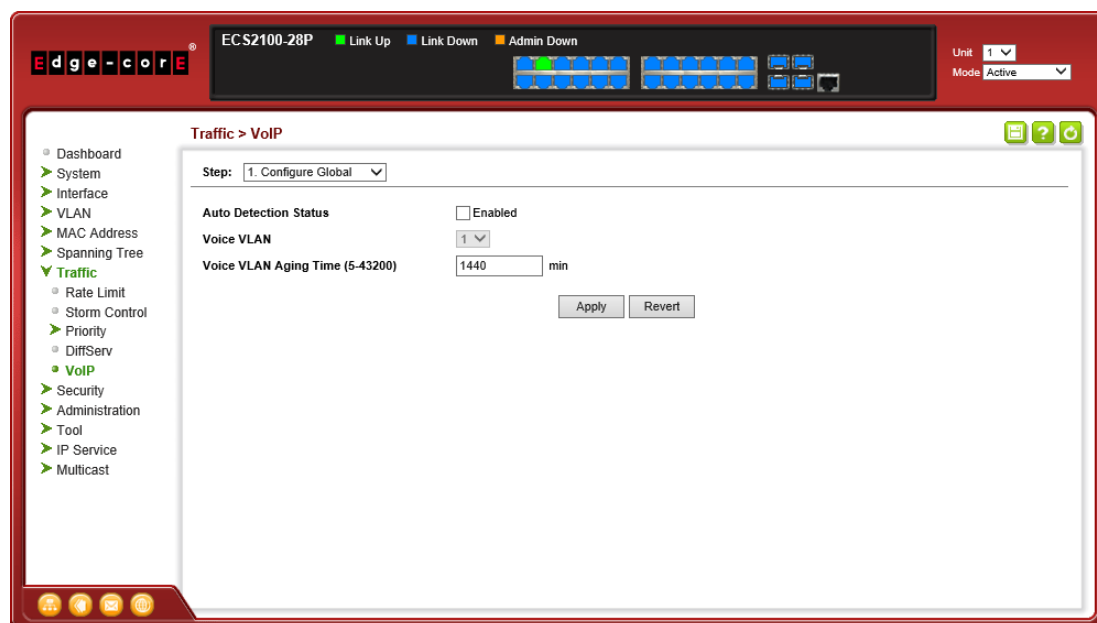
ポート毎の設定を行います。

Step:	3. Configure Interface ▼
Port Service Policy List Total: 28 1 2 3	
Port	Ingress
1	<input type="checkbox"/> ▼
2	<input type="checkbox"/> ▼
3	<input type="checkbox"/> ▼
4	<input type="checkbox"/> ▼
5	<input type="checkbox"/> ▼
6	<input type="checkbox"/> ▼
7	<input type="checkbox"/> ▼
8	<input type="checkbox"/> ▼
9	<input type="checkbox"/> ▼
10	<input type="checkbox"/> ▼
Apply Revert	

表示	説明
Ingress	選択したルールを入力トラフィックに適用します。

6.7.5. VoIP

VoIP の設定を行います。



- **Step: 1. Configure Global**

VoIP の基本設定を行います。

Step: 1. Configure Global	
Auto Detection Status	<input type="checkbox"/> Enabled
Voice VLAN	1
Voice VLAN Aging Time (5-43200)	1440 min
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
Auto Detection Status	VoIP トラフィックの自動検出の有効/無効を選択します。
Voice VLAN	ネットワーク音声 VLAN ID を設定します。
Voice VLAN Aging Time	VoIP トラフィックが受信されなくなったときに音声 VLAN が削除されるまでの時間を設定します。

- **Step: 2. Configure OUI – Action: Add**

VoIP を識別するための MAC アドレスを登録します。

Step:	2. Configure OUI ▼	Action:	Add ▼
Telephony OUI	<input type="text"/>	(xx-xx-xx-xx-xx-xx or xxxxxxxxxxxx)	
Mask	<input type="text"/>	(xx-xx-xx-xx-xx-xx or xxxxxxxxxxxx)	
Description	<input type="text"/>		
		Apply	Revert

表示	説明
Telephony OUI	リストに追加する MAC アドレスの範囲を指定します。
Mask	MAC アドレスの範囲を指定します。
Description	VoIP デバイスを識別するユーザ定義のテキストを入力します。

- **Step: 2. Configure OUI – Action: Show**

登録した MAC アドレスを表示します。

Step:	2. Configure OUI ▼	Action:	Show ▼
Telephony OUI List Total: 0			
Telephony OUI	Mask	Description	

表示	説明
Telephony OUI List	登録した MAC アドレスを表示します。

- **Step: 3. Configure Interface**

ポート毎に設定を行います。

Step: 3. Configure Interface ▼

VoIP Port List Total: 28 1 2 3

Port	Mode	Security	Discovery Protocol	Priority (0-6)	Remaining Age (minutes)
1	None ▼	<input type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> OUI <input type="checkbox"/> LLDP	6	NA
2	None ▼	<input type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> OUI <input type="checkbox"/> LLDP	6	NA
3	None ▼	<input type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> OUI <input type="checkbox"/> LLDP	6	NA
4	None ▼	<input type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> OUI <input type="checkbox"/> LLDP	6	NA
5	None ▼	<input type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> OUI <input type="checkbox"/> LLDP	6	NA
6	None ▼	<input type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> OUI <input type="checkbox"/> LLDP	6	NA
7	None ▼	<input type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> OUI <input type="checkbox"/> LLDP	6	NA
8	None ▼	<input type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> OUI <input type="checkbox"/> LLDP	6	NA
9	None ▼	<input type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> OUI <input type="checkbox"/> LLDP	6	NA
10	None ▼	<input type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> OUI <input type="checkbox"/> LLDP	6	NA

Apply

Revert

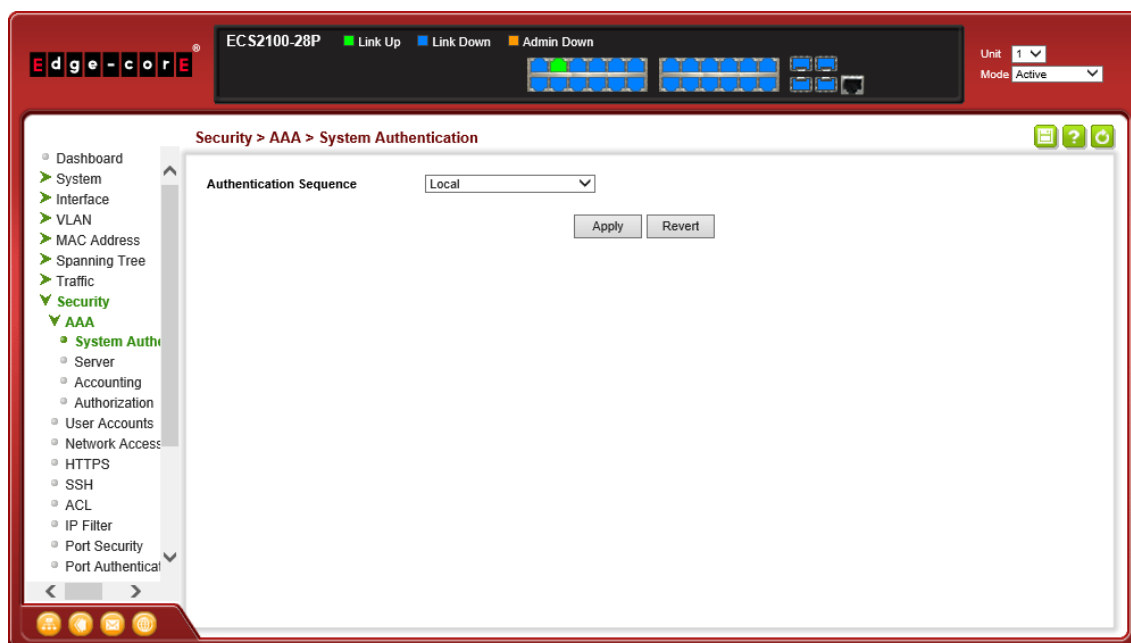
表示	説明
Mode	None、Auto、Manual から選択します。
Security	音声 VLAN ID でタグ付けされた、ポートで受信した非 VoIP パケットを破棄するセキュリティフィルタリングの有効/無効を選択します。
Discovery Protocol	VoIP トラフィックを検出するために使用する方法を選択します。
Priority	音声 VLAN のポートトラフィックのプライオリティを設定します。

6.8. Security

6.8.1. AAA

6.8.1.1. System Authentication

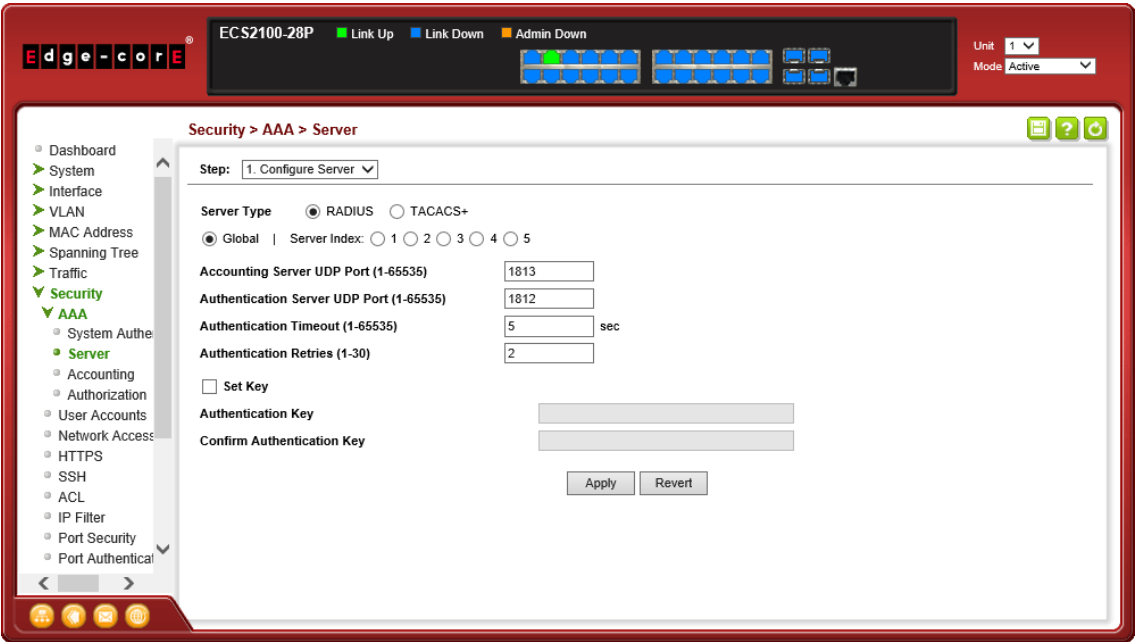
認証の設定を行います。



表示	説明
Authentication Sequence	<p>必要な認証又は認証シーケンスを選択します。</p> <p>Local : スイッチによってローカルでのみ実行されます。</p> <p>RADIUS : RADIUS サーバのみを使用して実行されます。</p> <p>TACACS : TACACS+サーバのみを使用して実行されます。</p>

6.8.1.2. Server

認証サーバの設定を行います。



● Step: 1. Configure Server

RADIUS

RADIUS サーバとの接続設定を行います。

Step: 1. Configure Server

Server Type ☒ RADIUS ☐ TACACS+

☒ Global | Server Index: ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5

Accounting Server UDP Port (1-65535)

Authentication Server UDP Port (1-65535)

Authentication Timeout (1-65535) sec

Authentication Retries (1-30)

☐ Set Key

Authentication Key

Confirm Authentication Key

表示	説明
Server Type	認証サーバ RADIUS を選択します。
Global	世界的に適用可能な RADIUS 設定を提供します。
Server Index	構成可能な 5 つの RADIUS サーバの 1 つを指定します。
Server IP Address	認証サーバの IP アドレスを入力します。
Accounting Server UDP Port	認証メッセージに使用される認証サーバ上のネットワークポート(UDP)を入力します。

Authentication Server UDP Port	認証メッセージに使用される認証サーバ上のネットワークポート(UDP)を入力します。
Authentication Timeout	スイッチが要求を再送信するまで、RADIUS サーバからの応答を待機する秒数を設定します。
Authentication Retries	スイッチが認証サーバ経由でログオンアクセスを認証しようとする回数を設定します。
Set Key	暗号化キーを設定または変更をする場合は、チェックを入れます。
Authentication Key	クライアントのログオンアクセスを認証するために使用される暗号化キー。
Confirm Authentication Key	Authentication Key で入力した文字列を再度入力します。

TACACS+

TACACS+サーバとの接続設定を行います。

Server Type <input type="radio"/> RADIUS <input checked="" type="radio"/> TACACS+	
<input checked="" type="radio"/> Global Server Index: <input type="radio"/> 1	
Authentication Server TCP Port (1-65535)	<input type="text" value="49"/>
Authentication Timeout (1-540)	<input type="text" value="5"/> sec
Authentication Retries (1-30)	<input type="text" value="2"/>
<input type="checkbox"/> Set Key	
Authentication Key	<input type="text"/>
Confirm Authentication Key	<input type="text"/>
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
Server Type	認証サーバ TACACS+を選択します。
Global	世界的に適用可能な TACACS+設定を提供します。
Server Index	構成するサーバのインデックス番号を指定します。
Server IP Address	認証サーバの IP アドレスを入力します。
Authentication Server TCP Port	認証メッセージで使用される TACACS+サーバのネットワークポート (TCP)を入力します。
Authentication Timeout	スイッチが要求を再送信するまで、TACACS+サーバからの応答を待機する秒数を設定します。
Authentication Retries	スイッチが認証サーバ経由でログオンアクセスを認証しようとする回数を設定します。
Set Key	暗号化キーを設定または変更をする場合は、チェックを入れます。
Authentication Key	クライアントのログオンアクセスを認証するために使用される暗号化キーを設定します。
Confirm Authentication Key	Authentication Key で入力した文字列を再度入力します。

- **Step: 2. Configure Group – Action: Add**

認証サーバのグループを作成します。

Step:	2. Configure Group ▼	Action:	Add ▼
Server Type <input checked="" type="radio"/> RADIUS <input type="radio"/> TACACS+			
RADIUS Group Name		<input type="text"/>	
Sequence At Priority 1	<input type="text" value="None"/>		
Sequence At Priority 2	<input type="text" value="None"/>		
Sequence At Priority 3	<input type="text" value="None"/>		
Sequence At Priority 4	<input type="text" value="None"/>		
Sequence At Priority 5	<input type="text" value="None"/>		
		Apply	Revert

表示	説明
Server Type	認証サーバを RADIUS または TACACS+から選択します。
Group Name	RADIUS または TACACS+サーバグループの名前を入力します。
Sequence At Priority	グループに使用するサーバとシーケンスを指定します。

- **Step: 2. Configure Group – Action: Show**

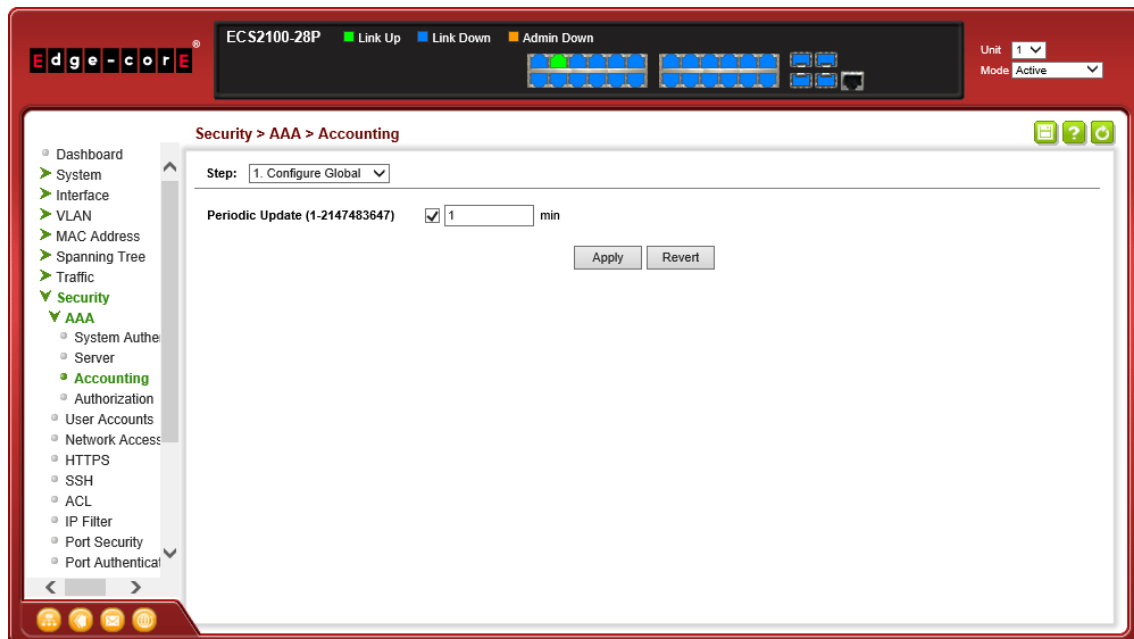
認証サーバのグループ設定を表示します。

Step:	2. Configure Group ▼	Action:	Show ▼
Server Type <input checked="" type="radio"/> RADIUS <input type="radio"/> TACACS+			
RADIUS Group List Total: 1			
<input type="checkbox"/>	Group Name	Member Index	
<input type="checkbox"/>	radius		
		Delete	Revert

表示	説明
Server Type	認証サーバを RADIUS または TACACS+から選択します。
Group List	RADIUS または TACACS+サーバのグループが表示されます。

6.8.1.3. Accounting

アカウントिंगの設定を行います。



- **Step: 1. Configure Global**

基本設定を行います。

Step: 1. Configure Global
Periodic Update (1-2147483647) <input checked="" type="checkbox"/> 1 min
Apply Revert

表示	説明
Periodic Update	システム上のすべてのユーザ情報をアカウントングサーバに更新する間隔を設定します。

- **Step: 2. Configure Method – Action: Show**

設定内容を表示します。

Step: 2. Configure Method Action: Show

Method List

Total: 18

1

2

	Accounting Type	Method Name	Accounting Notice	Server Group Name
<input type="checkbox"/>	802.1X	default	Start-Stop	radius
<input type="checkbox"/>	Command 0	default	Start-Stop	tacacs+
<input type="checkbox"/>	Command 1	default	Start-Stop	tacacs+
<input type="checkbox"/>	Command 2	default	Start-Stop	tacacs+
<input type="checkbox"/>	Command 3	default	Start-Stop	tacacs+

表示	説明
Method List	Accounting Type、Method Name などの設定内容を表示します。

- **Step: 2. Configure Method – Action: Add**

アカウンティングの方法を追加します。

Step:	2. Configure Method ▼	Action:	Add ▼
Accounting Type	802.1X ▼		
Method Name	<input type="text"/>		
Accounting Notice	Start-Stop ▼		
Server Group Name	<input checked="" type="radio"/> radius ▼ <input type="radio"/> <input type="text"/>		
		Apply	Revert

表示	説明
Accounting Type	アカウンティングタイプを選択します。 802.1X : エンドユーザのアカウンティング。 Command : 特定の CLI 特権レベルで入力されたコマンドに適用する管理アカウンティング。 Exec : ローカルコンソール、Telnet、SSH 接続の管理アカウンティング。
Privilege Level	CLI 特権レベルを設定します。 ※Command アカウンティングにのみ適用。
Method Name	サービス要求のアカウンティング方法を指定します。
Accounting Notice	ログインからログオフまでのユーザアクティビティを記録します。
Server Group Name	アカウンティングサーバグループを指定します。

- **Step: 3. Configure Service**

802.1X

Step:	3. Configure Service ▼
Accounting Type	<input checked="" type="radio"/> 802.1X <input type="radio"/> Command <input type="radio"/> EXEC
Port Method List	Total: 28 1 2 3
Port	Method Name
1	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>
3	<input type="text"/>

表示	説明
Method Name	インタフェースに適用するユーザ定義のアカウンティング方法を指定します。

Command

Step: 3. Configure Service ▼

Accounting Type ☐ 802.1X ☒ Command ☐ EXEC

Command Method List Total: 16 1 2

Privilege Level	Console Method Name	VTY Method Name
0	<input type="text"/>	<input type="text"/>
1	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>	<input type="text"/>

表示	説明
Console Method Name	コンソールインタフェースを介して、指定された CLI 特権レベルで入力されたコマンドに適用するユーザ定義のメソッド名を入力します。
VTY Method Name	telnet または SSH を介して指定された CLI 特権レベルで入力されたコマンドに適用するユーザ定義メソッド名を入力します。

EXEC

Step: 3. Configure Service ▼

Accounting Type ☐ 802.1X ☐ Command ☒ EXEC

Console Method Name

VTY Method Name

表示	説明
Console Method Name	コンソール接続に適用するユーザ定義のメソッド名を入力します。
VTY Method Name	Telnet と SSH 接続に適用するユーザ定義のメソッド名を入力します。

- **Step: 4. Show Information**

Summary

Step: 4. Show Information ▼

☒ Summary ☐ Statistics

Method List Total: 18 1 2

Accounting Type	Method Name	Server Group Name	Interface
802.1X	default	radius	
Command 0	default	tacacs+	
Command 1	default	tacacs+	
Command 2	default	tacacs+	

表示	説明
Method List	指定したサービスタイプに対して、設定されたアカウントリング方式と割り当てられたサーバグループの概要を表示します。

Statistics

Step: 4. Show Information ▼

☐ Summary ☒ Statistics

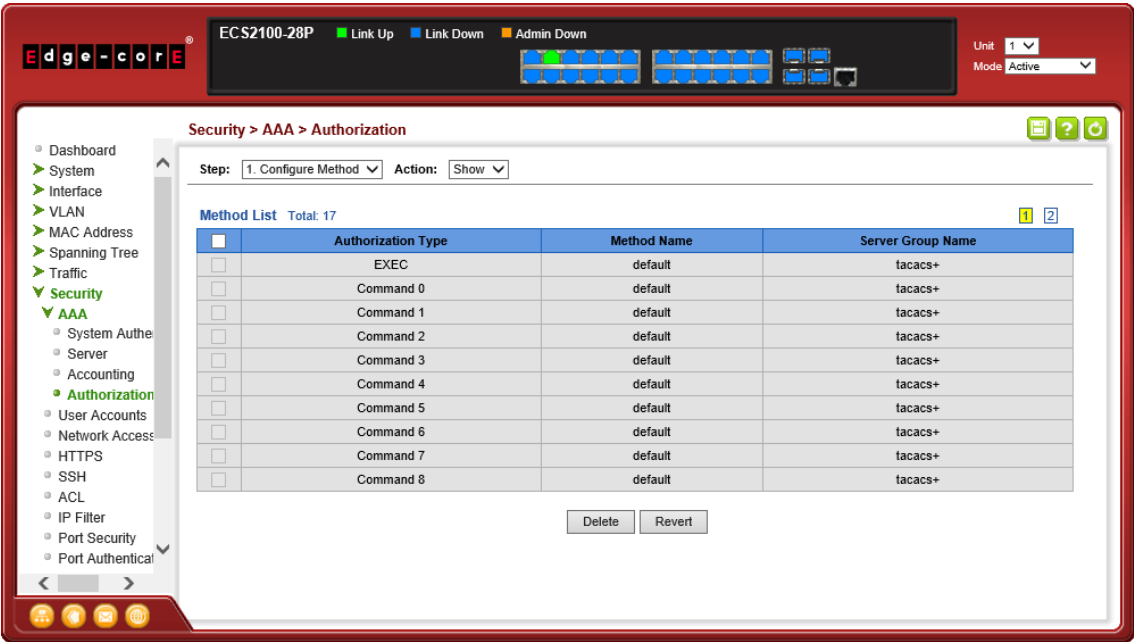
Accounting Statistics Total: 0

User Name	Accounting Type	Interface	Time Elapsed
-----------	-----------------	-----------	--------------

表示	説明
Accounting Statistics	ユーザセッション用に記録された基本アカウントリング情報と統計情報を表示します。

6.8.1.4. Authorization

認証のための設定を行います。



● Step: 1. Configure Method – Action: Add

認証方式リストの追加を行います。

Step:	1. Configure Method	Action:	Add
Authorization Type	EXEC		
Method Name			
Server Group Name	<input checked="" type="radio"/> radius <input type="radio"/>		
<div>Apply Revert</div>			

表示	説明
Authorization Type	Command : 特定の CLI 特権レベルで入力されたコマンドに適用する管理権限を設定します。 Exec : ローカルコンソール、Telnet、または SSH 接続の管理権限を設定します。
Method Name	サービス要求の認証方法を指定します。
Server Group Name	認証サーバグループを指定します。

- **Step: 1. Configure Method – Action: Show**

認証方法リストを表示します。

Step: 1. Configure Method Action: Show

Method List Total: 17 1 2

	Authorization Type	Method Name	Server Group Name
<input type="checkbox"/>	EXEC	default	tacacs+
<input type="checkbox"/>	Command 0	default	tacacs+
<input type="checkbox"/>	Command 1	default	tacacs+
<input type="checkbox"/>	Command 2	default	tacacs+

表示	説明
Method List	EXEC サービスタイプおよび割り当てられたサーバグループに適用される許可方法を表示します。

- **Step: 2. Configure Service**

EXEC

Step: 2. Configure Service

Authorization Type: EXEC

Console Method Name:

VTY Method Name:

Apply Revert

表示	説明
Console Method Name	コンソール接続に適用するユーザ定義のメソッド名を入力します。
VTY Method Name	Telnet および SSH 接続に適用するユーザ定義メソッド名を入力します。

Command

Step: 2. Configure Service

Authorization Type: Command

Command Method List Total: 16 1 2

Privilege Level	Console Method Name	VTY Method Name
0	<input type="text"/>	<input type="text"/>
1	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3	<input type="text"/>	<input type="text"/>

表示	説明
Console Method Name	ユーザ定義またはデフォルトのアカウントिंगを表示します。
VTY Method Name	認証サーバグループを表示します。

- **Step: 3. Show Information**

設定済みの認証方法リストと、Exec サービスタイプに割り当てられたサーバグループを表示します。

Step: 3. Show Information

Method List

Total: 17

1

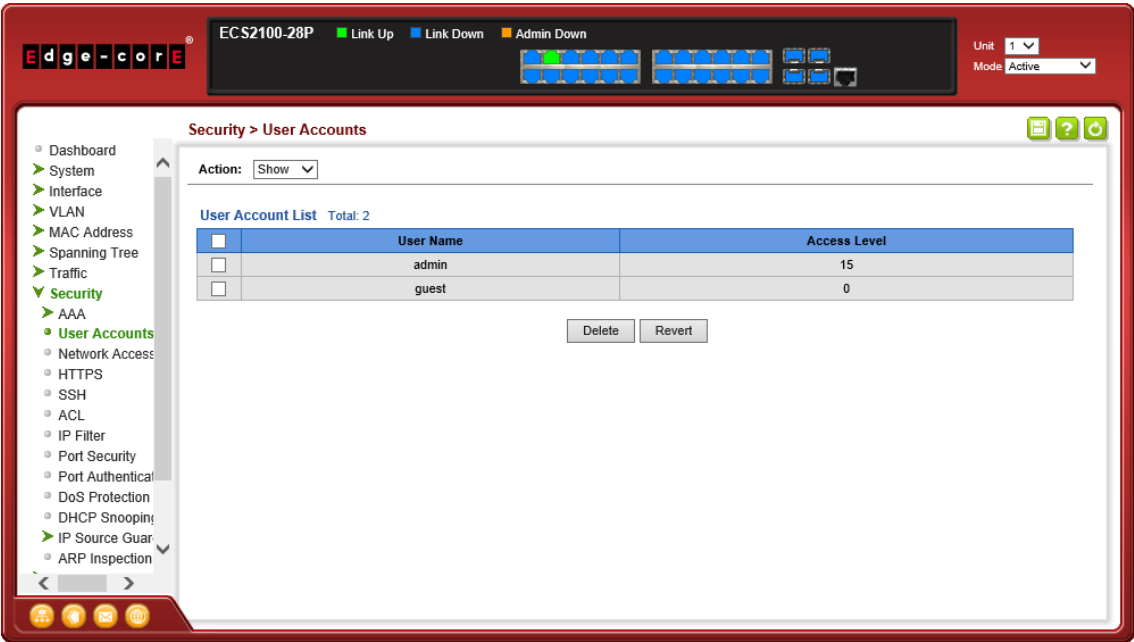
2

Authorization Type	Method Name	Server Group Name	Interface
EXEC	default	tacacs+	
Command 0	default	tacacs+	
Command 1	default	tacacs+	
Command 2	default	tacacs+	
Command 3	default	tacacs+	

表示	説明
Method List	設定済みの認証方法と、Exec サービスタイプに割り当てられたサーバグループを表示します。

6.8.2. User Accounts

ログインユーザの作成/管理等を行います。



● Action: Add

新規ユーザを作成します。

Action: Add

User Name

Access Level 0

Password Type Plain Password

Password

Confirm Password

Apply Revert

表示	説明
User Name	ユーザ名を入力します。
Access Level	アクセス権限を指定します。
Password Type	パスワードタイプ No(パスワードなし)、Plain(暗号化されていないパスワード)、Encrypted(暗号化されているパスワード)から選択します。
Password	ユーザのパスワードを指定します。
Confirm Password	Password で指定した文字列を再度入力します。

- Action: Show

作成したユーザのアカウント情報を表示します。

Action: Show ▼		
User Account List Total: 2		
<input type="checkbox"/>	User Name	Access Level
<input type="checkbox"/>	admin	15
<input type="checkbox"/>	guest	0
<div> <input type="button" value="Delete"/> <input type="button" value="Revert"/> </div>		

表示	説明
User Account List	ユーザのアカウント情報を表示します。

- Action: Modify

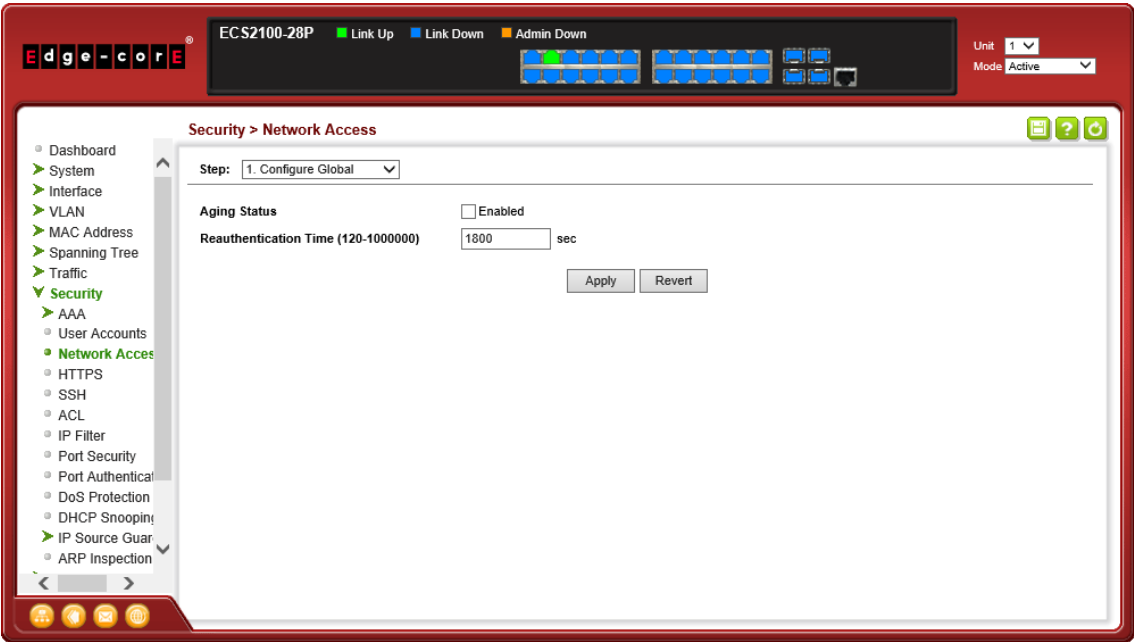
ユーザのアカウント情報の編集を行います。

Action: Modify ▼	
User Name	admin ▼
Access Level	15 ▼
Password Type	Plain Password ▼
Password	<input type="text"/>
Confirm Password	<input type="text"/>
<div> <input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/> </div>	

表示	説明
User Name	現在あるユーザ名の中から設定を変更するユーザ名を選択します。
Access Level	アクセス権限を指定します。
Password Type	パスワードタイプ No(パスワードなし)、Plain(暗号化されていないパスワード)、Encrypted(暗号化されているパスワード)から選択します。
Password	ユーザのパスワードを指定します。
Confirm Password	Password で指定した文字列を再度入力します。

6.8.3. Network Access

MAC アドレスフィルターの設定を行います。



● Step: 1. Configure Global

エージングタイムの設定を行います。

Step: 1. Configure Global

Aging Status

☐ Enabled

Reauthentication Time (120-1000000)

sec

Apply

Revert

表示	説明
Aging Status	セキュア MAC アドレステーブルに格納されている学習済み MAC アドレスのエージングの有効/無効を選択します。
Reauthentication Time	スイッチが学習した MAC アドレスをセキュア MAC アドレステーブルから削除するまでの時間を設定します。

- **Step: 2. Configure Interface**

ポート毎に設定を行います。

Step: 2. Configure Interface

Port List Total: 28 1 2 3

Port	MAC Authentication			Network Access Max MAC Count (1-2048)	Guest VLAN (0-4094, 0: Disabled)	Dynamic VLAN	Dynamic QoS	MAC Filter ID (1-64)
	Status	Intrusion	Max MAC Count (1-1024)					
1	<input type="checkbox"/> Enabled	Block ▼	1024	1024	0	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input type="checkbox"/> Enabled	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/> Enabled	Block ▼	1024	1024	0	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input type="checkbox"/> Enabled	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/> Enabled	Block ▼	1024	1024	0	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	<input type="checkbox"/> Enabled	<input type="checkbox"/>

表示	説明
Status	ポート上で MAC 認証の有効/無効を選択します。
Intrusion	MAC 認証を使用してポートへのアクセスをブロックしたり、トラフィックを通過させたりします。
Max MAC Count	MAC 認証を使用してポートで認証できる MAC アドレスの最大数を設定します。
Network Access Max MAC Count	すべての形式の認証を使用して、ポートインタフェース上で認証できる MAC アドレスの最大数を設定します。
Guest VLAN	802.X または MAC 認証に失敗した場合に、ポートに割り当てる VLAN を指定します。
Dynamic VLAN	認証ポートのダイナミック VLAN 割り当ての有効/無効を選択します。
Dynamic QoS	認証されたポートの動的 QoS 割り当ての有効/無効を選択します。
MAC Filter ID	ポートに MAC フィルタを割り当てることを許可します。

- **Step: 3. Configure MAC Filter – Action: Add**

MAC アドレスフィルタの設定を行います。

Step: 3. Configure MAC Filter Action: Add

Filter ID (1-64)

MAC Address (xx-xx-xx-xx-xx-xx or xxxxxxxxxxxxxx)

MAC Address Mask (xx-xx-xx-xx-xx-xx or xxxxxxxxxxxxxx)

表示	説明
Filter ID	指定されたフィルタのフィルタルールを追加します。
MAC Address	フィルタルールは、入力パケットを入力された MAC アドレスまたは範囲と比較してチェックします。
MAC Address Mask	フィルタルールは、MAC ビットマスクによって定義された MAC アドレスの範囲をチェックします。

- **Step: 3. Configure MAC Filter – Action: Show**

MAC アドレスフィルタテーブルを表示します。

Step: 3. Configure MAC Filter ▼	Action: Show ▼	
MAC Filter List Total: 0		
Filter ID	MAC Address	MAC Address Mask

表示	説明
MAC Filter List	MAC アドレスフィルタテーブルを表示します。

- **Step: 4. Show Information**

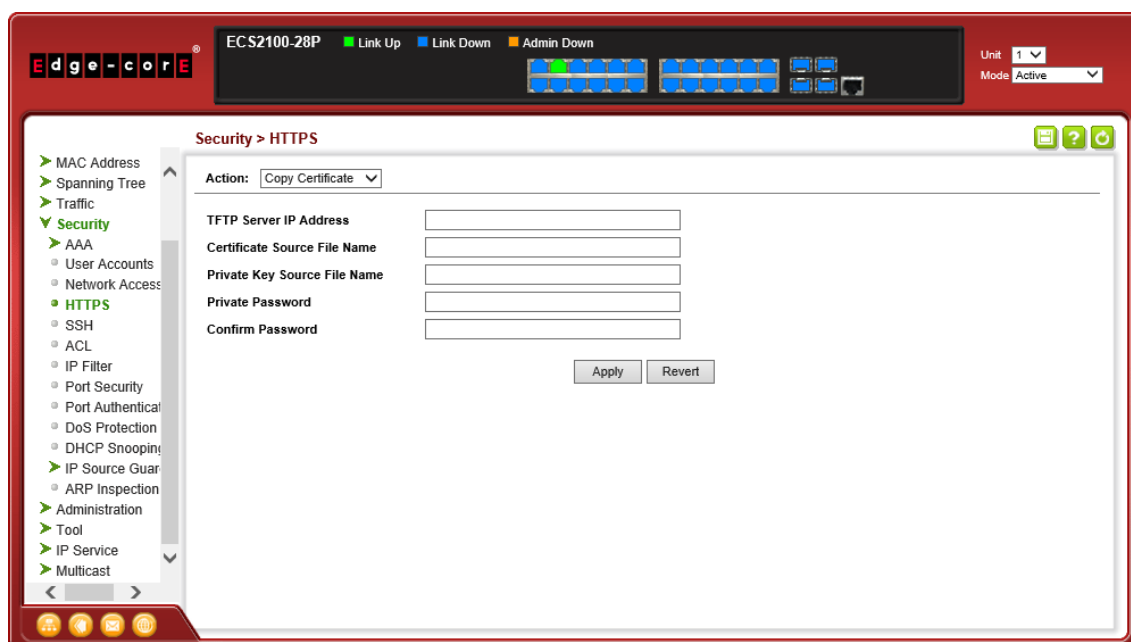
認証済み MAC アドレステーブルを表示します。

Step: 4. Show Information ▼				
<p>Query by:</p> <p>Sort Key: MAC Address ▼</p> <p> <input type="checkbox"/> MAC Address <input type="text" value=""/> (xx-xx-xx-xx-xx-xx or xxxxxxxxxxxx) </p> <p> <input type="checkbox"/> Interface <input type="text" value="1"/> </p> <p> <input type="checkbox"/> Attribute <input type="text" value="Static"/> </p> <p>Query</p>				
Authenticated MAC Address List Total: 0				
MAC Address	Interface	RADIUS Server	Time	Attribute

表示	説明
Sort Key	MAC Address、Interface、Attribute の表示する情報を並べ替えます。
MAC Address	特定の MAC アドレスを指定します。
Interface	インタフェースを指定します。
Attribute	静的または動的アドレスを表示します。
Authentication MAC Address List	MAC アドレスの認証リストを表示します。

6.8.4. HTTPS

HTTPS の設定を行います。



- **Action: Configure Global**

HTTPS サーバ機能の設定を行います。

Action: Configure Global	
HTTPS Status	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled
HTTPS Port (1-65535)	<input type="text" value="443"/>
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
HTTPS Status	スイッチ上で HTTPS サーバ機能を有効/無効を選択します。
HTTPS Port	HTTPS 接続に使用される TCP ポート番号を指定します。

- **Action: Copy Certificate**

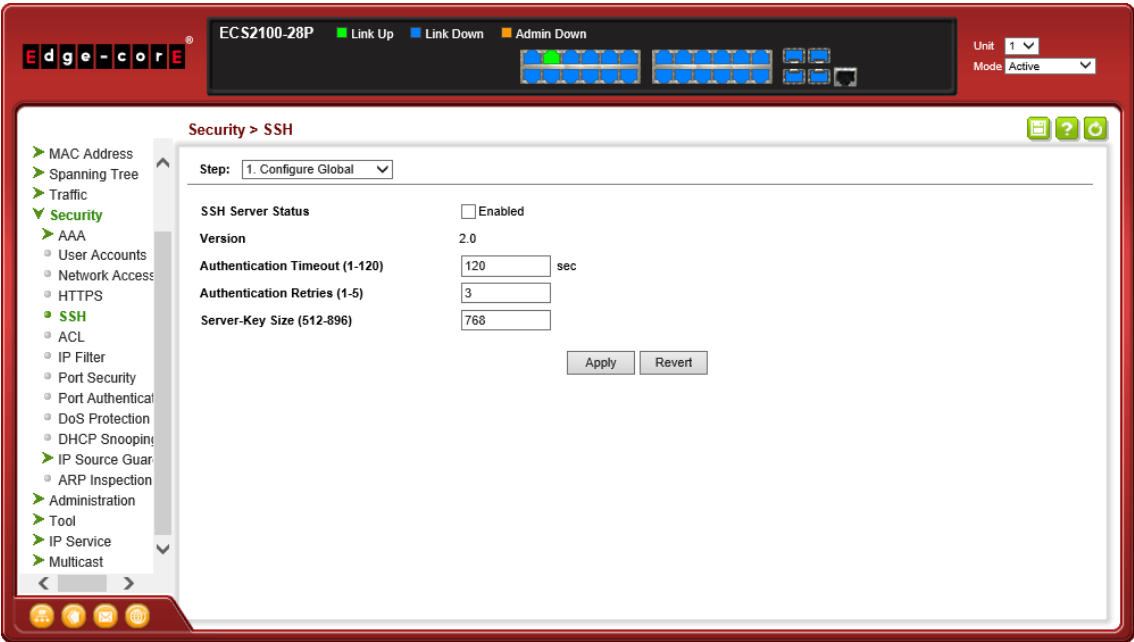
証明書ファイルのコピーを行います。

Action: Copy Certificate ▼	
TFTP Server IP Address	<input type="text"/>
Certificate Source File Name	<input type="text"/>
Private Key Source File Name	<input type="text"/>
Private Password	<input type="text"/>
Confirm Password	<input type="text"/>
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
TFTP Server IP Address	証明書ファイルを含む TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
Certificate Source File Name	TFTP サーバに保存されている証明書ファイルの名前を入力します。
Private Key Source File Name	TFTP サーバに保存されている秘密鍵ファイルの名前を入力します。
Private Password	秘密鍵ファイルの保存されているパスワードを入力します。 このパスワードは、証明書を使用する際に認証を確認するために使用され、証明書をスイッチにダウンロードします。
Confirm Password	Private Password で入力した文字列を再度入力します。 パスワードが一致しない場合、スイッチは証明書をダウンロードしません。

6.8.5. SSH

SSH の設定を行います。



● Step: 1. Configure Global

基本設定を行います。

Step: 1. Configure Global

SSH Server Status

☐ Enabled

Version

2.0

Authentication Timeout (1-120)

sec

Authentication Retries (1-5)

Server-Key Size (512-896)

Apply

Revert

表示	説明
SSH Server Status	スイッチ上で SSH サーバを有効/無効にするか選択します。
Version	Secure Shell のバージョン番号を表示します。
Authentication Timeout	SSH サーバが認証試行中にクライアントからの応答を待つ時間間隔を指定します。
Authentication Retries	認証に失敗してクライアントが認証プロセスを再開するまでに、クライアントが許可される認証試行回数を指定します。
Server-Key Size	SSH サーバのカギのサイズを指定します。

- **Step: 2. Configure Host Key - Action: Generate**

鍵タイプを設定します。

Step: 2. Configure Host Key ▼	Action: Generate ▼
Host-Key Type Both ▼	
<div>Apply</div> <div>Revert</div>	

表示	説明
Host-Key Type	ホスト鍵ペアを生成するために使用される鍵タイプを選択します

- **Step: 2. Configure Host Key - Action: Show**

SSH サーバの公開鍵を表示します。

Step: 2. Configure Host Key ▼	Action: Show ▼
Public-Key of Host-Key	
<input type="checkbox"/> RSA	<div></div>
<input type="checkbox"/> DSA	<div></div>
<div>Clear</div>	
<div>Save</div> Click this button to Save All Host-Key from Memory to Flash.	

表示	説明
Public-Key of Host-Key	SSH サーバの公開鍵を表示します。

- **Step: 3. Configure User Key – Action: Copy**

公開鍵のアップロードを行います。

Step: 3. Configure User Key ▼		Action: Copy ▼	
User Name	admin ▼		
User-Key Type	RSA ▼		
TFTP Server IP Address	<input type="text"/>		
Source File Name	<input type="text"/>		
		Apply	Revert

表示	説明
User Name	管理する公開鍵のユーザ名を選択します。
User-Key Type	アップロードする公開鍵のタイプを選択します。 RSA : RSA バージョン 1 の暗号化された公開鍵を受け入れます。 DSA : DSA バージョン 2 の環濠化された公開鍵を受け入れます。
TFTP Server IP Address	公開鍵ファイルを含む TFTP サーバの IP アドレスを指定します。
Source File Name	アップロードする公開鍵ファイルの名前を指定します。

- **Step: 3. Configure User Key – Action: Show**

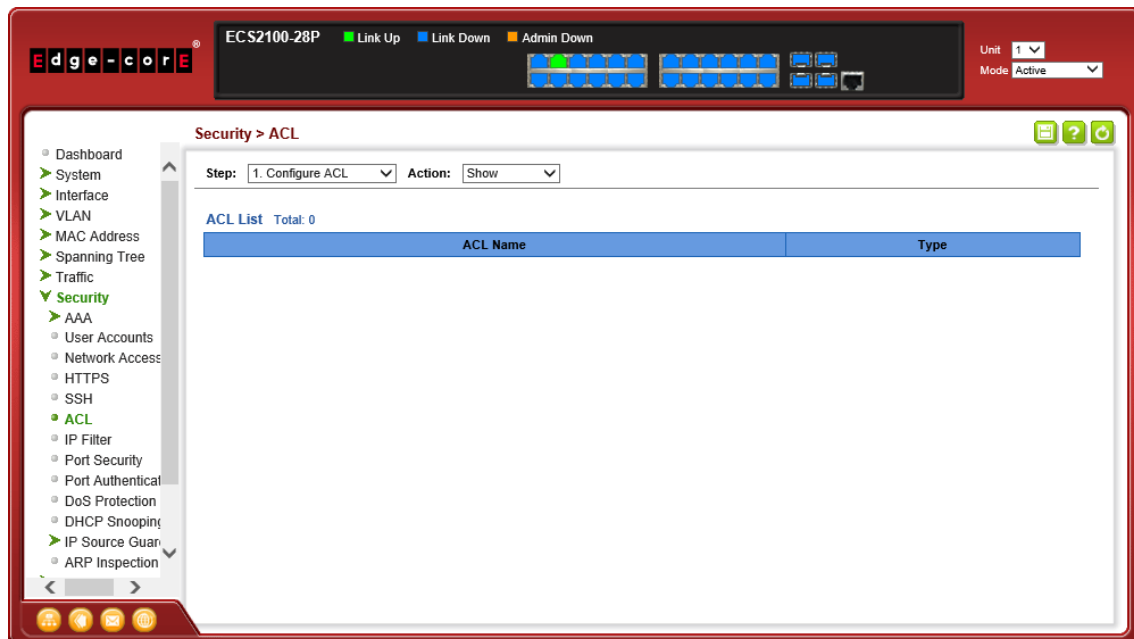
SSH ユーザの公開鍵を表示します。

Step: 3. Configure User Key ▼		Action: Show ▼	
User Name	admin ▼		
Public-Key of User-Key			
<input type="checkbox"/> RSA	<div><div></div></div>		
<input type="checkbox"/> DSA	<div><div></div></div>		
		Clear	

表示	説明
User Name	管理する公開鍵のユーザ名を選択します。
Public-Key of User-Key	SSH ユーザの公開鍵を表示します。

6.8.6. ACL

ACL の設定を行います。



- **Step: 1. Configure ACL – Action: Show TCAM**

TCAM パラメータを表示します。

Step:

1. Configure ACL

Action:

Show TCAM

Pool Capability Code:

AM - MAC ACL, A4 - IPv4 ACL, A6S - IPv6 Standard ACL,

A6E - IPv6 extended ACL, DM - MAC diffServ, D4 - IPv4 diffServ,

D6S - IPv6 standard diffServ, D6E - IPv6 extended diffServ,

I - IP source guard, C - CPU interface, L - Link local,

MV - Mac based VLAN, PV - Protocol based VLAN, VV - Voice VLAN,

Reserved - Reserved, ALL - All supported function,

TCAM List

Total: 12

Unit	Device	Pool	Total	Used	Free	Capability
1	0	0	128	128	0	Reserved
1	0	1	64	0	64	A6S A6E
1	0	2	128	0	128	A4
1	0	3	128	0	128	AM
1	0	4	64	0	64	D6S D6E
1	0	5	128	0	128	D4

表示	説明
Pool Capability Code	TCAM リストに示されているプロセスの略語(Capability)を表示しています。
TCAM List	TCAM のパラメータが表示されます。

- **Step: 1. Configure ACL – Action: Add**

ACL の追加を行います。

Step:	1. Configure ACL ▼	Action:	Add ▼
ACL Name	<input type="text"/>		
Type	IP Standard ▼		
		Apply	Revert

表示	説明
ACL Name	ACL の名前を入力します。
Type	ACL のタイプ (IP Standard、IP Extended、IPv6 Standard、IPv6 Extended、MAC、ARP) を選択します。

- **Step: 1. Configure ACL – Action: Show**

設定した ACL を表示します。

Step:	1. Configure ACL ▼	Action:	Show ▼
ACL List Total: 0			
ACL Name		Type	

表示	説明
ACL List	Add で設定した ACL Name と Type を表示します。

- **Step: 1. Configure ACL – Action: Add Rule**

IP Standard

Type	<input checked="" type="radio"/> IP Standard <input type="radio"/> IP Extended <input type="radio"/> MAC <input type="radio"/> IPv6 Standard <input type="radio"/> IPv6 Extended <input type="radio"/> ARP					
Name	▼					
Action	Permit ▼					
Address Type	Any ▼					
Source IP Address	<input type="text" value="0.0.0.0"/>					
Source Subnet Mask	<input type="text" value="0.0.0.0"/>					
<input type="checkbox"/> Time-Range	▼					
		Apply	Revert			

表示	説明
Name	選択したタイプに一致する ACL の名前を表示します。
Action	許可または拒否のルールを任意で組み合わせることができます。
Address Type	送信元 IP アドレスタイプを指定します。 すべての可能なアドレスを含めるには“Any”、Address フィールドには特定のホストアドレスを指定する“Host”、Address および Subnet Mask フィールドにはアドレスの範囲を指定するには“IP”を使用します。

Source IP Address	送信元 IP アドレスを入力します。
Source Subnet Mask	送信先アドレスのサブネットマスクを入力します。
Time-Range	時間範囲の名前を選択します。

IP Extended

Type	<input type="radio"/> IP Standard <input checked="" type="radio"/> IP Extended <input type="radio"/> MAC <input type="radio"/> IPv6 Standard <input type="radio"/> IPv6 Extended <input type="radio"/> ARP			
Name	▼			
Action	Permit ▼			
Source Address Type	Any ▼	Destination Address Type	Any ▼	
Source IP Address	0.0.0.0	Destination IP Address	0.0.0.0	
Source Subnet Mask	0.0.0.0	Destination Subnet Mask	0.0.0.0	
Source Port (0-65535)		Destination Port (0-65535)		
Source Port Bit Mask (0-65535)		Destination Port Bit Mask (0-65535)		
Protocol	<input type="radio"/> TCP (6) <input checked="" type="radio"/> UDP (17) <input checked="" type="radio"/> Others			
Control Code (0-63)		Service Type	<input checked="" type="radio"/> Precedence (0-7) <input type="radio"/> DSCP (0-63)	
Control Code Bit Mask (0-63)				
<input type="checkbox"/> Time-Range ▼				

表示	説明
Name	選択したタイプに一致する ACL の名前を表示します。
Action	許可または拒否のルールを任意で組み合わせることができます。
Source/Destination Address Type	送信元または宛先 IP アドレスタイプを指定します。 すべての可能なアドレスを含めるには“Any”、Address フィールドには特定のホストアドレスを指定する“Host”、Address および Subnet Mask フィールドにはアドレスの範囲を指定するには“IP”を使用します。
Source/Destination IP Address	送信元または宛先 IP アドレスを入力します。
Source/Destination Subnet Mask	送信先または宛先アドレスのサブネットマスクを入力します。
Source/Destination Port	指定したプロトコルタイプの送信先または宛先ポート番号を入力します。
Source/Destination Port Bit Mask	一致させるポートビットを表す 10 進数を入力します。
Protocol	TCP、UDP 又はその他と一致するプロトコルタイプを指定します。
Service Type	パケット優先度を Precedence、DSCP から設定します。
Time-Range	時間範囲の名前を選択します。

MAC

Type	<input type="radio"/> IP Standard <input type="radio"/> IP Extended <input checked="" type="radio"/> MAC <input type="radio"/> IPv6 Standard <input type="radio"/> IPv6 Extended <input type="radio"/> ARP					
Name	<input type="text"/>					
Action	<input type="text" value="Permit"/>					
Source Address Type	<input type="text" value="Any"/>		Destination Address Type		<input type="text" value="Any"/>	
Source MAC Address	<input type="text" value="00-00-00-00-00-00"/>		Destination MAC Address		<input type="text" value="00-00-00-00-00-00"/>	
Source Bit Mask	<input type="text" value="00-00-00-00-00-00"/>		Destination Bit Mask		<input type="text" value="00-00-00-00-00-00"/>	
Packet Format	<input type="text" value="Any"/>					
VID (1-4094)	<input type="text"/>		Ethernet Type		<input type="text"/>	
			(0000-FFFF, hexadecimal value)			
VID Bit Mask (0-4095)	<input type="text"/>		Ethernet Type Bit Mask		<input type="text"/>	
			(0000-FFFF, hexadecimal value)			
CoS (0-7)	<input type="text"/>					
CoS Bit Mask (0-7)	<input type="text"/>					
Time-Range	<input type="text"/>					

表示	説明
Name	選択したタイプに一致する ACL の名前を表示します。
Action	許可または拒否のルールを任意で組み合わせることができます。
Source/Destination Address Type	送信元または宛先 MAC アドレスタイプを指定します。 すべての可能なアドレスを含めるには“Any”、特定の MAC アドレスを示す“Host”、アドレスおよびビットマスクフィールドでアドレス範囲を指定する“MAC”を使用します。
Source/Destination MAC Address	送信元または宛先 MAC アドレスを入力します。
Source/Destination Bit Mask	送信元または宛先 MAC アドレスを表す 16 進数のマスクを入力します。
Packet Format	パケットフォーマットを選択します。
VID	VLAN ID を入力します。
VID Bit Mask	VLAN のビットマスクを入力します。
CoS	CoS 値を入力します。
CoS Bit Mask	CoS のビットマスクを入力します。
Time-Range	時間範囲の名前を選択します。
Ethernet Type	このオプションは、イーサネット II でフォーマットされたパケットをフィルタリングする場合にのみ使用できます。
Ethernet Type Bit Mask	プロトコルビットマスクを入力します。

IPv6 Standard

Type	<input type="radio"/> IP Standard <input type="radio"/> IP Extended <input type="radio"/> MAC <input checked="" type="radio"/> IPv6 Standard <input type="radio"/> IPv6 Extended <input type="radio"/> ARP
Name	<input type="text"/>
Action	<input type="text" value="Permit"/>
Source Address Type	<input type="text" value="Any"/>
Source IPv6 Address	<input type="text" value="::"/>
Source Prefix Length (0-128)	<input type="text" value="0"/>
<input type="checkbox"/> Time-Range	<input type="text"/>
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
Name	選択したタイプに一致する ACL の名前を表示します。
Action	許可または拒否のルールを任意で組み合わせることができます。
Source Address Type	送信元 IP アドレスタイプを指定します。 すべての可能なアドレスを含めるには“Any”、Address フィールドには特定のホストアドレスを指定する“Host”、アドレスの範囲を指定するには“IPv6-Prefix”を使用します。
Source IPv6 Address	IPv6 送信元アドレスまたはネットワーククラスを入力します。
Source Prefix Length	アドレスの左から何番目の連続ビットがプレフィックス(アドレスのネットワーク部分)を構成するかを示す 10 進数を設定します。
Time-Range	時間範囲の名前を選択します。

IPv6 Extended

Type	<input type="radio"/> IP Standard <input type="radio"/> IP Extended <input type="radio"/> MAC <input type="radio"/> IPv6 Standard <input checked="" type="radio"/> IPv6 Extended <input type="radio"/> ARP
Name	<input type="text"/>
Action	<input type="text" value="Permit"/>
Source Address Type	<input type="text" value="Any"/>
Source IPv6 Address	<input type="text" value="::"/>
Source Prefix Length (0-128)	<input type="text" value="0"/>
Destination Address Type	<input type="text" value="Any"/>
Destination IPv6 Address	<input type="text" value="::"/>
Destination Prefix Length (0-128)	<input type="text" value="0"/>
DSCP (0-63)	<input type="text"/>
Next-Header (0-255)	<input type="text"/>
Source Port (0-65535)	<input type="text"/>
Source Port Bit Mask (0-65535)	<input type="text"/>
Destination Port (0-65535)	<input type="text"/>

表示	説明
Name	選択したタイプに一致する ACL の名前を表示します。
Action	許可または拒否のルールを任意で組み合わせることができます。
Source/Destination Address Type	送信元 IP アドレスタイプを指定します。 すべての可能なアドレスを含めるには“Any”、Address フィールドには特定のホストアドレスを指定する“Host”、アドレスの範囲を指定するには“IPv6-Prefix”を使用します。
Source/Destination IPv6 Address	IPv6 アドレスまたはネットワーククラスを入力します。
Source/Destination Prefix Length	アドレスの左から何番目の連続ビットがプレフィックス(アドレスのネットワーク部分)を構成するかを示す 10 進数を設定します。
DSCP	DSCP トラフィッククラスを入力します。
Next-Header	IPv6 ヘッダーの直後のヘッダーの種類を識別します。
Source Port	プロトコル送信元ポート番号を入力します。
Destination Port	プロトコル宛先ポート番号を入力します。
Source/Destination Port Bit Mask	一致させるポートビットを表す 10 進数を入力します。
Time-Range	時間範囲の名前を選択します。

ARP

Type	<input type="radio"/> IP Standard <input type="radio"/> IP Extended <input type="radio"/> MAC <input type="radio"/> IPv6 Standard <input type="radio"/> IPv6 Extended <input checked="" type="radio"/> ARP				
Name	<input type="text"/>				
Action	<input type="text" value="Permit"/>		Packet Type	<input type="text" value="IP"/>	
Source IP Address Type	<input type="text" value="Any"/>		Destination IP Address Type	<input type="text" value="Any"/>	
Source IP Address	<input type="text" value="0.0.0.0"/>		Destination IP Address	<input type="text" value="0.0.0.0"/>	
Source IP Subnet Mask	<input type="text" value="0.0.0.0"/>		Destination IP Subnet Mask	<input type="text" value="0.0.0.0"/>	
Source MAC Address Type	<input type="text" value="Any"/>		Destination MAC Address Type	<input type="text" value="Any"/>	
Source MAC Address	<input type="text" value="00-00-00-00-00-00"/>		Destination MAC Address	<input type="text" value="00-00-00-00-00-00"/>	
Source MAC Bit Mask	<input type="text" value="00-00-00-00-00-00"/>		Destination MAC Bit Mask	<input type="text" value="00-00-00-00-00-00"/>	
<input type="checkbox"/> Log					
<div>Apply Revert</div>					

表示	説明
Name	選択したタイプに一致する ACL の名前を表示します。
Action	許可または拒否のルールを任意で組み合わせることができます。
Packet Type	ARP 要求、ARP 応答、IP のいずれかのタイプを選択します。
Source/Destination IP Address Type	送信元または宛先 IPv4 アドレスタイプを指定します。 すべての可能なアドレスを含めるには“Any”、Address フィールドには特定のホストアドレスを指定する“Host”、Address および Subnet Mask フィールドにはアドレスの範囲を指定する“IP”を使用します。
Source/Destination IP Address	送信元または宛先 IP アドレスを入力します。
Source/Destination IP Subnet Mask	送信元または宛先アドレスのサブネットマスクを入力します。
Source/Destination MAC Address Type	送信元または宛先 MAC アドレスタイプを指定します。 すべての可能なアドレスを含めるには“Any”、特定の MAC アドレスを示す“Host”、アドレスおよびビットマスクフィールドでアドレス範囲を指定する“MAC”を使用します。
Source/Destination MAC Address	送信元または宛先 MAC アドレスを入力します。
Source/Destination MAC Bit Mask	送信元または宛先 MAC アドレスを表す 16 進数のマスクを入力します。
Log	パケットがアクセス制御エントリと一致した時にパケットを記録します。

- **Step: 1. Configure ACL – Action: Show Rule**

ACL のルールを表示します。

Step: 1. Configure ACL	Action: Show Rule
Type	<input checked="" type="radio"/> IP Standard <input type="radio"/> IP Extended <input type="radio"/> MAC <input type="radio"/> IPv6 Standard <input type="radio"/> IPv6 Extended <input type="radio"/> ARP
Name	<input type="text"/>
No ACL exists	

表示	説明
Type	Name リストに表示する ACL のタイプを選択します。
Name	選択したタイプに一致する ACL の名前を表示します。

- **Step: 2. Configure Interface – Action: Configure**

ポート毎に ACL の設定を行います。

Step: 2. Configure Interface	Action: Configure
Type	<input checked="" type="radio"/> IP <input type="radio"/> MAC <input type="radio"/> IPv6
Port	<input type="text"/> 1
Ingress	
ACL	<input type="text"/>
Time-Range	<input type="text"/>
Counter	<input type="text"/>
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
Type	ポートにバインドする ACL のタイプを選択します。
Port	ポート番号を選択します。
ACL	入力パケットに使用される ACL を指定します。
Time-Range	時間範囲の名前を選択します。
Counter	ACL 統計情報のカウンタの有効/無効を選択します。

- **Step: 2. Configure Interface – Action: Show Hardware Counter**

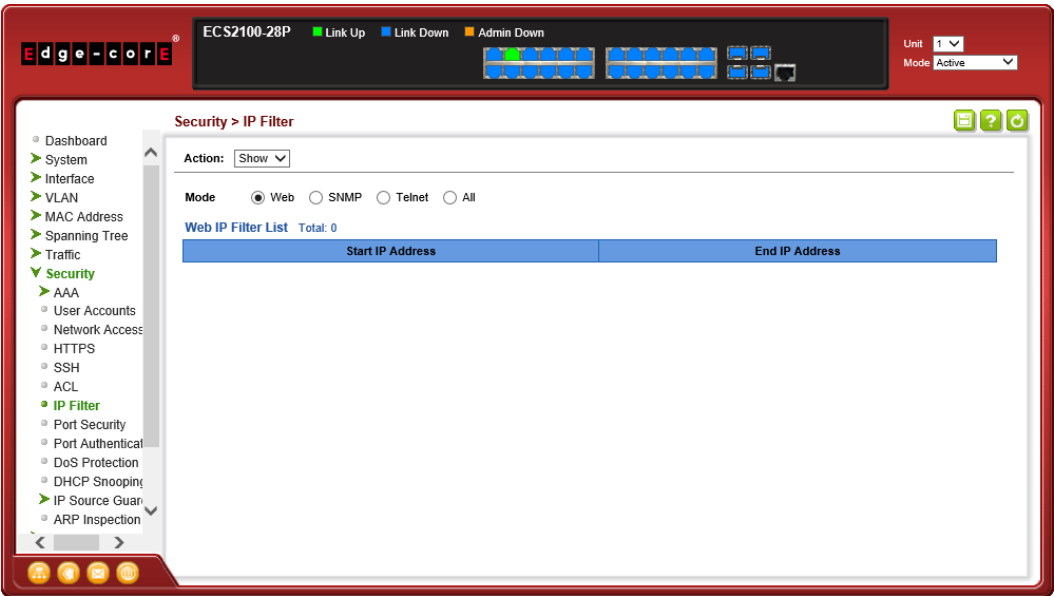
ポート毎に統計情報を表示します。

Step: 2. Configure Interface	Action: Show Hardware Counter
Port	<input type="text"/> 1
Type	<input type="text"/> IP Standard
Direction	<input type="text"/> Ingress
<input type="button" value="Query"/>	

表示	説明
Port	ポート番号を選択します。
Type	ACL タイプを選択します。
Direction	入カトラフィックまたは出カトラフィックの統計情報を表示します。

6.8.7. IP Filter

IP フィルタの設定を行います。



● Action: Add

IP フィルタを作成します。

Action:	Add
Mode	<input checked="" type="radio"/> Web <input type="radio"/> SNMP <input type="radio"/> Telnet <input type="radio"/> All
Start IP Address	<input type="text"/>
End IP Address	<input type="text"/>
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
Mode	Web、SNMP、Telnet、All からフィルタリングモードを選択します。
Start IP Address	単一の IP アドレスまたは範囲の開始アドレスを入力します。
End IP Address	範囲の終了アドレスを入力します。

● Action: Show

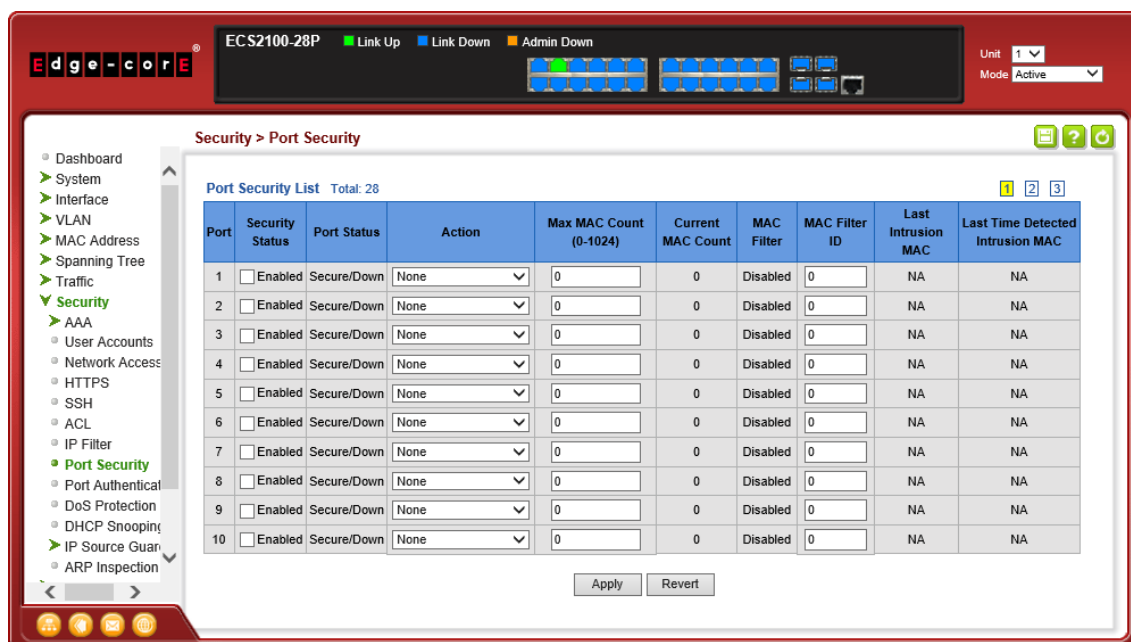
作成したフィルタリングリストを表示します。

Action:	Show		
Mode	<input checked="" type="radio"/> Web <input type="radio"/> SNMP <input type="radio"/> Telnet <input type="radio"/> All		
Web IP Filter List Total: 0			
<table><thead><tr><th>Start IP Address</th><th>End IP Address</th></tr></thead><tbody></tbody></table>		Start IP Address	End IP Address
Start IP Address	End IP Address		

表示	説明
Mode	Web、SNMP、Telnet、All からフィルタリングモードを選択します。
IP Filter List	Mode で選択したモードのフィルタリングリストを表示します。

6.8.8. Port Security

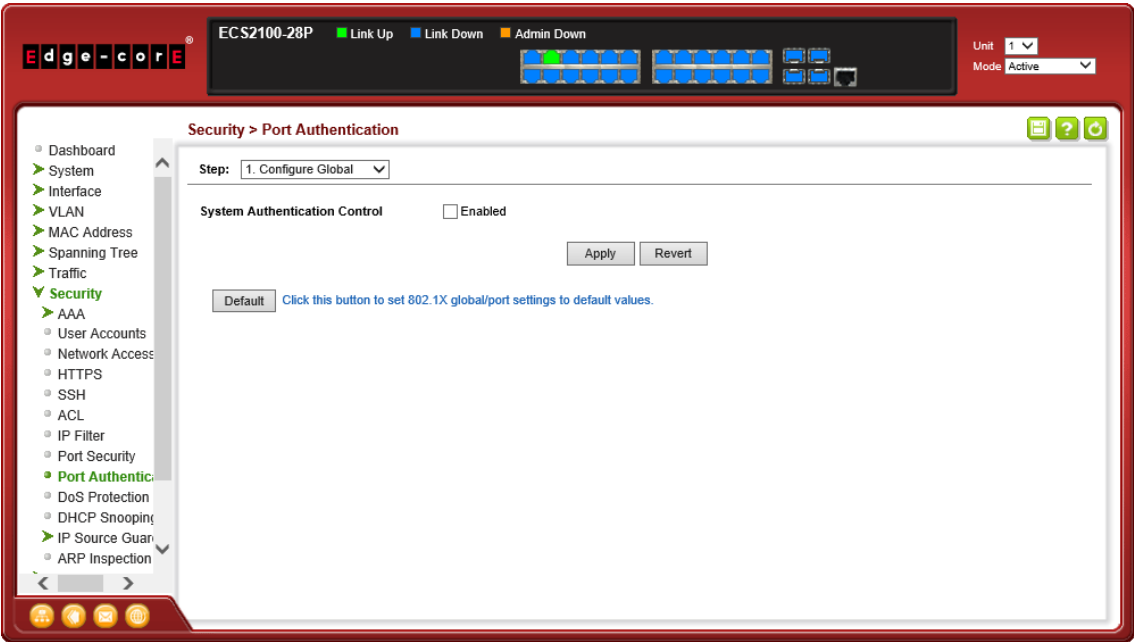
ポートセキュリティの設定を行います。



表示	説明
Security Status	ポートセキュリティの有効/無効を選択します。
Action	ポートセキュリティ違反が検出された場合、実行されます。 None : 何もしません。 Trap : SNMPトラップメッセージを送信します。 Shutdown : ポートをシャットダウンし、無効にします。 Trap and Shutdown : SNMPトラップを送信し、ポートを無効にします。
Max MAC Count	ポートが記憶できる MAC アドレスの最大数を設定します。
MAC Filter ID	マックアドレスフィルタの識別子を指定します。

6.8.9. Port Authentication

ポート認証の設定を行います。



● Step: 1. Configure Global

基本設定を行います。

Step: 1. Configure Global	
System Authentication Control	<input type="checkbox"/> Enabled
<div>Apply Revert</div>	
Default	Click this button to set 802.1X global/port settings to default values.

表示	説明
System Authentication Control	802.1X のグローバル設定を行います。

● **Step: 2. Configure Interface**

ポート毎に認証の設定を行います。

Step: 2. Configure Interface ▼	
Port	1 ▼
Status	Disabled
Authorized	N/A
Control Mode	Force-Authorized ▼
Operation Mode	Single-Host ▼
Max Count (1-1024)	5
Max Request (1-10)	2
Quiet Period (1-65535)	60 sec
Tx Period (1-65535)	30 sec
Supplicant Timeout (1-65535)	30 sec
Server Timeout	0 sec
Re-authentication Status	<input type="checkbox"/> Enabled
Re-authentication Period (1-65535)	3600 sec
Re-authentication Max Retries (1-10)	2
Intrusion Action	Block Traffic ▼

表示	説明
Port	ポート番号を指定します。
Status	ポートで認証が有効か無効かを示します。 制御モードが“Force-Authorized”に設定されていると、無効になります。
Authorized	接続されているクライアントの 802.1X 認証ステータスを表示します。 Yes : 接続されたクライアントが認証されています。 N/A : クライアントが認証されていないか、ポートが接続されていません。
Control Mode	認証モードを設定します。 Auto : dot1x 対応のクライアントに認証サーバの許可を要求します。 dot1x 対応でないクライアントはアクセスが拒否されます。 Force-Authorized : ポートが dot1x 対応またはそれ以外のすべてのクライアントへのアクセスを許可します。 Force-Unauthorized : ポートが dot1x 対応かそれ以外のすべてのクライアントへのアクセスを拒否するように強制します。
Operation Mode	単一または複数のホスト(クライアント)が 802.1X 許可ポートに接続できるように動作モードの設定をします。 Single-Host : 単一ホストのみこのポートに接続できるようにします。 Multi-Host : 複数のホストがこのポートに接続できるようにします。 MAC-Based : 複数のホストがこのポートに接続できるようにします。 各ホストはそれぞれ認証が必要となります。

Max Count	Operation Mode で“Multi-Host”を選択されている時、ポートに接続できるホストの最大数を設定します。
Max Request	認証セッションがタイムアウトするまで、スイッチポートが EAP パケットをクライアントに再送信する最大回数を 設定します。
Quiet Period	Max Count/Request が超過し、ポートが待機する時間を設定します。
Tx Period	EAP パケットを再送信する前にスイッチが待機する時間を設定します。
Supplicant Timeout	EAP パケットを再送信する前に、スイッチポートがクライアントからの EAP 要求への応答を待つ時間を設定します。
Server Timeout	EAP パケットを再送信する前に、認証サーバからの EAP 要求への応答を待つ時間を設定します。
Re-authentication Status	指定された間隔でクライアントを再認証するよう設定します。 再認証により、新しいデバイスが接続されているのか検出できます。
Re-authentication Period	接続されたクライアントを再認証する期間を設定する必要があります。
Re-authentication Max Retries	認証セッションをタイムアウトする前に、スイッチポートが EAP 要求/アイデンティティパケットをクライアントに再送信する最大回数を設定します。
Intrusion Action	認証失敗した時のポートの応答を設定します。
Supplicant List	許可されたクライアントの MAC アドレスや、設定情報を表示します。

● **Step: 3. Show Statistics**

ポート毎に統計情報を表示します。

Step: 3. Show Statistics

Port 1

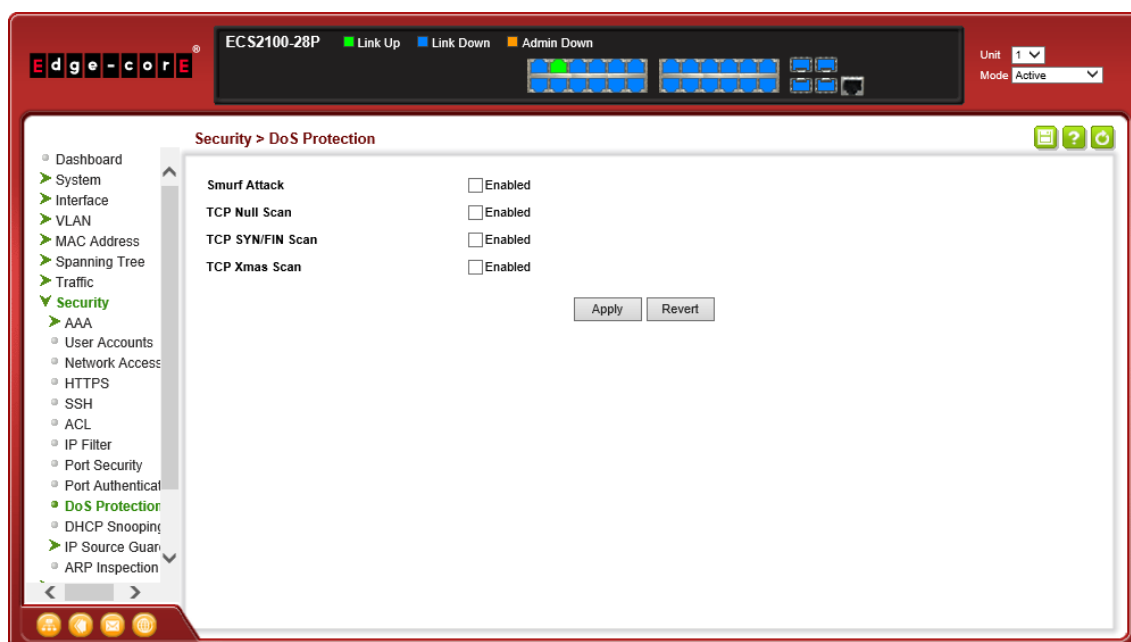
Port Authentication Authenticator Statistics

Rx EAPOL Start	0	Rx EAP Resp/Id	0
Rx EAPOL Logoff	0	Rx EAP Resp/Oth	0
Rx EAPOL Invalid	0	Rx EAP LenError	0
Rx EAPOL Total	0	Tx EAP Req/Id	0
Rx Last EAPOLVer	0	Tx EAP Req/Oth	0
Rx Last EAPOL Src	00-00-00-00-00-00	Tx EAPOL Total	0

表示	説明
Port	ポート番号を指定します。
Port Authentication Authenticator Statistics	ポート認証、認証コードの統計情報を表示します。

6.8.10. DoS Protection

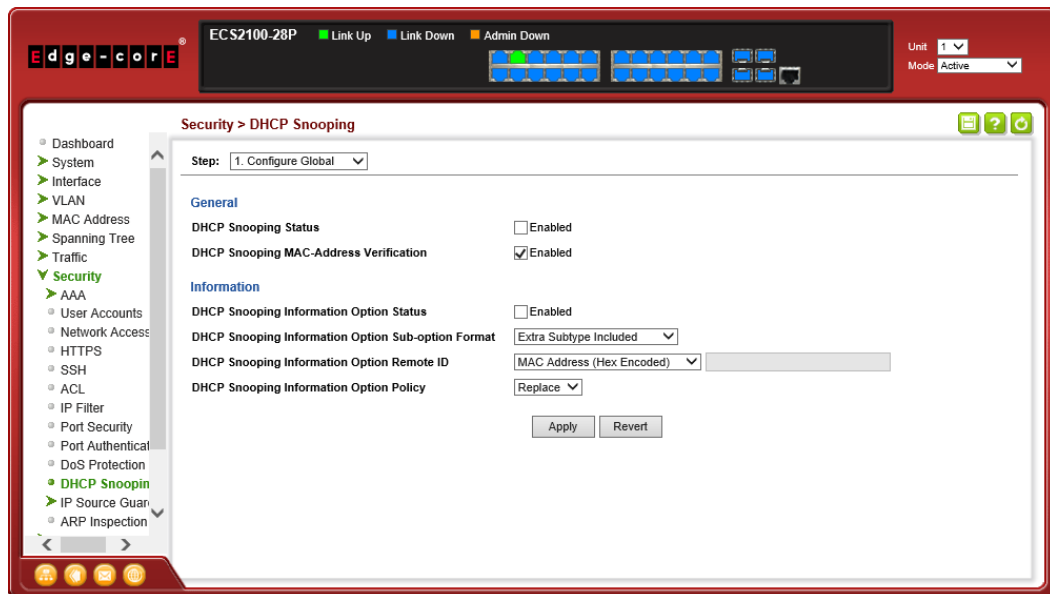
DoS Protection の設定を行います。



表示	説明
Smurf Attack	Smurf Attack (パケットの送信元を偽装し、相手のコンピュータに大量の偽パケットを送り付ける攻撃手法)からの保護を有効にします。
TCP Null Scan	TCP Null Scan (TCP 接続が確立されていない状態で、何もフラグも立っていないパケットを送信する攻撃手法)からの保護を有効にします。
TCP SYN/FIN Scan	TCP SYN/FIN Scan (サーバにログを残さずにポートスキャンを行う「ステルススキャン」の攻撃手法)からの保護を有効にします。
TCP Xmas Scan	TCP Xmas Scan (TCP 接続が確立されていない状態で、「FIN」「URG」「PSH」の 3 種のフラグ付きパケットが送られてくる攻撃手法)からの保護を有効にします。

6.8.11. DHCP Snooping

DHCP スヌーピングの設定を行います。



- **Step: 1. Configure Global**

基本設定を行います。

Step: 1. Configure Global	
General	
DHCP Snooping Status	<input type="checkbox"/> Enabled
DHCP Snooping MAC-Address Verification	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled
Information	
DHCP Snooping Information Option Status	<input type="checkbox"/> Enabled
DHCP Snooping Information Option Sub-option Format	Extra Subtype Included
DHCP Snooping Information Option Remote ID	MAC Address (Hex Encoded)
DHCP Snooping Information Option Policy	Replace
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
DHCP Snooping Status	DHCP スヌーピングを有効または無効にします。
DHCP Snooping MAC-Address Verification	MAC アドレスの検証を有効または無効にします。
DHCP Snooping Information Option Status	DHCP スヌーピングの情報中継を有効または無効にします。
DHCP Snooping Information Option Sub-option Format	DHCP スヌーピングの情報およびリモート ID のサブタイプおよびサブ長フィールドの使用を有効または無効にします。
DHCP Snooping Information Option Remote ID	要求デバイスを指定します。(MAC アドレス、IP アドレス、String)
DHCP Snooping Information Option Policy	DHCP クライアント要求パケットの処理方法を指定します。(Drop、Keep、Replace)

- **Step: 2. Configure VLAN**

VLAN 毎に DHCP スヌーピングの有効/無効を設定します。

Step: 2. Configure VLAN ▼	
VLAN	1 ▼
DHCP Snooping Status	<input type="checkbox"/> Enabled
<div>Apply</div> <div>Revert</div>	

表示	説明
VLAN	設定済みの VLAN ID を指定します。
DHCP Snooping Status	選択した VLAN の DHCP スヌーピングを有効または無効にします。

- **Step: 3. Configure Interface**

ポート毎に設定を行います。

Step: 3. Configure Interface ▼				
Interface <input checked="" type="radio"/> Port <input type="radio"/> Trunk				
DHCP Snooping Port List Total: 28 1 2 3				
Port	Trust Status	Max Number (1 - 32)	Mode	Circuit ID Value
1	<input type="checkbox"/> Enabled	16	VLAN-Unit-Port ▼	
2	<input type="checkbox"/> Enabled	16	VLAN-Unit-Port ▼	
3	<input type="checkbox"/> Enabled	16	VLAN-Unit-Port ▼	

表示		説明
Interface		Port または Trunk を選択します。
Trust Status		信頼できるポートの有効/無効を選択します。
Max Number		ポートごとにサポートできる DHCP クライアントの最大数を指定します。
Circuit ID	Mode	デフォルトの文字列 “VLAN-Unit-Port” または String を指定します。
	Value	Mode で String を選択した場合、ここに任意の文字列を入力します。

- **Step: 4. Show Information**

DHCP スヌーピングの情報を表示します。

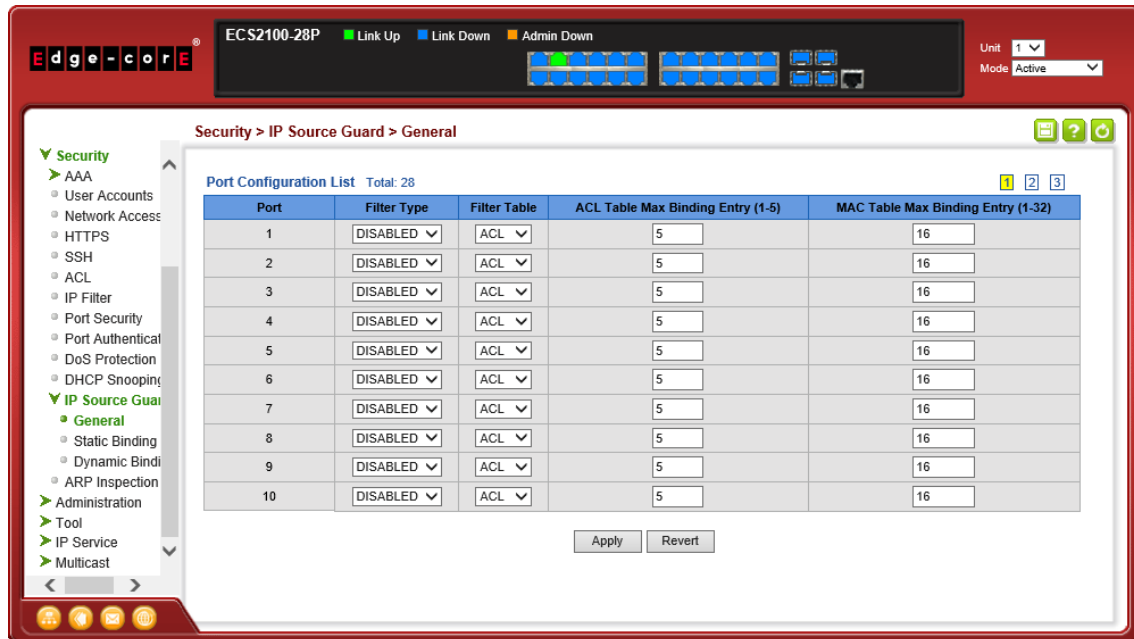
Step: 4. Show Information ▼					
DHCP Snooping Binding List Total: 0					
MAC Address	IP Address	Lease Time (seconds)	Type	VLAN	Interface

表示	説明
DHCP Snooping Binding List	DHCP スヌーピングの情報を表示します。

6.8.12. IP Source Guard

6.8.12.1. General

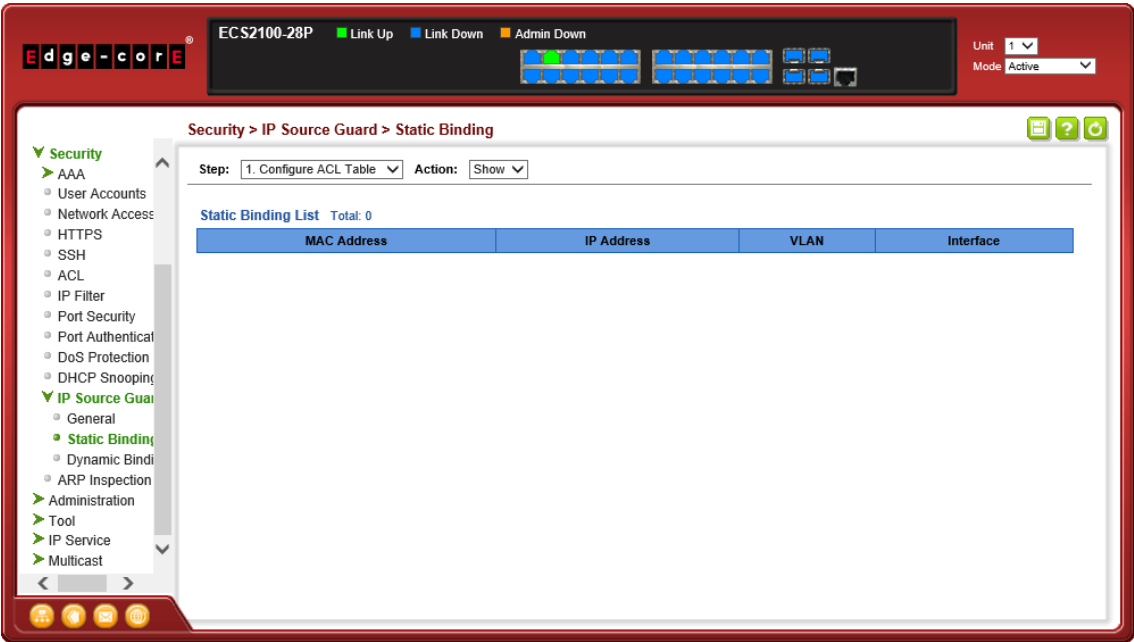
IP ソースガードフィルタリングの基本設定を行います。



表示	説明
Filter Type	<p>Disable : ポート上の IP ソースガードフィルタリングを無効にします。</p> <p>SIP : Binding Table に格納されている IP アドレスに基づいて、トラフィックフィルタリングを有効にします。</p> <p>SIP-MAC : Binding Table に格納されている IP アドレスと対応する MAC アドレスに基づいて、トラフィックフィルタリングを有効にします。</p>
Filter Table	ソースガイド学習モデルを設定して、ACL バインディングテーブルまたは MAC アドレスバインディングテーブルのアドレスを検索します。
Table Max Binding Entry	インタフェースにバインドできるエントリの最大数を入力します。

6.8.12.2. Static Binding

IP ソースガードフィルタリングの静的エントリを設定します。



- Step: 1. Configure ACL Table – Action: Add

ACL テーブルの静的エントリを追加します。

Step:	1. Configure ACL Table	Action:	Add
Port	<input type="text" value="1"/>		
VLAN	<input type="text" value="1"/>		
MAC Address	<input type="text"/> (xx-xx-xx-xx-xx-xx or xxxxxxxxxxxx)		
IP Address	<input type="text"/>		
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>			

表示	説明
Port	静的エントリがバインドされているポートを選択します。
VLAN	設定済みの VLAN ID を指定します。
MAC Address	有効なユニキャスト MAC アドレスを入力します。
IP Address	クラス A、B または C を含む有効なユニキャスト IP アドレスを入力します。

- Step: 1. Configure ACL Table – Action: Show

ACL テーブルの静的エントリの情報を表示します。

Step:	1. Configure ACL Table ▼	Action:	Show ▼
Static Binding List Total: 0			
MAC Address		IP Address	VLAN
Interface			
表示	説明		
Static Binding List	静的エントリの情報を表示します。		

- Step: 2. Configure MAC Table – Action: Add

MAC テーブルの静的エントリを追加します。

Step:	2. Configure MAC Table ▼	Action:	Add ▼
MAC Address	<input type="text"/> (xx-xx-xx-xx-xx-xx or xxxxxxxxxxxxxx)		
VLAN (1-4094)	<input type="text"/> - <input type="text"/>		
IP Address	<input type="text"/>		
Port	<input type="text"/> (Example: 1,3,5-10)		
		Apply	Revert

表示	説明
MAC Address	有効なユニキャスト MAC アドレスを入力します。
VLAN	設定された VLAN または VLAN の範囲を設定します。
IP Address	クラス A、B または C を含む有効なユニキャスト IP アドレスを入力します。
Port	静的エントリがバインドされているポートを入力します。

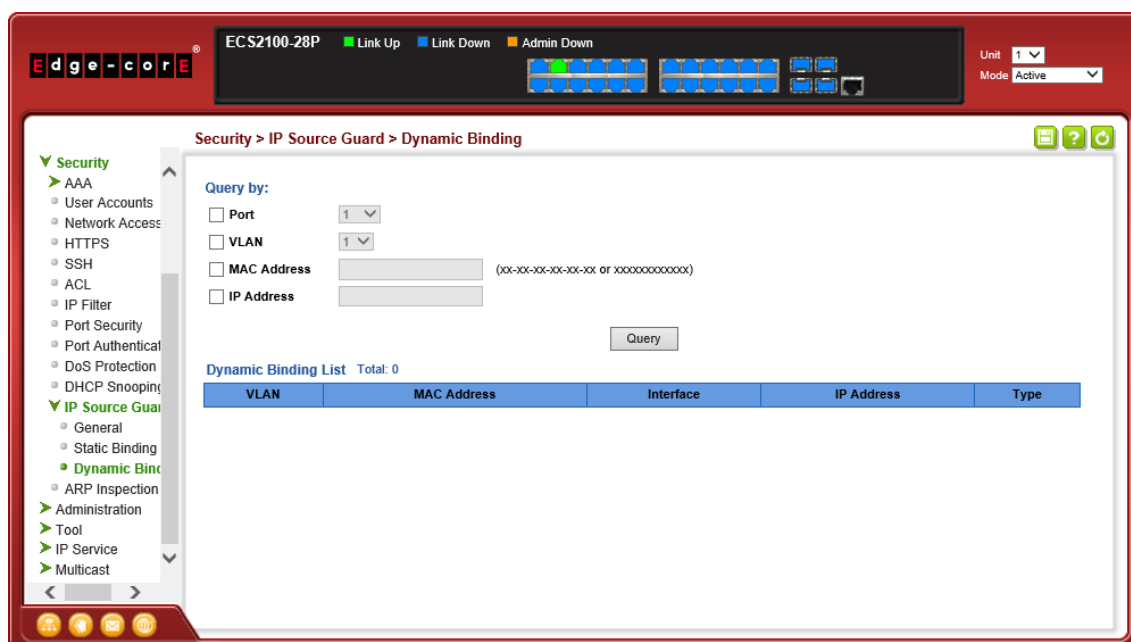
- Step: 2. Configure MAC Table – Action: Show

MAC テーブルの静的エントリを表示します。

Step:	2. Configure MAC Table ▼	Action:	Show ▼
Static Binding List Total: 0			
MAC Address		IP Address	VLAN
Interface			
表示	説明		
Static Binding List	静的バインディングの情報を表示します。		

6.8.12.3. Dynamic Binding

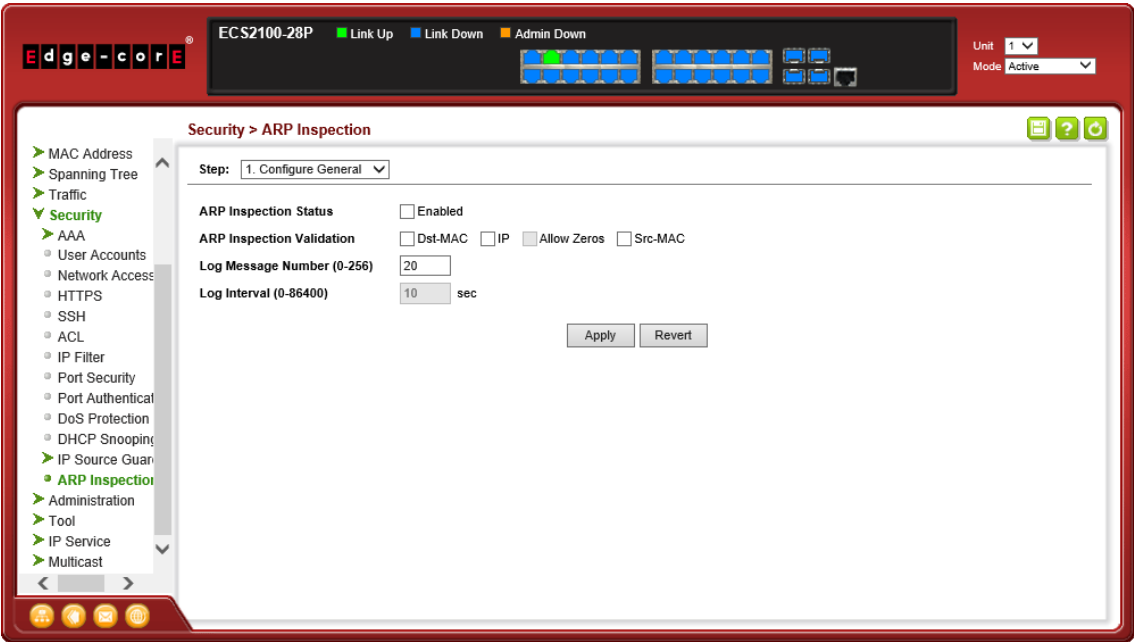
動的バインディングの情報を表示します。



表示	説明
Port	ポートを指定します。
VLAN	設定された VLAN ID を指定します。
MAC Address	有効なユニキャスト MAC アドレスを入力します。
IP Address	クラス A、B または C を含む有効なユニキャスト IP アドレスを入力します。
Dynamic Binding List	動的バインディングの情報を表示します。

6.8.13. ARP Inspection

ARP 検査の設定を行います。



● Step: 1. Configure General

ARP 検査の基本設定を行います。

Step: 1. Configure General

ARP Inspection Status ☐ Enabled

ARP Inspection Validation ☐ Dst-MAC ☐ IP ☐ Allow Zeros ☐ Src-MAC

Log Message Number (0-256)

Log Interval (0-86400) sec

Apply Revert

表示	説明
ARP Inspection Status	ARP 検査の有効/無効を選択します。
ARP Inspection Validation	拡張 ARP の検査の検証を有効にします。 Dst-MAC、IP、Allow Zeros、Src-MAC から選択します。
Log Message Number	ログメッセージに保存されるエントリの最大数を設定します。
Log Interval	ログメッセージが送信される間隔を設定します。

- **Step: 2. Configure VLAN**

VLAN 毎に設定を行います。

Step: 2. Configure VLAN ▼

ARP Inspection VLAN List Total: 1

VLAN	DAI Status	ACL Name	ACL Status
1	<input type="checkbox"/> Enabled	<input type="checkbox"/> ▼	<input type="checkbox"/> Static

Apply Revert

表示	説明
DAI Status	選択した VLAN の動的 ARP の検査を有効にします。
ACL Name	構成済みの任意の ARP ACL を選択できます。
ACL Status	ARP 検査の際に DHCP スヌーピングバインディングテーブルを参照するかどうかを設定します。 チェックを入れた場合、DHCP スヌーピングバインディングテーブルを参照しません。

- **Step: 3. Configure Interface**

ポート毎に設定を行います。

Step: 3. Configure Interface ▼

Interface ☒ Port ☐ Trunk

Port Configuration List Total: 28 1 2 3

Port	Trust Status	Packet Rate Limit (0-2048 pps)
1	<input type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> 15
2	<input type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> 15
3	<input type="checkbox"/> Enabled	<input checked="" type="checkbox"/> 15

表示	説明
Interface	Port または Trunk を選択します。
Trust Status	ポートを信頼できるまたはできないものとして設定します。
Packet Rate Limit	CPU が 1 秒あたりに処理できる ARP パケットの最大数を設定します。

- **Step: 4. Show Information – Show Log**

ログを表示します。

Step: 4. Show Information ▼ Action: Show Log ▼

ARP Inspection Log List Total: 0

VLAN ID	Port	Src. IP Address	Dst. IP Address	Src. MAC Address	Dst. MAC Address
---------	------	-----------------	-----------------	------------------	------------------

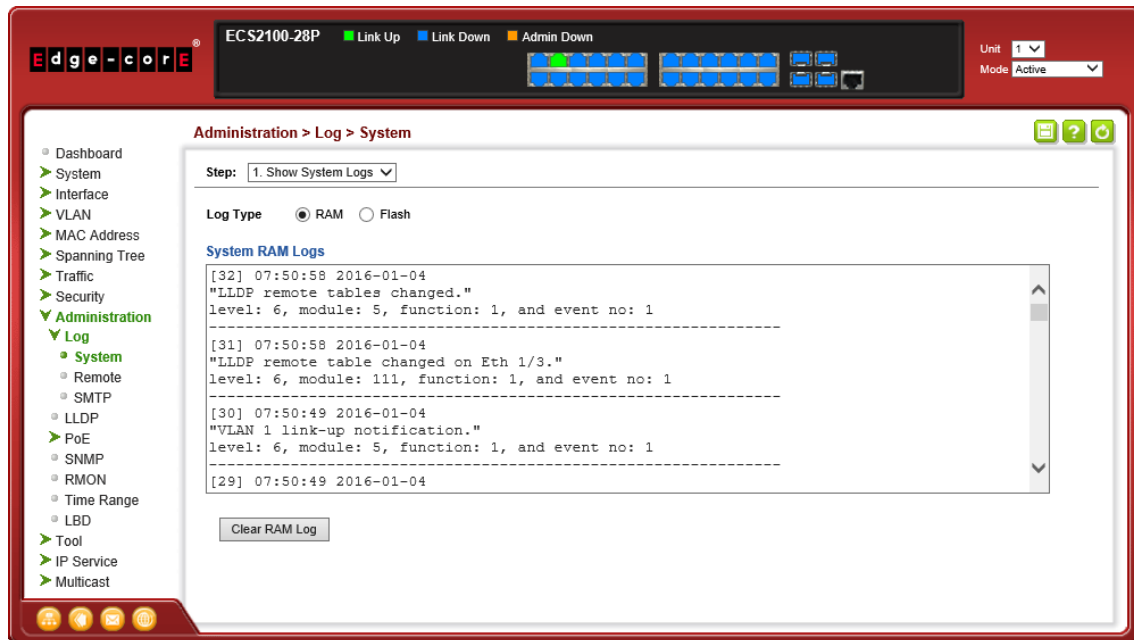
表示	説明
ARP Inspection Log List	関連付けられた VLAN、ポート、およびアドレスコンポーネントを含め、ログに保存されているエントリに関する情報を表示します。

6.9. Administration

6.9.1. Log

6.9.1.1. System

システムログの設定を行います。



● Step: 1. Show System Logs

システムログを表示します。

Step: 1. Show System Logs ▼

Log Type ☒ RAM ☐ Flash

System RAM Logs

```
[32] 07:50:58 2016-01-04
"LLDP remote tables changed."
level: 6, module: 5, function: 1, and event no: 1
-----
[31] 07:50:58 2016-01-04
"LLDP remote table changed on Eth 1/3."
level: 6, module: 111, function: 1, and event no: 1
-----
[30] 07:50:49 2016-01-04
"VLAN 1 link-up notification."
level: 6, module: 5, function: 1, and event no: 1
-----
[29] 07:50:49 2016-01-04
```

Clear RAM Log

表示	説明
Log Type	ログタイプを RAM または Flash から選択します。
System Logs	Log Type で選択したタイプのシステムログ情報を表示します。

- **Step: 2. Configure Global**

基本設定を行います。

Step: 2. Configure Global ▼

Status

☒ Enabled

History Flash Level

3 - Error ▼

History RAM Level

7 - Debugging ▼

Command Log Status

☐ Enabled

Note: The Flash Level must be equal to or less than the RAM Level.

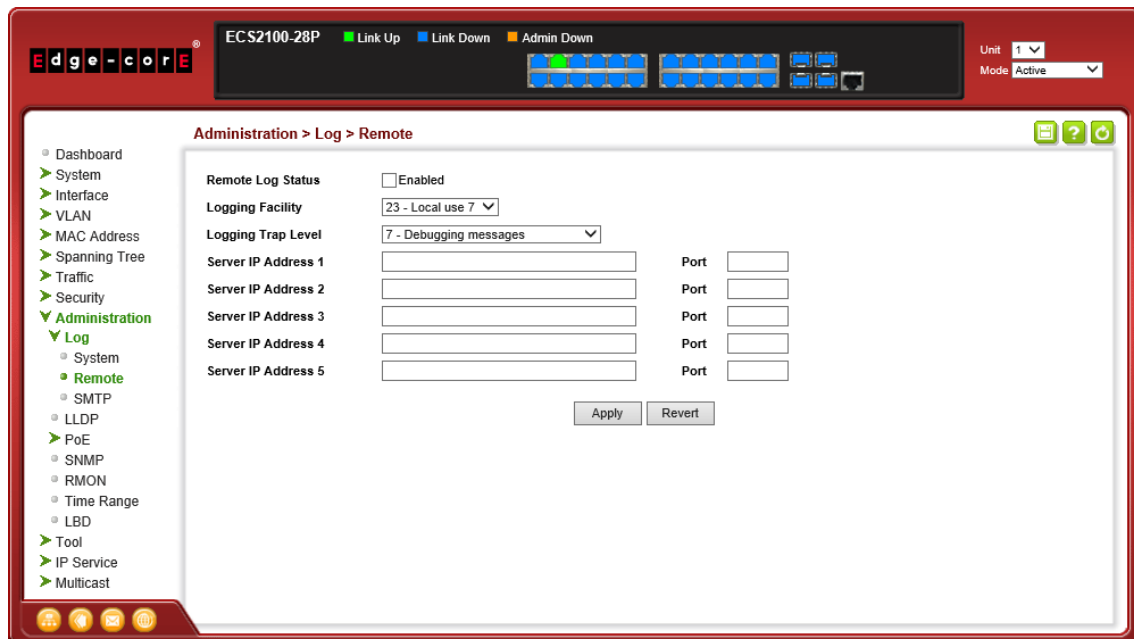
Apply

Revert

表示	説明
Status	デバッグまたはエラーメッセージのロギングプロセスへのロギングを有効または無効にします。
History Flash Level	スイッチの永久フラッシュメモリに保存されたログメッセージを、指定されたレベルまでのすべてのレベルで制限します。
History RAM Level	スイッチの一時 RAM メモリに保存されたログメッセージを、指定されたレベルまでのすべてのレベルで制限します。
Command Log Status	CLI から実行されたコマンドを記録します。 実行時間、ユーザ名、ユーザインタフェース、ユーザ IP アドレスなどの CLI ユーザに関する情報が記録されます。

6.9.1.2. Remote

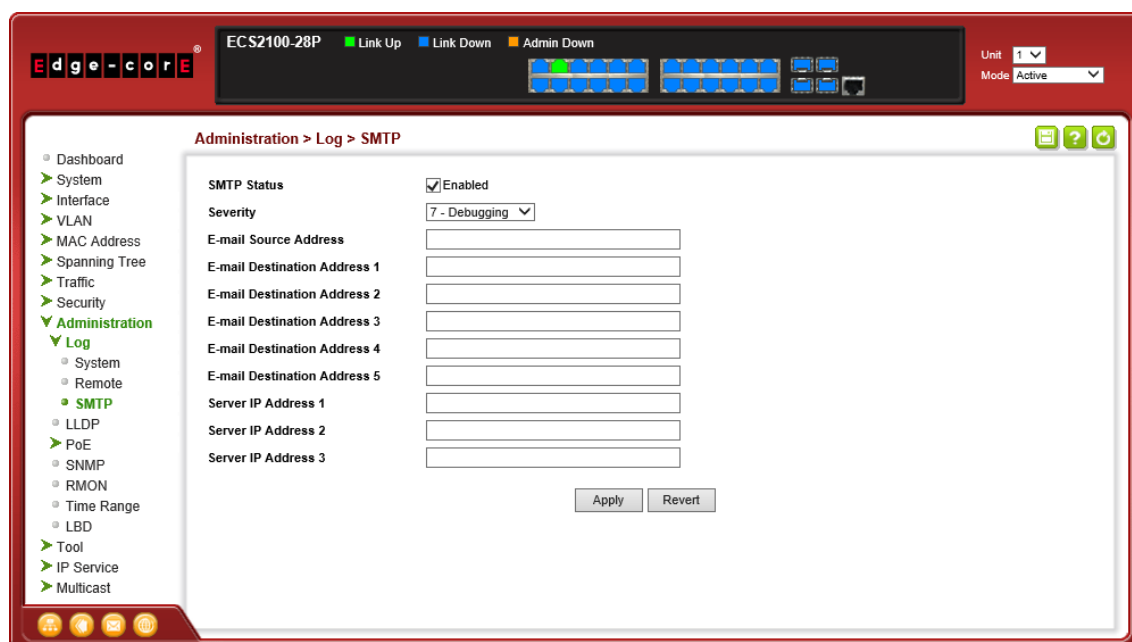
Syslog サーバへのログの転送設定を行います。



表示	説明
Remote Log Status	リモートロギングプロセスへのデバッグメッセージまたはエラーメッセージのロギングを有効または無効にします。
Logging Facility	syslog メッセージのリモートロギングのファシリティタイプを設定します。
Logging Trap Level	指定したレベルまでのすべてのレベルのリモート syslog サーバに送信されるログメッセージを制限します。 例：レベル3を指定した場合、レベル0～3までのすべてのメッセージがリモートサーバに送信されます。
Server IP Address	Syslog メッセージを送信するリモートサーバの IPv4 または IPv6 アドレスを指定します。
Port	リモートサーバが使用する UDP ポート番号を指定します。

6.9.1.3. SMTP

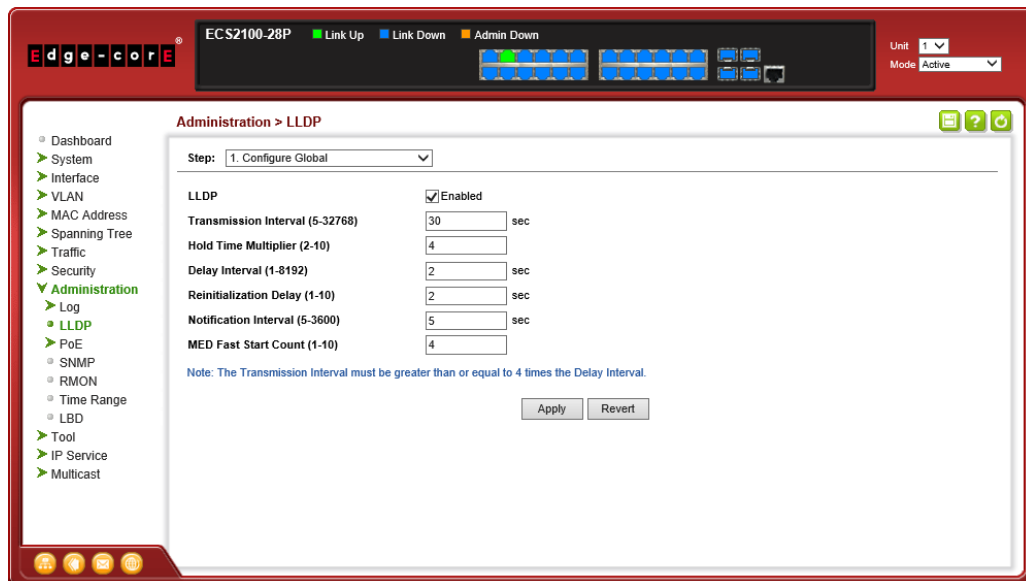
SMTP 機能の設定を行います。



表示	説明
SMTP Status	SMTP 機能を有効または無効にします。
Severity	syslog のスレッシュホールドレベルを設定します。
E-mail Source Address	アラートメッセージの「From」フィールドに使用する、電子メールアドレスを設定します。スイッチを識別するシンボリック電子メールアドレス、またはスイッチを担当する管理者のアドレスを使用できます。
E-mail Destination Address	アラートメッセージの電子メール受信者を指定します。 最大 5 人の受診者を設定できます。
Server IP Address	最大 3 つの SMTP サーバの IPv4 または IPv6 アドレスを指定します。

6.9.2. LLDP

LLDP の設定を行います。



● Step: 1. Configure Global

基本設定を行います。

Step: 1. Configure Global

LLDP ☒ Enabled

Transmission Interval (5-32768) sec

Hold Time Multiplier (2-10)

Delay Interval (1-8192) sec

Reinitialization Delay (1-10) sec

Notification Interval (5-3600) sec

MED Fast Start Count (1-10)

Note: The Transmission Interval must be greater than or equal to 4 times the Delay Interval.

Apply Revert

表示	説明
LLDP	スイッチ上で LLDP を有効または無効にします。
Transmission Interval	LLDP の定期的な送信間隔を設定します。
Hold Time Multiplier	LLDP で送信された生存時間 (TTL) 値を設定します。
Delay Interval	ローカル LLDP の MIB 変数の変更によって開始された広告の連続送信間に延長を設定します。
Reinitialization Delay	LLDP ポートが無効またはリンクがダウンした後に再初期化をする前に、遅延時間を設定します。
Notification Interval	LLDP MIB 変更に関する SNMP 通知の送信間隔を設定します。
MED Fast Start Count	LLDP-MED Fast Start メカニズムのアクティブ化プロセス中に送信する LLDP MED ファストスタート LLDPDU の量を設定します。

● **Step: 2. Configure Interface** **Action: Configure General**

ポート毎に基本設定を行います。

Step:	2. Configure Interface		Action:	Configure General	
Interface	<input checked="" type="radio"/> Port 1 <input type="radio"/> Trunk				
Admin Status	Tx Rx				
SNMP Notification	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled				
MED Notification	<input type="checkbox"/> Enabled				
Basic Optional TLVs:					
<input checked="" type="checkbox"/> Management Address	<input checked="" type="checkbox"/> Port Description	<input checked="" type="checkbox"/> System Capabilities	<input checked="" type="checkbox"/> System Description	<input checked="" type="checkbox"/> System Name	
802.1 Organizationally Specific TLVs:					
<input checked="" type="checkbox"/> Protocol Identity	<input checked="" type="checkbox"/> VLAN ID	<input checked="" type="checkbox"/> VLAN Name	<input checked="" type="checkbox"/> Port and Protocol VLAN ID		
802.3 Organizationally Specific TLVs:					
<input checked="" type="checkbox"/> Link Aggregation	<input checked="" type="checkbox"/> Max Frame Size	<input checked="" type="checkbox"/> MAC/PHY Configuration/Status			
<input checked="" type="checkbox"/> PoE					
MED TLVs:					
<input checked="" type="checkbox"/> Capabilities	<input checked="" type="checkbox"/> Extended Power	<input checked="" type="checkbox"/> Inventory	<input checked="" type="checkbox"/> Location	<input checked="" type="checkbox"/> Network Policy	
MED-Location Civic Address:					

表示	説明
Interface	Port または Trunk を選択します。
Admin Status	LLDP プロトコルデータユニットの LLDP メッセージモードを選択します。
SNMP Notification	LLDP の変更に関する SNMP トラップ通知の送信を有効にします。
MED Notification	LLDP-MED の変更に関する SNMP トラップ通知の送信を有効にします。
Basic Optional TLVs	通知メッセージの TLV フィールドに含まれる基本情報を設定します。
802.1 Organizationally Specific TLVs	通知メッセージ TLV フィールドに含まれる IEEE 802.1 情報を設定します。
802.3 Organizationally Specific TLVs	通知メッセージ TLV フィールドに含まれる IEEE 802.3 情報を設定します。
MED TLVs	通知メッセージ MED TLV フィールドに含まれる一般情報を設定します。
MED-Location Civic Address	通知メッセージ MED TLV フィールドに含まれる接続デバイスの場所に関する情報を設定します。
Country	2 文字の ISO 3166 国コード(大文字の ASCII 文字)を入力します。
Device entry refers to	ロケーションが適用されるデバイスのタイプを選択します。

- **Step: 2. Configure Interface – Action: Add CA-Type**

ポート毎に Civic Address を設定します。

Step:	2. Configure Interface	Action:	Add CA-Type
Interface	<input checked="" type="radio"/> Port 1 <input type="radio"/> Trunk		
CA-Type (0-255)	<input type="text"/>		
CA-Value	<input type="text"/>		
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>			

表示	説明
Interface	Port または Trunk を選択します。
CA-Type	データ市民住所の値の記述子を入力します。
CA-Value	場所の説明を入力します。

- **Step: 2. Configure Interface – Action: Show CA-Type**

Civic Address で設定した情報を表示します。

Step:	2. Configure Interface	Action:	Show CA-Type
Interface	<input checked="" type="radio"/> Port 1 <input type="radio"/> Trunk		
LLDP MED-Location Civic Address Type List Total: 0			
CA-Type		CA-Value	

表示	説明
Interface	Port または Trunk を選択します。
LLDP MED-Location Civic Address Type List	Add CA-Type で入力した情報を表示します。

- **Step: 2. Configure Interface – Action: Modify CA-Type**

Civic Address の編集を行います。

Step:	2. Configure Interface	Action:	Modify CA-Type
Interface	<input checked="" type="radio"/> Port 1 <input type="radio"/> Trunk		
CA-Type (0-255)	<input type="text"/>		
CA-Value	<input type="text"/>		
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>			

表示	説明
Interface	Port または Trunk を選択します。
CA-Type	データ市民住所の値の記述子を入力します。
CA-Value	場所の説明を入力します。

- **Step: 3. Show Local Device Information**

スイッチの情報を表示します。

General / Port / Port Details / Trunk / Trunk Details

Step: 3. Show Local Device Information ▼

☒ General
 ☐ Port
 ☐ Port Details
 ☐ Trunk
 ☐ Trunk Details

LLDP Local Device Information

Chassis Type	MAC Address
Chassis ID	8C-EA-1B-86-80-80
System Name	
System Description	ECS2100-28P
System Capabilities Supported	Bridge
System Capabilities Enabled	Bridge
Management Address	192.168.2.10 (IPv4)

表示	説明
LLDP Local Information	MAC アドレス、シャーシ ID、管理 IP アドレス、およびポート情報など、スイッチに関する情報を表示します。

- **Step: 4. Show Remote Device Information**

LLDP を介して取得したデバイスの情報を表示します。

Port / Port Details / Trunk / Trunk Details

Step: 4. Show Remote Device Information ▼

☒ Port
 ☐ Port Details
 ☐ Trunk
 ☐ Trunk Details

LLDP Remote Device Port List Total: 1

Local Port	Chassis ID	Port ID	System Name
3	33-4D-44-78-68-65	50-7B-9D-AB-1C-C1	HY0050

表示	説明
LLDP Remote Device Information	LLDP を介して情報を通知しているスイッチのポートに直接接続されているデバイスに関する情報や、ローカルスイッチ上の特定のポートに接続された LLDP 対応デバイスを表示します。

- **Step: 5. Show Device Statistics**

統計情報を表示します。

General / Port / Trunk

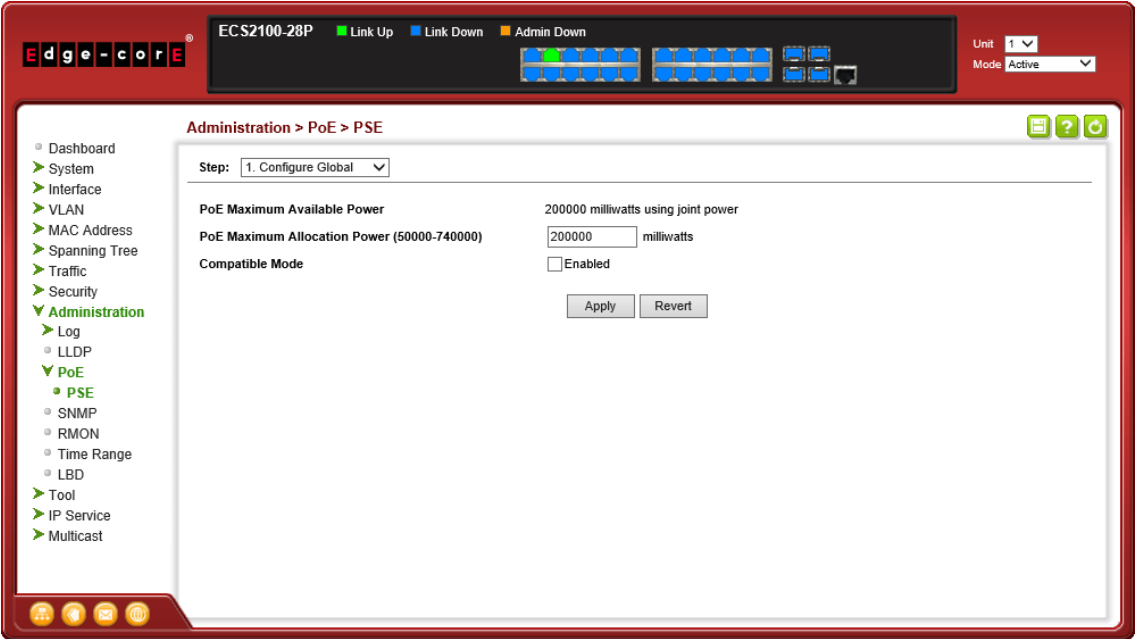
Step: 5. Show Device Statistics ▼	
<input checked="" type="radio"/> General <input type="radio"/> Port <input type="radio"/> Trunk	
LLDP Device Statistics	
Neighbor Entries List Last Updated	13271 sec
New Neighbor Entries Count	3
Neighbor Entries Deleted Count	2
Neighbor Entries Dropped Count	0
Neighbor Entries Age-out Count	2

表示	説明
LLDP Device Statistics	スイッチに接続された LLDP 対応デバイスの統計情報、およびすべてのローカルインタフェースで送受信された LLDP プロトコルメッセージの統計情報を表示します。

6.9.3. PoE

6.9.3.1. PSE

PoE の設定を行います。



● Step: 1.Configure Global

基本設定を行います。

Step: 1. Configure Global	
PoE Maximum Available Power	200000 milliwatts using joint power
PoE Maximum Allocation Power (50000-740000)	<input type="text" value="200000"/> milliwatts
Compatible Mode	<input type="checkbox"/> Enabled
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
PoE Maximum Available Power	スイッチの電力バジェット(すべてのスイッチポートで使用可能な電力)を表示します。
PoE Maximum Allocation Power	スイッチの電力バジェットを設定します。 ECS2100-28P: 50000-200000 mW ・ デフォルト: 200000 mW
Compatible Mode	スイッチが IEEE802.3af PoE 標準より前に設計された受電装置に電力を検出して供給できるようにします。

- **Step: 2. Configure Interface**

ポート毎に PoE 給電の設定を行います。

Step: 2. Configure Interface ▼

PoE Port List Total: 24 1 2 3

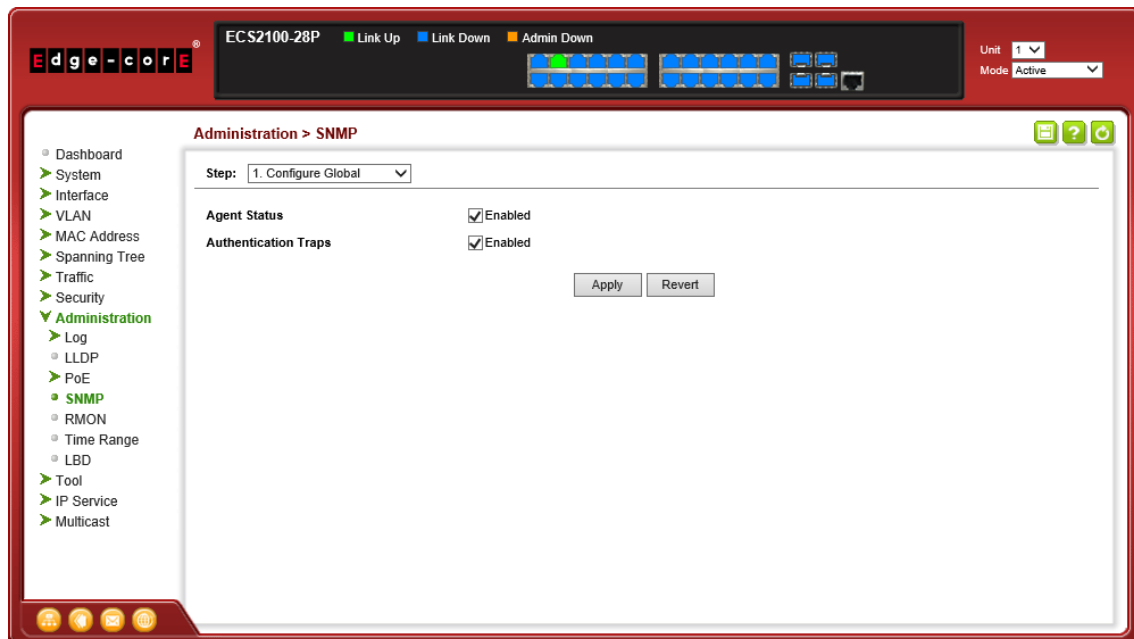
Port	Admin Status	Mode	Time-Range Name	Time-Range Status	Priority	Power Allocation	Power Consumption (milliwatts)
1	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	off	<input type="checkbox"/> ▼	NA	Low ▼	34200	0
2	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	off	<input type="checkbox"/> ▼	NA	Low ▼	34200	0
3	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	off	<input type="checkbox"/> ▼	NA	Low ▼	34200	0
4	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	off	<input type="checkbox"/> ▼	NA	Low ▼	34200	0
5	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	off	<input type="checkbox"/> ▼	NA	Low ▼	34200	0
6	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	off	<input type="checkbox"/> ▼	NA	Low ▼	34200	0
7	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	off	<input type="checkbox"/> ▼	NA	Low ▼	34200	0
8	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	off	<input type="checkbox"/> ▼	NA	Low ▼	34200	0
9	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	off	<input type="checkbox"/> ▼	NA	Low ▼	34200	0
10	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	off	<input type="checkbox"/> ▼	NA	Low ▼	34200	0

Apply Revert

表示	説明
PoE Port List	Port ごとに PoE 給電の情報を表示します。
Admin Status	ポート上で PoE 給電の使用を可能にします。 デバイスがポートで検出されたときに自動的に電力が供給されます。
Time-Range Name	時間範囲の名前を指定します。
Priority	ポートの電力優先度を設定します。
Power Allocation	ポートの電力バジェットを設定します。

6.9.4. SNMP

SNMP の設定を行います。



- **Step: 1. Configure Global**

基本設定を行います。

Step: 1. Configure Global	
Agent Status	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled
Authentication Traps	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
Agent Status	スイッチ上で SNMP を有効にします。
Authentication Traps	指定した IP トラップマネージャーに通知メッセージを発行します。

- **Step: 2. Configure Community** – **Action: Show**

コミュニティ名とアクセスモードを表示します。

Step: 2. Configure Community	Action: Show	
SNMP Community String List Total: 2		
<input type="checkbox"/>	Community String	Access Mode
<input type="checkbox"/>	public	Read-Only
<input type="checkbox"/>	private	Read/Write
<input type="button" value="Delete"/> <input type="button" value="Revert"/>		

表示	説明
SNMP Community String List	コミュニティ名と、アクセスモードを表示します。

- **Step: 2. Configure Community** – **Action: Add**

コミュニティの追加を行います。

Step:	2. Configure Community ▼	Action:	Add ▼
Community String	<input type="text"/>		
Access Mode	Read-Only ▼		
		Apply	Revert

表示	説明
Community String	コミュニティ名を入力します。
Access Mode	アクセスモード(読み取り専用、読み書き)を設定します。

- **Step: 3. Configure Engine** – **Action: Set Engine ID**

エンジン ID の設定を行います。

Step:	3. Configure Engine ▼	Action:	Set Engine ID ▼
Engine ID	<input type="text" value="80000103038cea1b8680800000"/>		
Engine Boots	5		
		Default	Save

表示	説明
Engine ID	新しいエンジン ID は 9～64 桁の 16 進数を入力することで指定できます。
Engine Boots	SNMP Engine ID を最後に設定してから初期化された回数を表示します。

- **Step: 3. Configure Engine** – **Action: Add Remote Engine**

リモートエンジン ID の追加を行います。

Step:	3. Configure Engine ▼	Action:	Add Remote Engine ▼
Remote Engine ID	<input type="text"/>		
Remote IP Host	<input type="text"/>		
		Apply	Revert

表示	説明
Remote Engine ID	エンジン ID は 9～64 桁の 16 進数を入力することで指定できます。
Remote IP Host	エンジン ID を使用しているリモート管理ステーションの IPv4 アドレスを入力します。

- **Step: 3. Configure Engine – Action: Show Remote Engine**

リモートエンジン ID を表示します。

Step: 3. Configure Engine Action: Show Remote Engine	
SNMPv3 Remote Engine List Total: 0	
Remote Engine ID	Remote IP Host
表示	説明
SNMPv3 Remote Engine List	エンジン ID を使用しているリモート管理者の IP アドレスを表示します。

- **Step: 4. Configure View – Action: Add View**

SNMP ビューを作成します。

Step: 4. Configure View Action: Add View	
View Name	<input type="text"/>
OID Subtree	<input type="text"/>
Type	Included
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
View Name	SNMP ビューの名前を入力します。
OID Subtree	MIB ツリー内のブランチの初期オブジェクト識別子を指定します。
Type	MIB ツリー内のブランチのオブジェクト識別子が SNMP ビューに含まれているか、または除外されているか示します。

- **Step: 4. Configure View – Action: Show View**

作成した SNMP ビューを表示します。

Step: 4. Configure View Action: Show View	
SNMPv3 View List Total: 1	
<input type="checkbox"/>	View Name
<input type="checkbox"/>	defaultview
<input type="button" value="Delete"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
SNMPv3 View List	Add View で設定した SNMP ビューを表示します。

- **Step: 4. Configure View – Action: Add OID Subtree**

SNMP ビューに OID サブツリーを追加します。

Step:	4. Configure View	Action:	Add OID Subtree
View Name	defaultview		
OID Subtree	<input type="text"/>		
Type	Included		
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>			

表示	説明
View Name	SNMP ビューを指定します。
OID Subtree	OID サブツリーを追加します。
Type	OID サブツリーが SNMP ビューに含まれているか、または除外されているか示します。

- **Step: 4. Configure View – Action: Show OID Subtree**

SNMP ビューに追加した OID サブツリーを表示します。

Step:	4. Configure View	Action:	Show OID Subtree
View Name	defaultview		
SNMPv3 View OID Subtree List Total: 1			
<input type="checkbox"/>	OID Subtree	Type	
<input type="checkbox"/>	1	Included	
<input type="button" value="Delete"/> <input type="button" value="Revert"/>			

表示	説明
SNMPv3 View OID Subtree List	SNMPv3 ビューの OID サブツリー、タイプを表示します。

- **Step: 5. Configure Group – Action: Add**

SNMP グループの作成を行います。

Step:	5. Configure Group	Action:	Add
Group Name	<input type="text"/>		
Security Model	v1		
Security Level	noAuthNoPriv		
Read View	<input checked="" type="radio"/> defaultview	<input type="radio"/>	<input type="text"/>
Write View	<input checked="" type="radio"/> defaultview	<input type="radio"/>	<input type="text"/>
Notify View	<input checked="" type="radio"/> defaultview	<input type="radio"/>	<input type="text"/>
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>			

表示	説明
Group Name	ユーザが割り当てられている SNMP グループの名前を設定します。
Security Model	ユーザセキュリティモデルを指定します。(SNMPv1、v2、v3)
Security Level	セキュリティレベルを選択します。 noAuthNoPriv(認証暗号なし)、AuthNoPriv(認証あり暗号なし)、AuthPriv(認証暗号あり)
Read View	読み取りアクセス用に設定されたビュー。
Write View	書き込みアクセス用に設定されたビュー。
Notify View	通知用に設定されたビュー。

- **Step: 5. Configure Group – Action: Show**

SNMP グループを表示します。

Step:	5. Configure Group	Action:	Show			
SNMPv3 Group List Total: 4						
<input type="checkbox"/>	Group Name	Model	Level	Read View	Write View	Notify View
<input type="checkbox"/>	public	v1	noAuthNoPriv	defaultview	No writeview specified	No notifyview specified
<input type="checkbox"/>	public	v2c	noAuthNoPriv	defaultview	No writeview specified	No notifyview specified
<input type="checkbox"/>	private	v1	noAuthNoPriv	defaultview	defaultview	No notifyview specified
<input type="checkbox"/>	private	v2c	noAuthNoPriv	defaultview	defaultview	No notifyview specified
<input type="button" value="Delete"/> <input type="button" value="Revert"/>						

表示	説明
SNMPv3 Group List	SNMP グループごとの設定を表示します。

- **Step: 6. Configure User – Action: Add SNMPv3 Local User**

SNMPv3 ユーザの追加を行います。

Step:	6. Configure User	Action:	Add SNMPv3 Local User
SNMPv3 User			
User Name	<input type="text"/>		
Group Name	<input checked="" type="radio"/> public <input type="radio"/> <input type="text"/>		
Security Model	v1		
Security Level	noAuthNoPriv		
User Authentication			
Authentication Protocol	MD5		
Authentication Password	<input type="text"/>		
Data Privacy			
Privacy Protocol	DES56		
Privacy Password	<input type="text"/>		
		Apply	Revert

表示	説明
User Name	SNMP エージェントに接続するユーザ名を設定します。
Group Name	ユーザが割り当てられている SNMP グループの名前を設定します。
Security Model	ユーザセキュリティモデルを指定します。(SNMPv1、v2、v3)
Security Level	セキュリティレベルを選択します。 noAuthNoPriv(認証暗号なし)、AuthNoPriv(認証あり暗号なし)、AuthPriv(認証暗号あり)
Authentication Protocol	ユーザ認証の方法を選択します。(MD5、SHA)
Authentication Password	認証パスワードを入力します。(8 文字以上)
Privacy Protocol	プライバシープロトコル。データプライバシーのために使用されます。
Privacy Password	プライバシーパスワードを入力します。(8 文字以上)

- **Step: 6. Configure User – Action: Show SNMPv3 Local User**

SNMPv3 ユーザを表示します。

Step: 6. Configure User Action: Show SNMPv3 Local User

SNMPv3 Local User List Total: 0

User Name	Group Name	Model	Level	Authentication	Privacy
-----------	------------	-------	-------	----------------	---------

表示	説明
SNMPv3 Local User List	Add SNMPv3 Local User で設定したユーザ情報が表示されます。

● **Step: 6. Configure User – Action: Change SNMPv3 Local User group**

SNMPv3 ユーザが所属するグループを変更します。

Step:	6. Configure User	Action:	Change SNMPv3 Local User Group
User Name	user		
Group Name	<input checked="" type="radio"/> <input type="text"/> <input type="radio"/> public		
<div>Apply</div> <div>Revert</div>			

表示	説明
User Name	ユーザ名を指定します。
Group Name	変更するグループ名を指定します。

● **Step: 6. Configure User – Action: Add SNMPv3 Remote User**

SNMPv3 リモートユーザの追加を行います。

Step:	6. Configure User	Action:	Add SNMPv3 Remote User
SNMPv3 User			
User Name	<input type="text"/>		
Group Name	<input checked="" type="radio"/> public <input type="radio"/> <input type="text"/>		
Remote IP	192.168.2.7		
Security Model	v3		
Security Level	noAuthNoPriv		
User Authentication			
Authentication Protocol	MD5		
Authentication Password	<input type="text"/>		
Data Privacy			
Privacy Protocol	DES56		
Privacy Password	<input type="text"/>		
<div>Apply</div> <div>Revert</div>			

表示	説明
User Name	SNMP エージェントに接続するユーザの名前を指定します。
Group Name	ユーザが割り当てられている SNMP グループ名を指定します。
Remote IP	ユーザのリモートデバイスの IPv4 アドレスを指定します。
Security Model	ユーザセキュリティモデルを指定します。(SNMPv1、v2、v3)
Security Level	セキュリティレベルを選択します。 noAuthNoPriv(認証暗号なし)、AuthNoPriv(認証あり暗号なし)、AuthPriv(認証暗号あり)
Authentication Protocol	ユーザ認証の方法を選択します。(MD5、SHA)
Authentication Password	認証パスワードを入力します。(8 文字以上)
Privacy Protocol	プライバシープロトコル。データプライバシーのために使用されます。
Privacy Password	プライバシーパスワードを入力します。(8 文字以上)

- **Step: 6. Configure User – Action: Show SNMPv3 Remote User**

SNMPv3 リモートユーザを表示します。

Step: 6. Configure User	Action: Show SNMPv3 Remote User					
SNMPv3 Remote User List Total: 0						
User Name	Group Name	Engine ID	Model	Level	Authentication	Privacy
表示		説明				
SNMPv3 Remote User List		Add SNMPv3 Remote User で設定したユーザ情報が表示されます。				

- **Step: 7. Configure Trap – Action: Add**

Trap 宛先の追加を行います。

Step: 7. Configure Trap	Action: Add
IP Address	<input type="text"/>
Version	v1
Community String	<input type="text"/>
UDP Port (1-65535)	<input type="text"/>
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
IP Address	通知メッセージを受信する新しい管理ステーションの IPv4 または IPv6 アドレスを入力します。
Version	通知を SNMPv1、v2、または v3 トラップとして送信するかを指定します。
Notification Type	トラップメッセージまたは通知メッセージを選択します。
Timeout	通知メッセージを再送信するまでに確認応答を待つ秒数を設定します。
Retry Times	受信者が受信確認しなかった場合、通知メッセージを再送信する最大回数を設定します。
Community String	新しいトラップマネージャーエントリのコミュニティ文字列を指定します。
UDP Port	トラップマネージャーが使用する UDP ポート番号を指定します。

- **Step: 7. Configure Trap – Action: Show**

Trap 宛先を表示します。

Step: 7. Configure Trap	Action: Show					
SNMP Trap Manager List Total: 0						
IP Address	Version	Community String/User Name	UDP Port	Security Level	Timeout	Retry Times
表示		説明				
SNMP Trap Manager List		SNMP トラップマネージャーの情報を表示します。				

● **Step: 8. Configure Notify Filter – Action: Add**

Step:	8. Configure Notify Filter ▼	Action:	Add ▼
IP Address	<input type="text"/>		
Filter Profile Name	<input type="text"/>		
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>			

表示	説明
IP Address	リモートデバイスの IPv4 または IPv6 アドレスを設定します。
Filter Profile Name	通知ログのプロファイル名を設定します。

● **Step: 8. Configure Notify Filter – Action: Show**

Step:	8. Configure Notify Filter ▼	Action:	Show ▼
SNMP Notify Filter List Total: 0			
Filter profile name		IP Address	

表示	説明
SNMP Notify Filter List	SNMP のフィルタープロファイル名の IP アドレスを表示します。

● **Step: 9. Show Statistics**

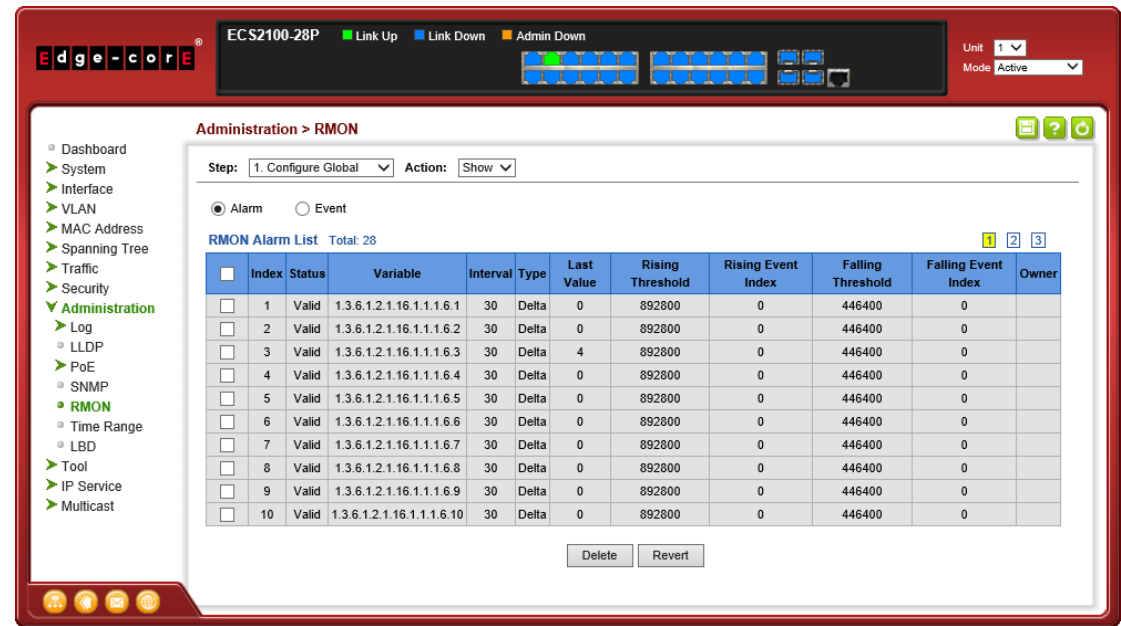
統計情報を表示します。

Step:	9. Show Statistics ▼		
SNMP Statistics			
SNMP packets input	0	SNMP packets output	0
Bad SNMP version errors	0	Too big errors	0
Unknown community name	0	No such name errors	0
Illegal operation for community name supplied	0	Bad values errors	0
Encoding errors	0	General errors	0
Number of requested variables	0	Response PDUs	0
Number of altered variables	0	Trap PDUs	0
Get-request PDUs	0		
Get-next PDUs	0		
Set-request PDUs	0		
<input type="button" value="Refresh"/>			

表示	説明
SNMP Statistics	SNMP 入力および出力プロトコルデータユニットのカウントを表示します。

6.9.5. RMON

RMON の設定を行います。



- Step: 1. Configure Global – Action: Add

Alarm

☒ Alarm ☐ Event

Index (1-65535)

Variable

Interval (1-31622400) sec

Sample Type

Rising Threshold (0-2147483647)

Rising Event Index (0-65535)

Falling Threshold (0-2147483647)

Falling Event Index (0-65535)

Owner

表示	説明
Index	エントリのインデックスを指定します。
Variable	サンプリングされる MIB 変数のオブジェクト識別子を設定します。
Interval	ポーリング間隔を設定します。
Sample Type	指定した変数の絶対または相対変化をテストします。 Absolute : 変数はサンプリング期間の終わりに閾値と直接比較されます。 Delta : 最後のサンプルを現在の値から減算し、その差を閾値と比較します。

Rising Threshold	現在の値が上限閾値以上で、最後のサンプル値がこの閾値よりも小さい場合、アラームが生成されます。
Rising Event Index	変数が上限閾値を超えて交差している場合に使用するイベントのインデックスを設定します。
Falling Threshold	現在の値が下限閾値以下で、最後のサンプル値がこの閾値よりも大きい場合、アラームが生成されます。
Falling Event Index	変数が下限閾値に達しているか下回っていることによってアラームがトリガされた場合に使用するイベントのインデックスを設定します。
Owner	エントリを作成した人の名前を入力します。

Event

☐ Alarm
☒ Event

Index (1-65535)

Type

Description

Owner

表示	説明
Index	エントリの索引をします。
Type	<p>開始するイベントのタイプを指定します。</p> <p>Log : イベントがトリガされた時に RMON ログエントリを生成します。</p> <p>Trap : 構成されたすべてのトラップマネージャーにトラップメッセージを送信します。</p> <p>Log and Trap : イベントを記録し、トラップメッセージを送信します。</p>
Community	SNMPv1 または v2 ホストにトラップ操作とともに送信されるパスワードのようなコミュニティストリングを設定します。
Description	イベントを説明するコメントを記入します。
Owner	エントリを作成した人の名前を入力します。

- **Step: 1. Configure Global – Action: Show**

Step: 1. Configure Global Action: Show

☒ Alarm ☐ Event

RMON Alarm List Total: 28 1 2 3

<input type="checkbox"/>	Index	Status	Variable	Interval	Type	Last Value	Rising Threshold	Rising Event Index	Falling Threshold	Falling Event Index	Owner
<input type="checkbox"/>	1	Valid	1.3.6.1.2.1.16.1.1.1.6.1	30	Delta	0	892800	0	446400	0	
<input type="checkbox"/>	2	Valid	1.3.6.1.2.1.16.1.1.1.6.2	30	Delta	0	892800	0	446400	0	
<input type="checkbox"/>	3	Valid	1.3.6.1.2.1.16.1.1.1.6.3	30	Delta	0	892800	0	446400	0	
<input type="checkbox"/>	4	Valid	1.3.6.1.2.1.16.1.1.1.6.4	30	Delta	0	892800	0	446400	0	
<input type="checkbox"/>	5	Valid	1.3.6.1.2.1.16.1.1.1.6.5	30	Delta	0	892800	0	446400	0	

表示	説明
RMON List	設定済みの RMON アラームまたはイベントを表示します。

- **Step: 2. Configure Interface – Action: Show**

Step: 2. Configure Interface Action: Show

☒ History ☐ Statistics

Port 1

RMON History Port List Total: 2

<input type="checkbox"/>	Index	Status	Interval	Requested Buckets	Granted Buckets	Owner
<input type="checkbox"/>	1	Valid	1800	50	8	
<input type="checkbox"/>	2	Valid	30	50	8	

表示	説明
RMON Port List	設定済みの RMON 履歴または統計サンプルを表示します。

- **Step: 2. Configure Interface – Action: Add**

History Statistics

Step: 2. Configure Interface Action: Add

☒ History ☐ Statistics

Port 1

Index (1-65535)

Interval (1-3600) sec

Buckets (1-65535)

Owner

Step: 2. Configure Interface Action: Add

☐ History ☒ Statistics

Port 1

Index (1-65535)

Owner

表示	説明
Port	ポート番号を選択します。
Index	エントリのインデックスを設定します。
Interval	ポーリング間隔を設定します。
Buckets	エントリに要求されたバケツの数を設定します。
Owner	エントリを作成した人の名前を入力します。

- **Step: 2. Configure Interface – Action: Show Details**

History

Step: 2. Configure Interface ▼ Action: Show Details ▼

☒ History ☐ Statistics

Port 1 ▼

RMON History Details Port List Total: 16 1 2

History Index	Sample Index	Interval Start	Octets	Packets	Broadcast Packets	Multicast Packets	Undersize Packets	Oversize Packets	Fragments	Jabbers	CRC Align Errors	Collisions	Drop Events	Network Utilization
1	4	01:30:01	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	5	02:00:01	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	6	02:30:01	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表示	説明
Port	ポート番号を選択します。
RMON History Details Port List	収集された RMON 履歴サンプルを表示します。

Statistics

☐ History ☒ Statistics

Port 1 ▼

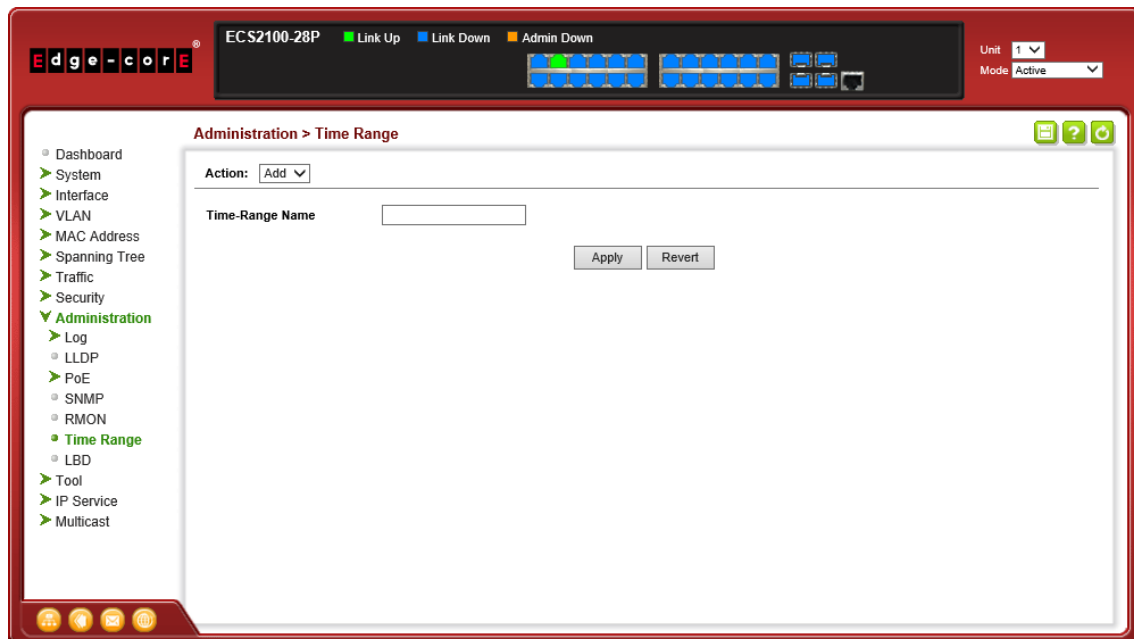
RMON Statistics Port Details

Received Octets	0	Collisions	0
Received Packets	0	Drop Events	0
Broadcast Packets	0	Frames of 64 Octets	0
Multicast Packets	0	Frames of 65 to 127 Octets	0
Undersize Packets	0	Frames of 128 to 255 Octets	0
Oversize Packets	0	Frames of 256 to 511 Octets	0
CRC Align Errors	0	Frames of 512 to 1023 Octets	0
Jabbers	0	Frames of 1024 to 1518 Octets	0
Fragments	0		

表示	説明
Port	ポート番号を選択します。
RMON History Details Port List	収集された RMON 統計サンプルを表示します。

6.9.6. Time Range

PoE や ACL で使用する時間範囲のルールを設定します。



- **Action: Add**

時間範囲ルールの名前を設定します。

Action:	<input type="text" value="Add"/>
Time-Range Name	<input type="text"/>
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
Time-Range Name	時間範囲の名前を入力します。

- **Action: Show**

時間範囲ルールの名前を表示します。

Action:	<input type="text" value="Show"/>
Time-Range List Total: 1	
<input type="checkbox"/>	Time-Range Name
<input type="checkbox"/>	aaa
<input type="button" value="Delete"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
Time-Range List	Add で設定した時間範囲の名前を表示します。

- **Action: Add Rule**

時間範囲のルールを作成します。

Action: Add Rule ▼			
Time-Range		aaa ▼	
Mode		Absolute ▼	
<input checked="" type="checkbox"/> Start		<input checked="" type="checkbox"/> End	
Hours (0-23)	<input type="text"/>	Hours (0-23)	<input type="text"/>
Minutes (0-59)	<input type="text"/>	Minutes (0-59)	<input type="text"/>
Month	January ▼	Month	January ▼
Day	<input type="text"/>	Day	<input type="text"/>
Year (2013-2037)	<input type="text"/>	Year (2013-2037)	<input type="text"/>
		<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

Action: Add Rule ▼			
Time-Range		aaa ▼	
Mode		Periodic ▼	
Start		To	
Days of the week	Sunday ▼	Days of the week	Sunday ▼
Hours (0-23)	<input type="text"/>	Hours (0-23)	<input type="text"/>
Minutes (0-59)	<input type="text"/>	Minutes (0-59)	<input type="text"/>
		<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
Time-Range Name	設定済みの時間範囲の名前から選択します。
Mode	<p>時間の設定モードを選択します。</p> <p>Absolute : 特定の時刻または時間範囲を指定します。 開始または終了する時間、分、月、日、年を指定します。</p> <p>Periodic : 定期的な間隔を指定します。 開始または終了する曜日、時間、分を指定します。</p>

- **Action: Show Rule**

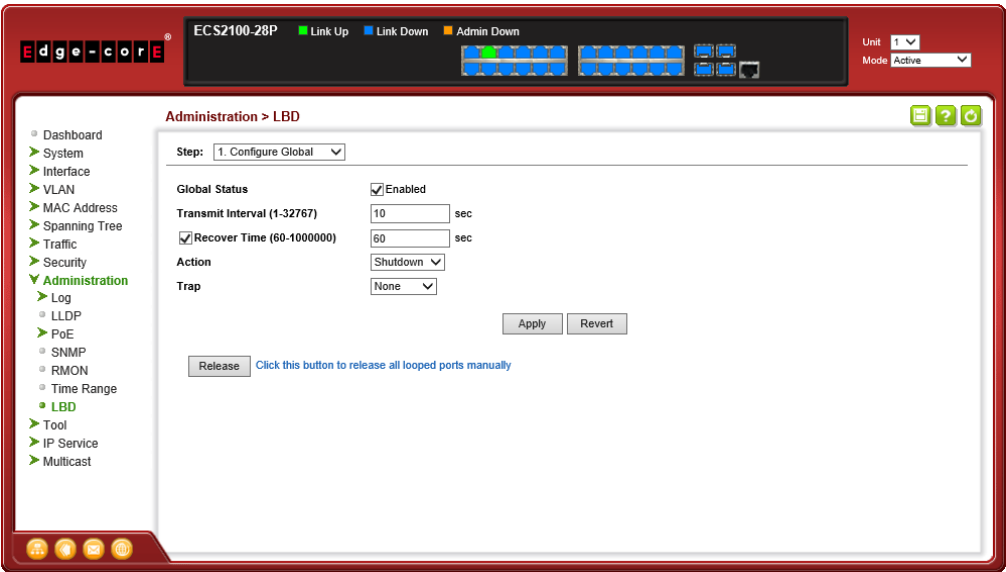
時間範囲ルールを表示します。

Action: Show Rule ▼			
Time-Range		aaa ▼	
Time-Range Rule List Total: 1			
<input type="checkbox"/>	Mode	Start	End
<input type="checkbox"/>	Periodic	Monday 09:00	Friday 18:00
		<input type="button" value="Delete"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
Time-Range Name	設定済みの時間範囲の名前から選択します。
Time-Range Rule List	Add Rule で設定したモードや開始・終了時間を表示します。

6.9.7. LBD

ループバック検出の設定を行います。



● Step: 1. Configure Global

ループバック検出の基本設定を行います。

Step: 1. Configure Global

Global Status ☒ Enabled

Transmit Interval (1-32767) 10 sec

☒ Recover Time (60-1000000) 60 sec

Action Shutdown

Trap None

Apply Revert

Release [Click this button to release all looped ports manually](#)

表示	説明dv
Global Status	スイッチ上でループバック検出を有効にします。
Transmit Interval	ループバック検出制御フレームを送信する間隔を指定します。
Recover Time	ストーム検出によるポートシャットダウンが行われた後、何秒後にポートを復帰させるのか設定します。
Action	ループバックが検出されたときに、スイッチが行う保護動作を指定します。
Trap	ループバック検出、または回復した時に SNMP トラップを送信します。 Both : ループバック検出、回復時に SNMP トラップを送信します。 Detect : ループバック検出時に SNMP トラップを送信します。 None : SNMP トラップを送信しません。 Recover : ループバック回復時に SNMP トラップを送信します。
Release	ループバックにより現在シャットダウンしているポートを回復します。

● **Step: 2. Configure Interface**

ポート毎にループバック検出の設定を行います。

Step: 2. Configure Interface

Interface

☒ Port ☐ Trunk

Port List

Total: 28

1

2

3

Port	Admin State	Operation State	Looped VLAN
1	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	Normal	None
2	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	Normal	None
3	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	Normal	None
4	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	Normal	None
5	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	Normal	None
6	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	Normal	None
7	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	Normal	None
8	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	Normal	None
9	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	Normal	None
10	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled	Normal	None

Apply

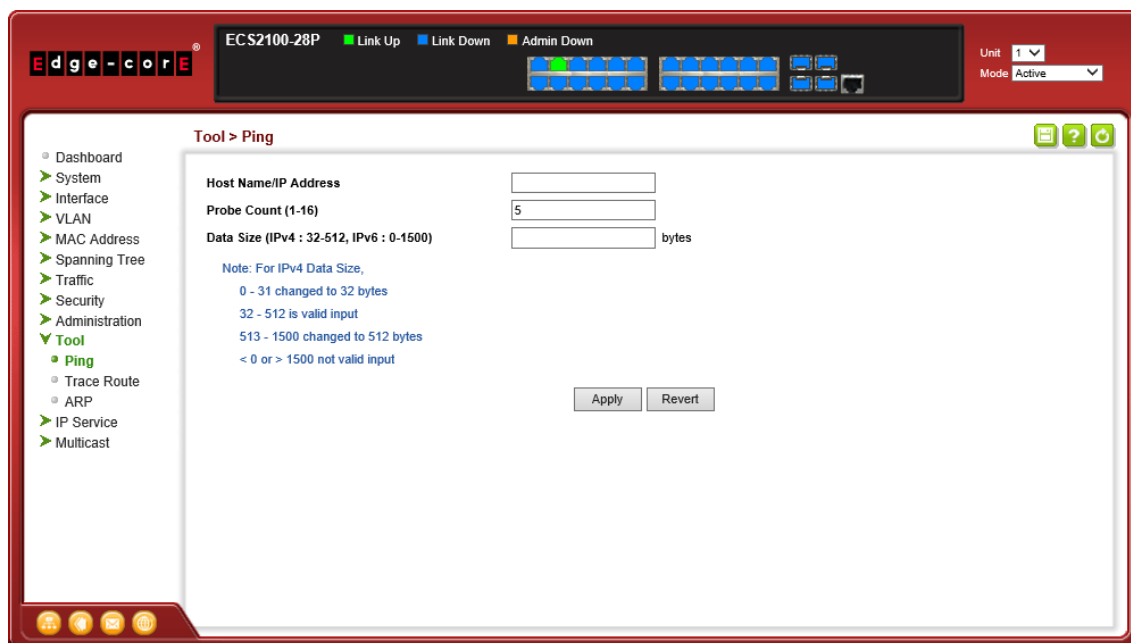
Revert

表示	説明
Interface	Port または Trunk を選択します。
Admin State	ポート毎にループバック検出を有効または無効にします。

6.10. Tool

6.10.1. Ping

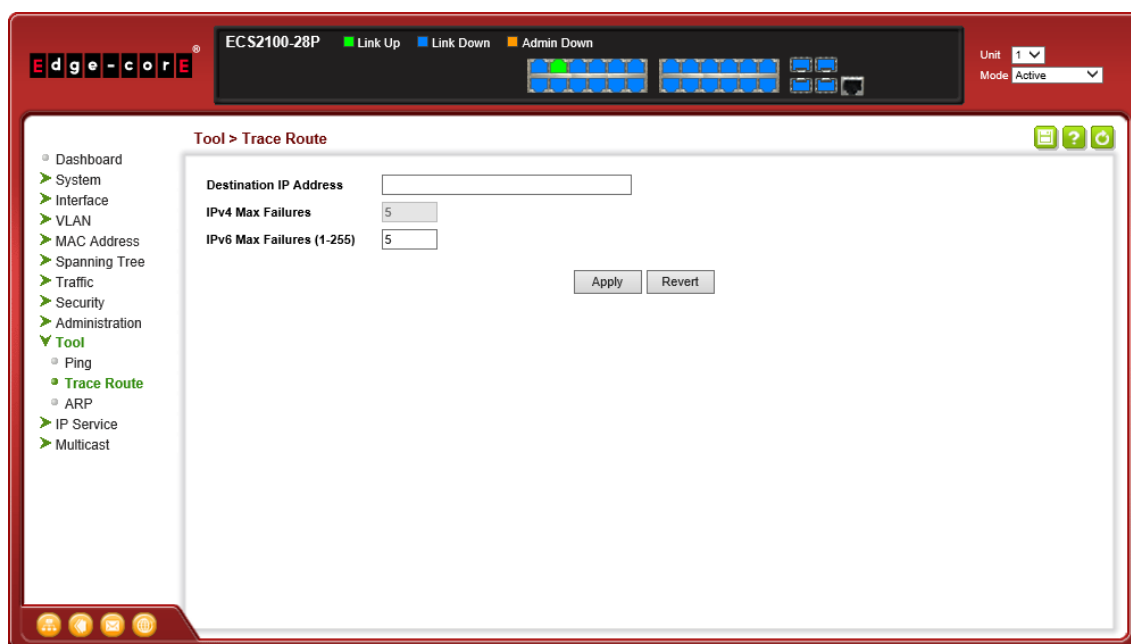
指定した宛先ホストに向けて Ping を行います。



表示	説明
Host Name/IP Address	ホストの別名または IPv4/IPv6 アドレスを入力します。
Probe Count	送信するパケット数を指定します。
Data Size	パケット内のバイト数を指定します。

6.10.2. Trace Route

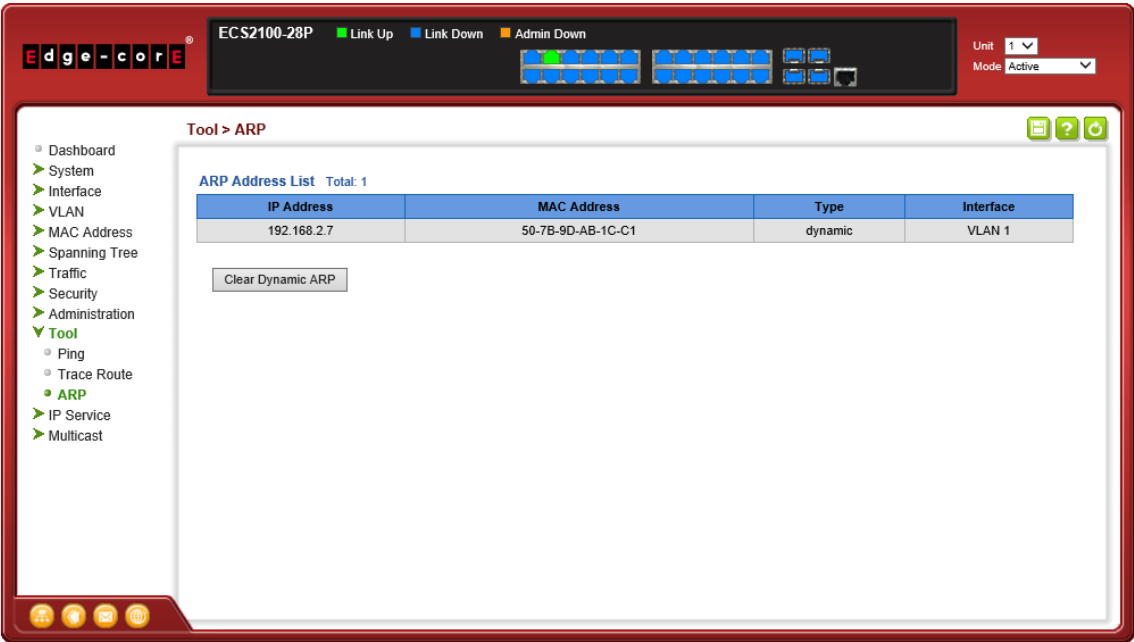
トレースルートを行います。



表示	説明
Destination IP Address	ホストの別名または IPv4/IPv6 アドレスを入力します。
IPv4 Max Failures	Destination IP Address で IPv4 アドレスを入力した時、トレースルートが終了するまでの最大失敗回数を指定します。(5 で固定)
IPv6 Max Failures	Destination IP Address で IPv6 アドレスを入力した時、トレースルートが終了するまでの最大失敗回数を指定します。

6.10.3. ARP

ARP テーブルの確認を行います。



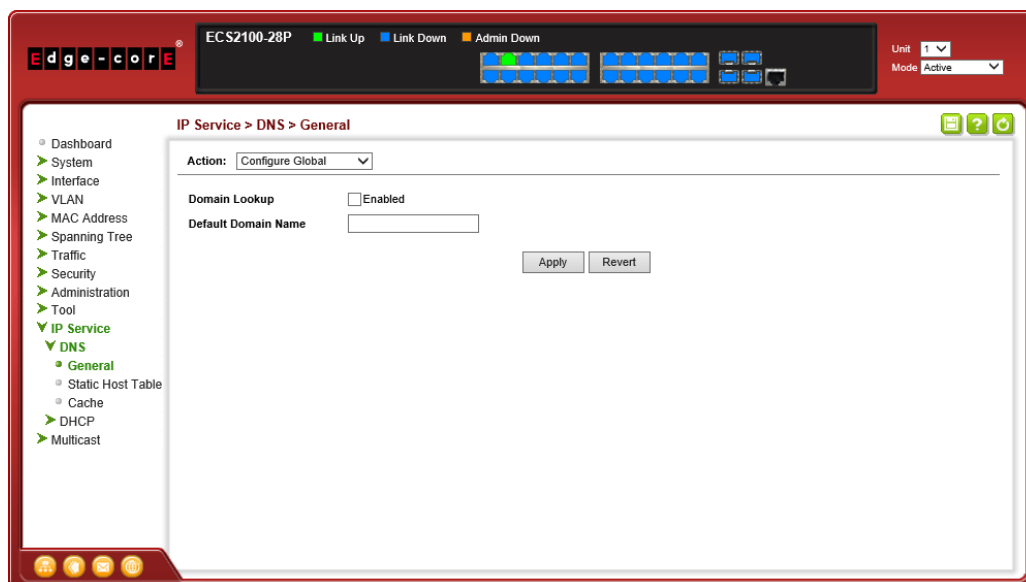
表示	説明
ARP Address List	ARP アドレスのリストを表示します。
Clear Dynamic ARP	ARP 内のすべての動的エントリが削除されます。

6.11. IP Service

6.11.1. DNS

6.11.1.1. General

DNS に関する設定を行います。



- **Action: Configure Global**

基本設定を行います。

Action: Configure Global ▼	
Domain Lookup	<input type="checkbox"/> Enabled
Default Domain Name	<input type="text"/>
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
Domain Lookup	有効の場合、DNS ホスト名からアドレスへの変換を行います。
Default Domain Name	デフォルトの DNS サフィックスを定義します。 ユーザがドメイン名を省略した場合に補完するドメイン名です。 ※ ホスト名とドメイン名を区切る最初のドットを含まないでください。

- **Action: Add Domain Name**

DNS サフィックスの追加を行います。

Action:	Add Domain Name ▼
Domain Name	<input type="text"/>
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
Domain Name	ホスト名を入力します。 ※ ホスト名とドメイン名を区切る最初のドットを含まないでください。

- **Action: Show Domain Names**

Action:	Show Domain Names ▼
Domain Name List Total: 0	
Domain Name	

表示	説明
Domain Name List	ドメイン名リストを表示します。

- **Action: Add Name Server**

名前解決に使用する DNS サーバの追加を行います。

Action:	Add Name Server ▼
Name Server IP Address	<input type="text"/>
<input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/>	

表示	説明
Name Server IP Address	名前からアドレスへの解決に使用する、DNS サーバの IPv4 または IPv6 アドレスを指定します。

- **Action: Show Name Servers**

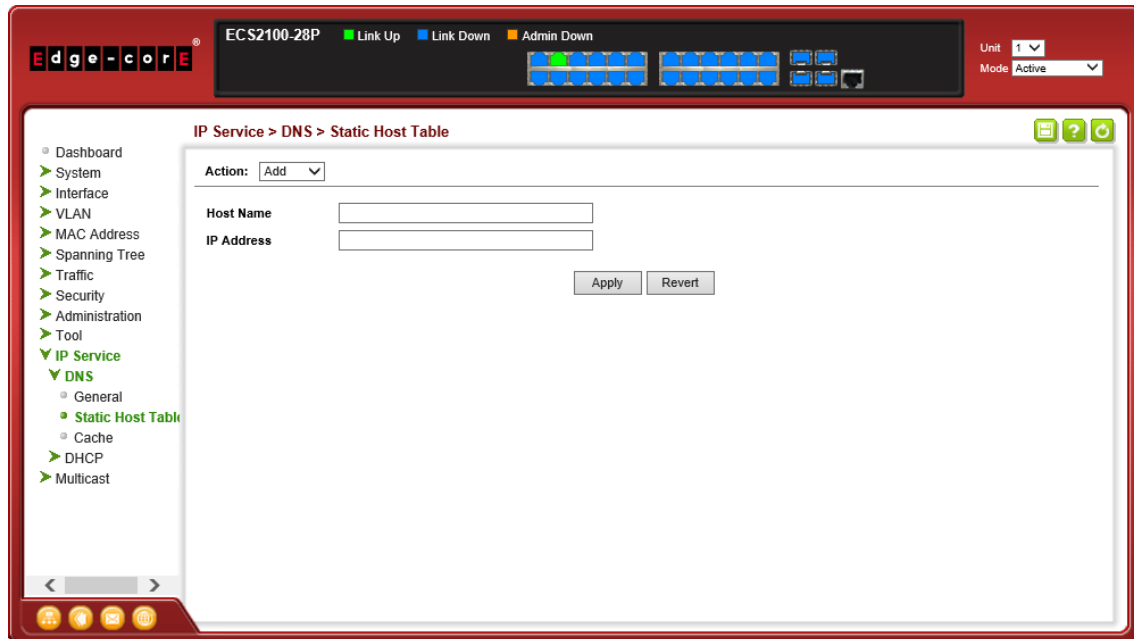
名前解決に使用する DNS サーバの一覧を表示します。

Action:	Show Name Servers ▼
Name Server IP Address List Total: 0	
Name Server IP Address	

表示	説明
Name Server IP Address List	ネームサーバの IP アドレスリストを表示します。 最大 6 つまで登録することができます。

6.11.1.2. Static Host Table

静的 DNS レコードの登録を行います。



- **Action: Add/Modify**

静的 DNS レコードの登録を行います。

Action: Add ▼	Action: Modify ▼
Host Name <input type="text"/>	Host Name <input type="text" value="name"/>
IP Address <input type="text"/>	IP Address <input type="text" value="192.168.2.20"/>

表示	説明
Host Name	IP アドレスにマップされるホストデバイスの名前を設定します。
IP Address	ホスト名に関連付けられた IPv4 または IPv6 アドレスを指定します。

- **Action: Show**

登録済みの静的 DNS レコードを表示します。

Action: Show ▼		
IP Address List Total: 1		
<input type="checkbox"/>	Host	IP Address
<input type="checkbox"/>	name	192.168.2.20
<input type="button" value="Delete"/> <input type="button" value="Revert"/>		

表示	説明
IP Address List	ホスト名に関連付けられた IP アドレスを表示します。

6.11.1.3. Cache

DNS のキャッシュ情報を表示します。

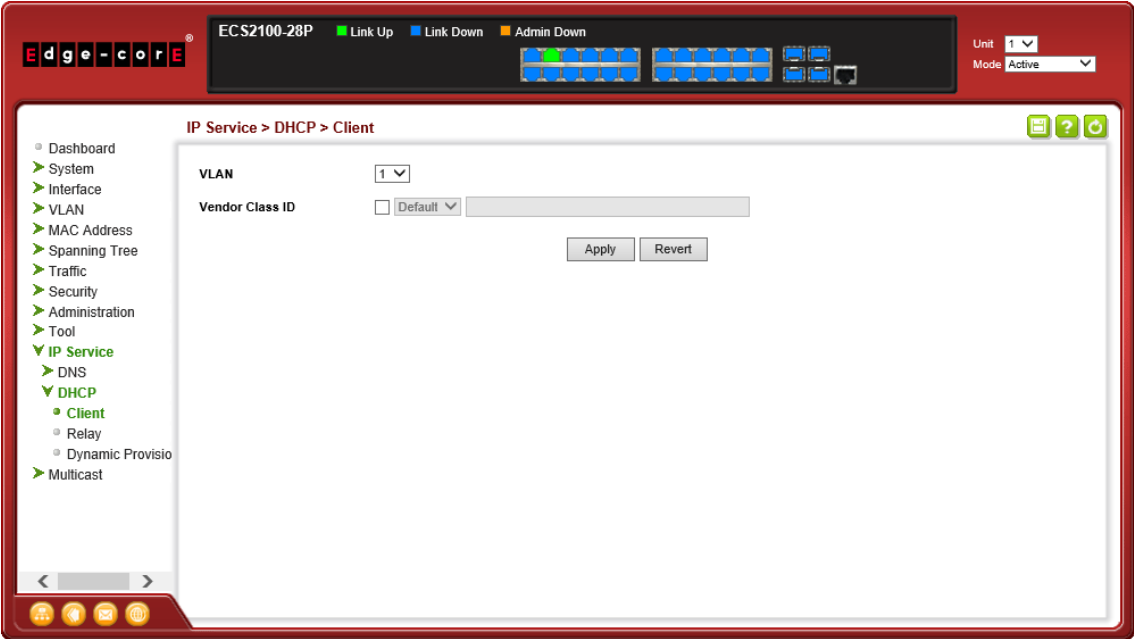


表示	説明
Cache Information	キャッシュ情報を表示します。

6.11.2. DHCP

6.11.2.1. Client

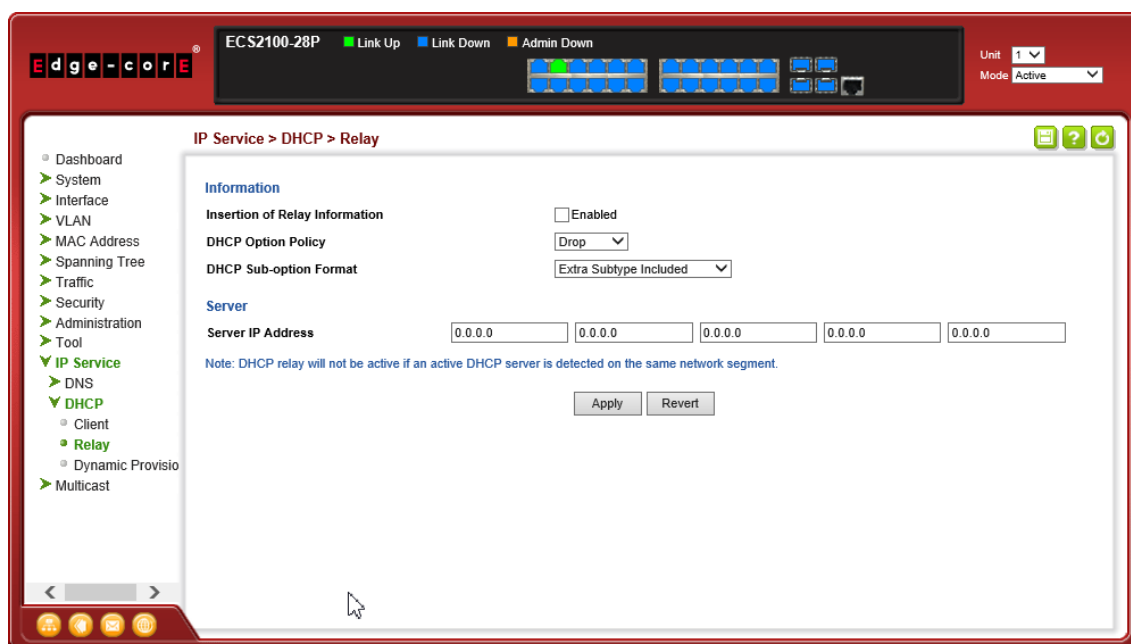
DHCP クライアントの設定を行います。



表示	説明
VLAN	VLAN ID を選択します。
Vendor Class ID	<p>ベンダークラス ID を設定します。この機能を有効にする場合は、チェックボックスをオンにします。</p> <p>Default : デフォルトの文字列はモデル番号です。</p> <p>Text : テキスト文字列を入力します。</p> <p>Hex : 16 進数数値を入力します。</p>

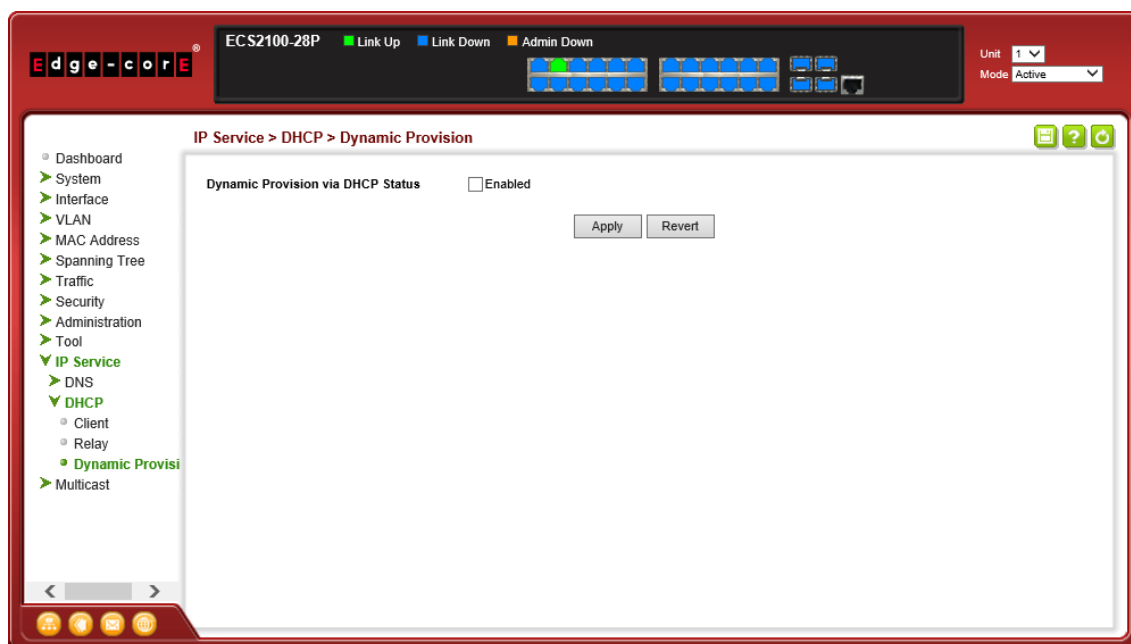
6.11.2.2. Relay

DHCP リレーの設定を行います。



表示	説明
Insertion of Relay Information	DHCP Option 82 情報の挿入の有効/無効を選択します。
DHCP Option Policy	DHCP Option 82 情報をすでに含むクライアント要求に対しての動作を選択します。
DHCP Sub-option Format	パケットに回線 ID(CID)とリモート ID(RID)を付加するかどうかを選択します。
Server IP Address	DHCP サーバの IP アドレスを入力します。

6.11.2.3. Dynamic Provision



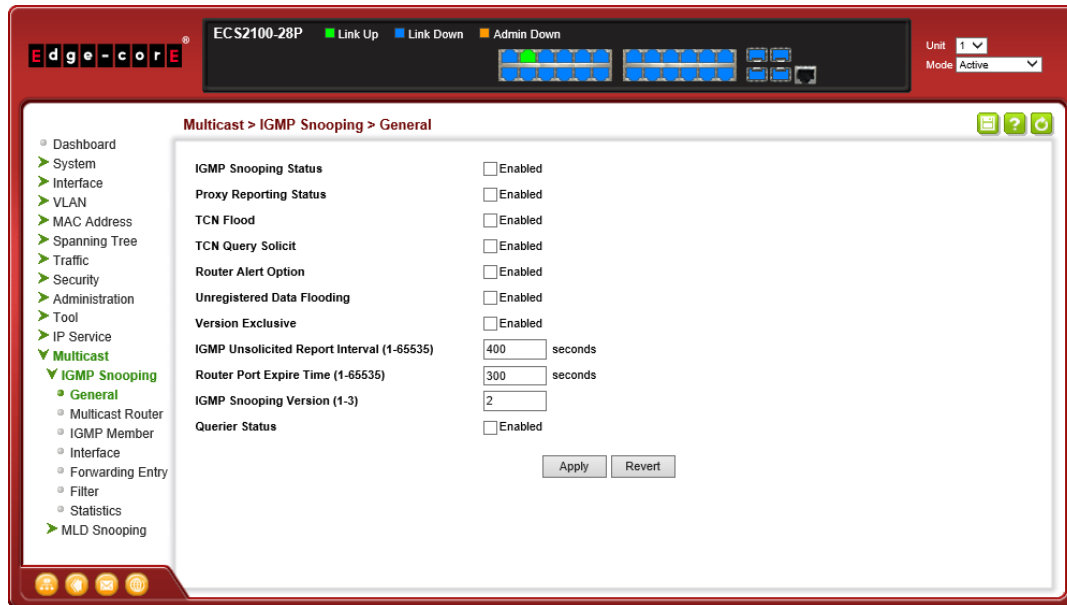
表示	説明
Dynamic Provision Via DHCP Status	DHCP による動的な供給を可能にします。

6.12. Multicast

6.12.1. IGMP Snooping

6.12.1.1. General

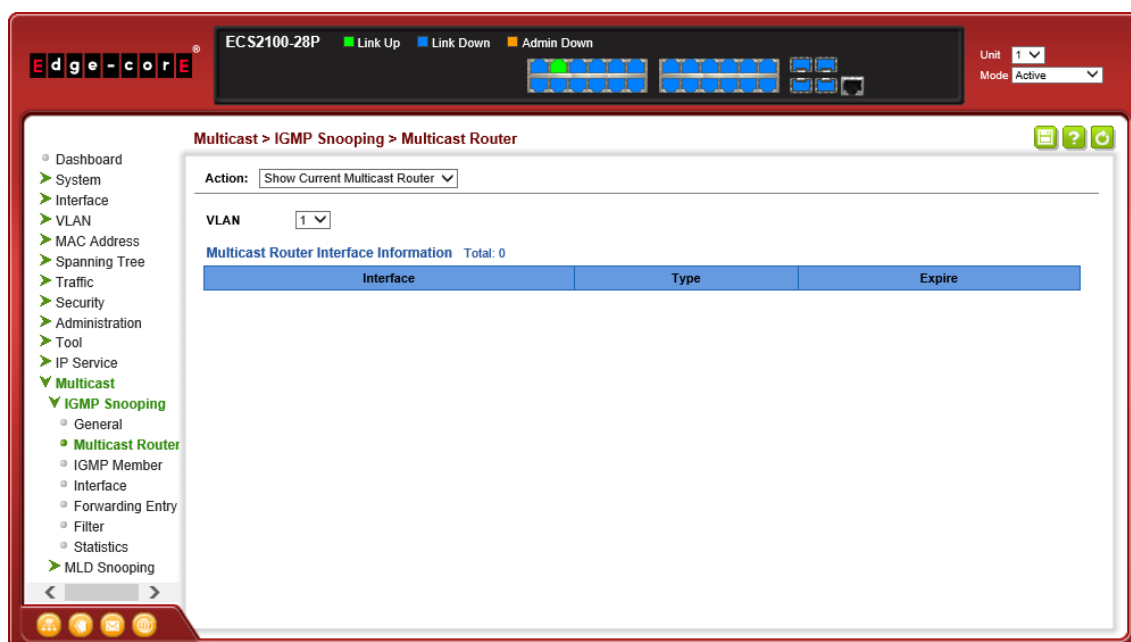
IGMP スヌーピングの基本設定を行います。



表示	説明
IGMP Snooping Status	有効の場合、どのホストが Multicast Traffic を受信するか決定します。
Proxy Reporting Status	プロキシレポートで IGMP スヌーピングを有効にします。
TCN Flood	スパニングツリートポロジ変更通知 (TCN) が発生した場合の Multicast Traffic のフラッティングをします。
TCN Query Solicit	スパニングツリートポロジ変更通知が発生した時、IGMP 一般クエリ要求を送信します。
Router Alert Option	ルータアラートオプションを含まない IGMPv2/v3 パケットを破棄します。
Unregistered Data Flooding	接続されていない Multicast Traffic が接続された VLAN に侵入します。
Version Exclusive	現在設定されているバージョンとは異なるバージョンを使用し、受信した IGMP メッセージを破棄します。
IGMP Unsolicited Report Interval	Proxy Reporting が有効の場合、アップストリームインタフェースが任意の IGMP レポートを送信する頻度を設定します。
Router Port Expire Time	前回のクエリアが停止してから、スイッチが期限切れになるまで待つ時間を設定します。
IGMP Snooping Version	ネットワーク上の他のデバイスとの互換性のため、プロトコルバージョンを設定します。
Querier Status	有効にすると、スイッチはクエリアとして機能します。

6.12.1.2. Multicast Router

マルチキャストルータに関する設定を行います。



- **Action: Add Static Multicast Router**

マルチキャストルータポートを設定します。

Action: Add Static Multicast Router

VLAN: 1

Interface: ☒ Port 1 ☐ Trunk

Apply Revert

表示	説明
VLAN	接続されたマルチキャストルータからのすべての Multicast Traffic を伝播する VLAN を選択します。
Interface	マルチキャストルータに接続されているインタフェースを指定します。

- **Action: Show Static Multicast Router**

マルチキャストルータポートを表示します。

Action:	Show Static Multicast Router ▼
VLAN	1 ▼
Static Multicast Router Interface List Total: 0	
Interface	

表示	説明
VLAN	設定済みの Static マルチキャストルータを選択します。
Static Multicast Router Interface Information	スタティックマルチキャストルータに接続しているインタフェースを表示します。

- **Action: Show Current Multicast Router**

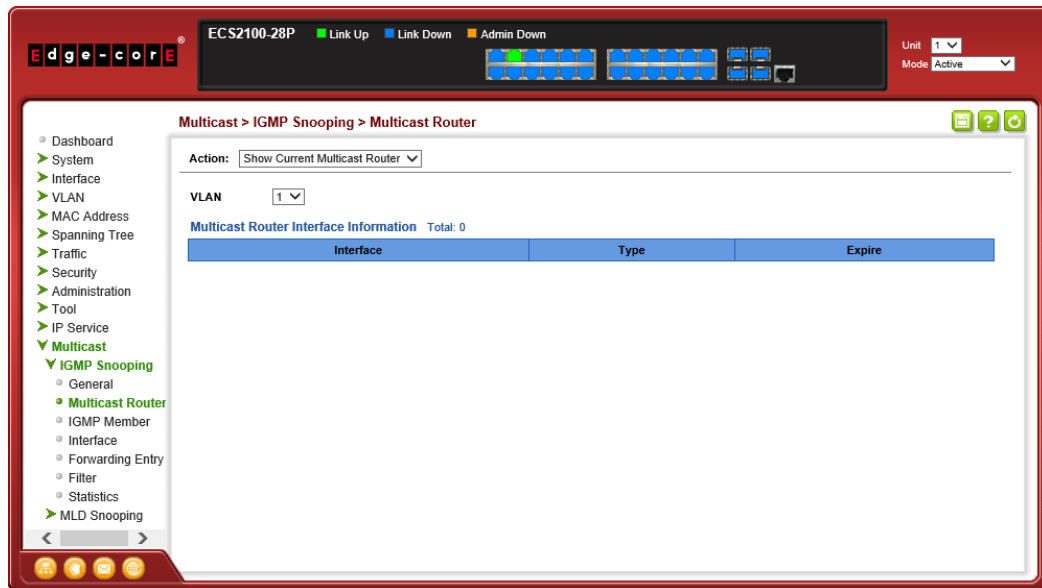
現在アクティブなマルチキャストルータポートを表示します。

Action:	Show Current Multicast Router ▼	
VLAN	1 ▼	
Multicast Router Interface Information Total: 0		
Interface	Type	Expire

表示	説明
VLAN	アクティブなマルチキャストルータを表示する VLAN を選択します。
Multicast Router Interface Information	インタフェースやエントリのタイプ、エントリが期限切れになるまでの時間が表示されます。

6.12.1.3. IGMP Member

マルチキャストサービスの IP アドレスを静的に登録します。



- **Action: Add Static Member**

マルチキャストサービスの IP アドレスを登録します。

Action: Add Static Member

VLAN: 1

Interface: ☒ Port 1 ☐ Trunk

Multicast IP:

Apply Revert

表示	説明
VLAN	マルチキャストサービスを伝播する VLAN を指定します。
Interface	マルチキャストグループに割り当てるインタフェースを指定します。
Multicast IP	特定のマルチキャストサービスの IP アドレスを設定します。

- **Action: Show Static Member**

登録したマルチキャストサービスの IP アドレスを表示します。

Action: Show Static Member

VLAN: 1

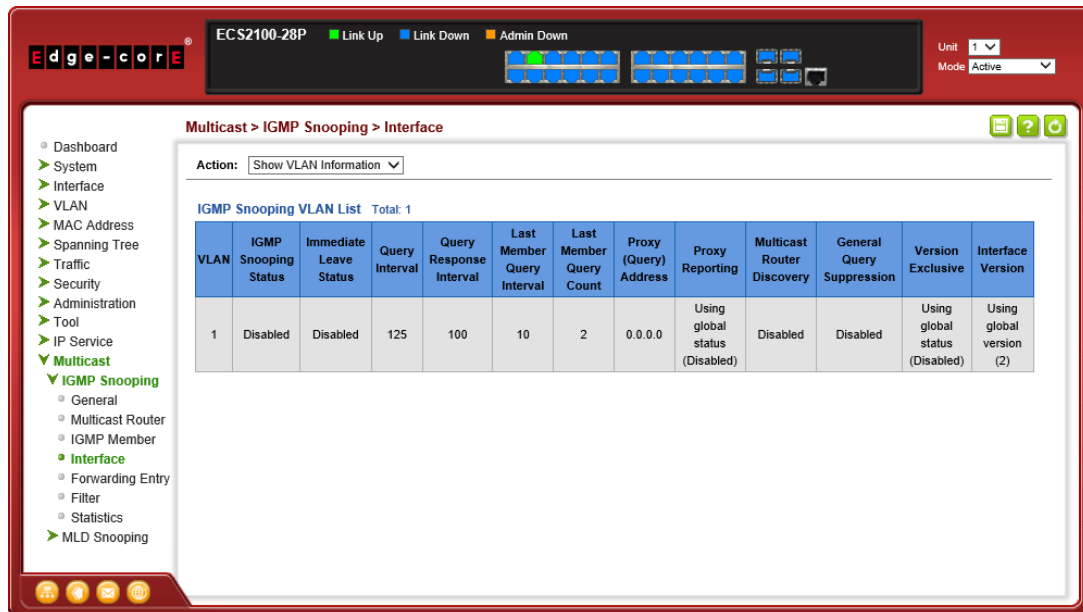
IGMP Member Interface List Total: 0

Interface	Multicast IP
-----------	--------------

表示	説明
VLAN	アクティブなマルチキャストサービスの表示する VLAN を選択します。
IGMP Member Interface Information	インタフェース、マルチキャストサービスの IP ドレスを表示します。

6.12.1.4. Interface

VLAN インタフェースまたはポート毎に IGMP の設定を行います。



- **Action:** Show VLAN Information

VLAN 毎の IGMP の情報を表示します。

Action: Show VLAN Information												
IGMP Snooping VLAN List Total: 1												
VLAN	IGMP Snooping Status	Immediate Leave Status	Query Interval	Query Response Interval	Last Member Query Interval	Last Member Query Count	Proxy (Query) Address	Proxy Reporting	Multicast Router Discovery	General Query Suppression	Version Exclusive	Interface Version
1	Disabled	Disabled	125	100	10	2	0.0.0.0	Using global status (Disabled)	Disabled	Disabled	Using global status (Disabled)	Using global version (2)

- **Action:** Configure Interface

ポート毎に IGMP の設定を行います。

Action: Configure Interface		
Interface	<input checked="" type="radio"/> Port	<input type="radio"/> Trunk
Port List Total: 28		
Port	IGMP Query Drop	Multicast Data Drop
1	<input type="checkbox"/> Enabled	<input type="checkbox"/> Enabled
2	<input type="checkbox"/> Enabled	<input type="checkbox"/> Enabled
3	<input type="checkbox"/> Enabled	<input type="checkbox"/> Enabled

表示	説明
Interface	Port または Trunk を選択します。
IGMP Query Drop	IGMP クエリパケットをドロップするようにインタフェースを設定します。
Multicast Data Drop	マルチキャストサービスが、ダウンストリームポートに接続されたユーザに接続されないようにするためのインタフェースを設定します。

- **Action: Configure VLAN**

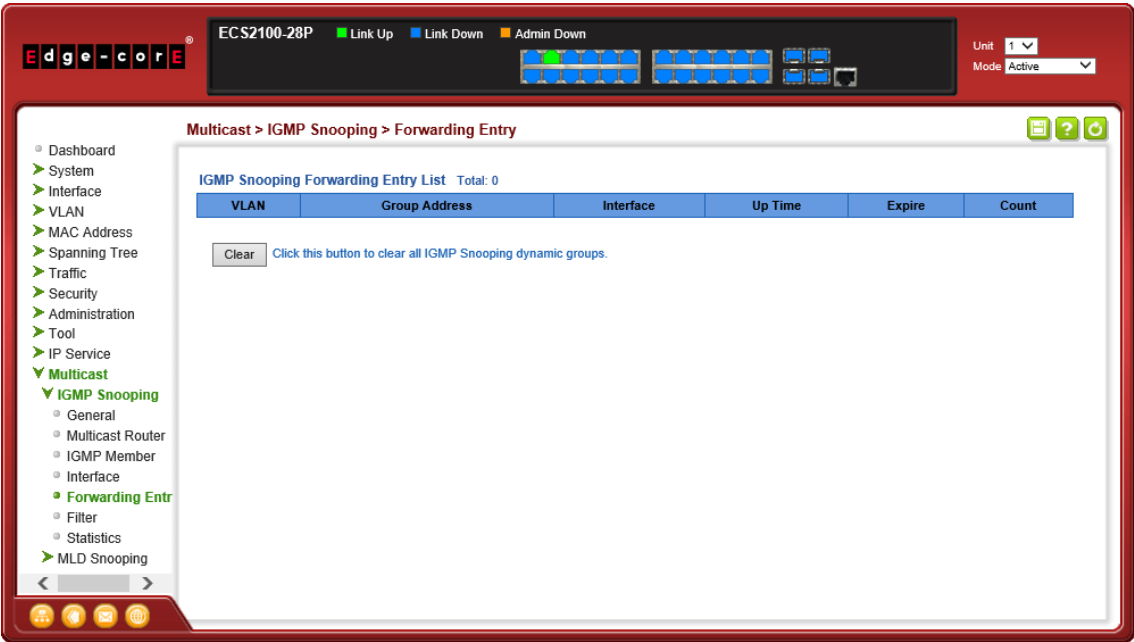
VLAN 毎に IGMP の設定を行います。

Action: Configure VLAN	
VLAN	1
IGMP Snooping Status	<input type="checkbox"/> Enabled
Version Exclusive	Using Global Status
Immediate Leave Status	<input type="checkbox"/> Enabled By-Group
Multicast Router Discovery	<input type="checkbox"/> Enabled
General Query Suppression	<input type="checkbox"/> Enabled
Proxy Reporting	Using Global Status
Interface Version	Using Global Version
Query Interval (2-31744)	125 seconds
Query Response Interval (10-31740)	100 (1/10 seconds, multiple of 10)
Last Member Query Interval (1-31744)	10 (1/10 seconds, multiple of 10)
Last Member Query Count (1-255)	2
Proxy (Query) Address	0.0.0.0
Apply Revert	

表示	説明
VLAN	設定済みの VLAN ID を選択します。
IGMP Snooping Status	有効の場合、どのホストが Multicast Traffic を受信するか判別します。
Version Exclusive	現在設定されているバージョンとは異なるバージョンを使用し、受信した IGMP メッセージを破棄します。
Immediate Leave Status	有効の場合、マルチキャストサービスのメンバーポートを削除すると leave パケットが受信され、即座に削除します。
Multicast Router Discovery	マルチキャストルータに接続されているインタフェースを検出するために使用されます。
General Query Suppression	一般的なクエリを制御します。
Proxy Reporting	プロキシレポートで IGMP スヌーピングを有効または無効にします。
Interface Version	他のデバイスとの互換性のためプロトコルバージョンを設定します。
Query Interval	IGMP 一般クエリを送信する間隔を設定します。
Query Response Interval	システムが一般クエリへの応答を待つ最大時間を設定します。
Last Member Query Interval	グループ固有またはグループおよびソース固有のクエリメッセージへの応答を待機する間隔を設定します。
Last Member Query Count	クエリメッセージの数を設定します。
Proxy (Query) Address	IGMP プロキシレポートで使用されるローカルに生成されたクエリおよびレポートメッセージの静的送信元アドレスを入力します。

6.12.1.5. Forwarding Entry

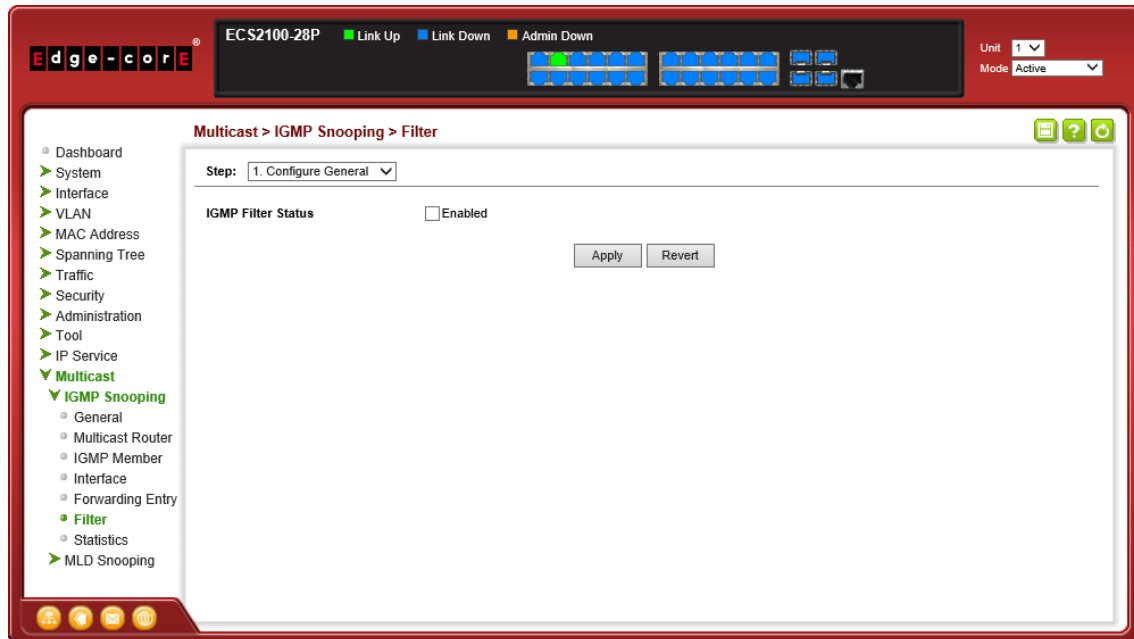
IGMP テーブルを表示します。



表示	説明
IGMP Snooping Forwarding Entry List	IGMP テーブルを表示します。

6.12.1.6. Filter

マルチキャストフィルタの設定を行います。



- **Step: 1. Configure General**

基本設定を行います。

Step: 1. Configure General
IGMP Filter Status <input type="checkbox"/> Enabled
Apply Revert

表示	説明
IGMP Filter Status	スイッチの IGMP フィルタリングとスロットルを有効または無効にします。

- **Step: 2. Configure Profile – Action: Add**

フィルタリングプロファイルの作成を行います。

Step: 2. Configure Profile	Action: Add
Profile ID (1-4294967295)	<input type="text"/>
Access Mode	Deny
Apply Revert	

表示	説明
Profile ID	フィルタリングプロファイルを作成します。
Access Mode	プロファイルのアクセスモード(許可または拒否)を設定します。

- **Step: 2. Configure Profile – Action: Show**

フィルタリングプロファイルを表示します。

Step:	2. Configure Profile	Action:	Show
IGMP Snooping Filter Profile List Total: 1			
<input type="checkbox"/>	Profile ID	Action Mode	
<input type="checkbox"/>	1	Deny	
<div style="text-align: right;"> <input type="button" value="Delete"/> <input type="button" value="Revert"/> </div>			

表示	説明
IGMP Snooping Filter Profile List	Add で設定したプロファイル ID、アクセスモードを表示します。

- **Step: 2. Configure Profile – Action: Add Multicast Group Range**

フィルタリングプロファイルにてフィルタリングするマルチキャストアドレスを指定します。

Step:	2. Configure Profile	Action:	Add Multicast Group Range
Profile ID <input type="text" value="1"/>			
Start Multicast IP Address <input type="text"/>			
End Multicast IP Address <input type="text"/>			
<div style="text-align: right;"> <input type="button" value="Apply"/> <input type="button" value="Revert"/> </div>			

表示	説明
Profile ID	設定する IGMP プロファイルを選択します。
Start/End Multicast IP Address	範囲の開始/終了のアドレスを指定します。

- **Step: 2. Configure Profile – Action: Show Multicast Group Range**

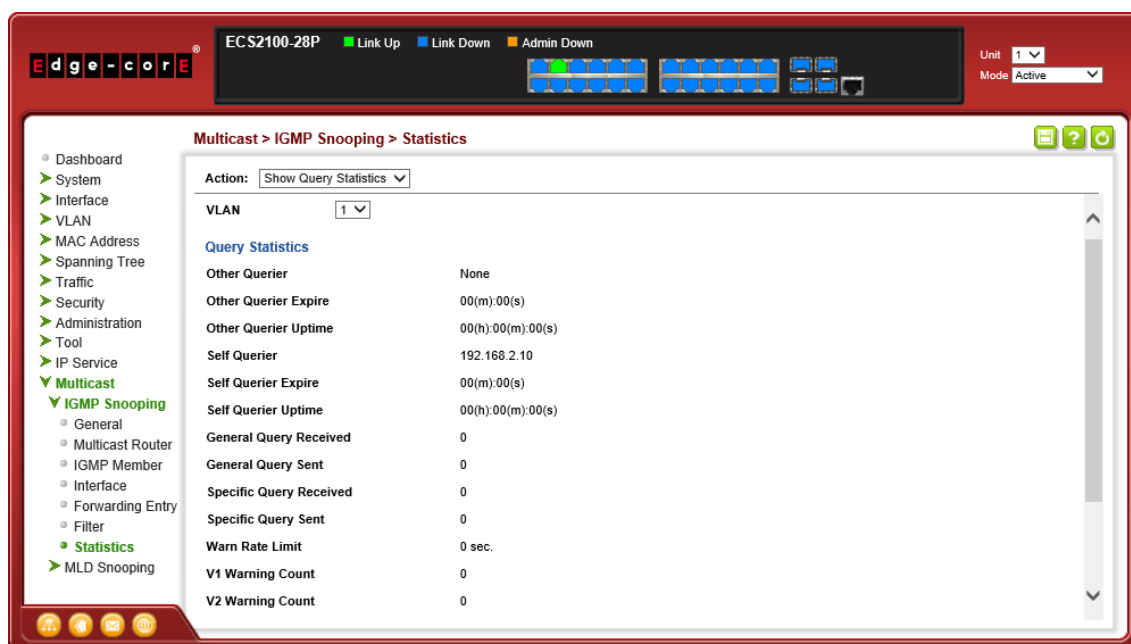
フィルタリングプロファイルに登録したマルチキャストアドレスを表示します。

Step:	2. Configure Profile	Action:	Show Multicast Group Range
Profile ID <input type="text" value="1"/>			
Multicast IP Address Range List Total: 0			
Start Multicast IP Address		End Multicast IP Address	

表示	説明
Profile ID	プロファイル ID を指定します。
Multicast IP Address Range List	Add Multicast Group Range で設定したアドレスの範囲を表示します。

6.12.1.7. Statistics

IGMP の統計情報を表示します。

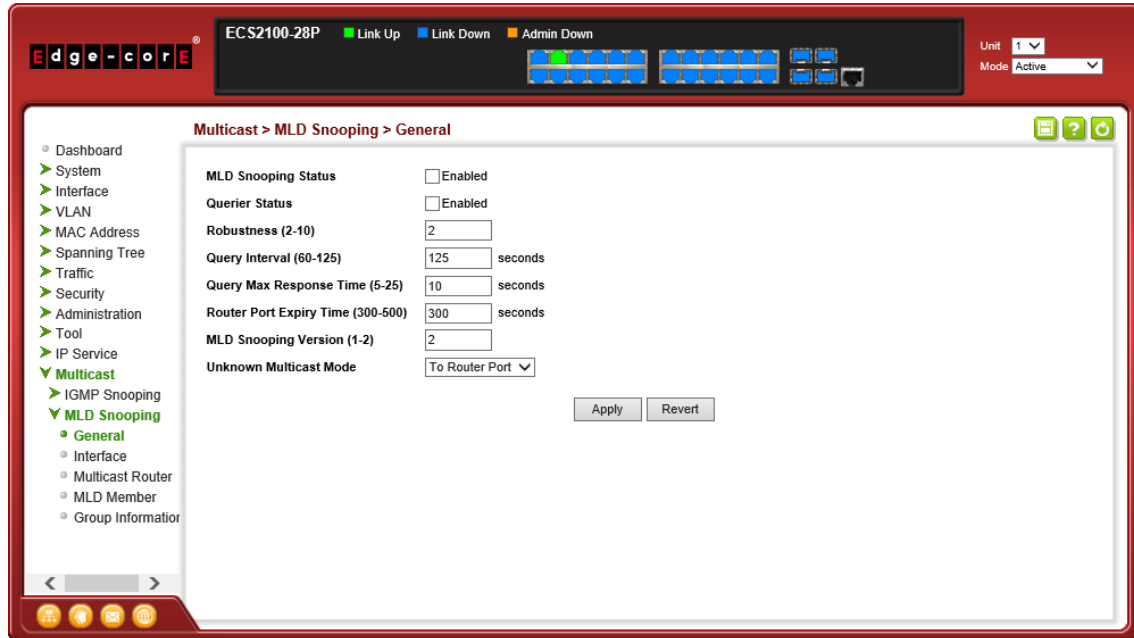


表示	説明
Show Query Statistics	クエリ統計情報を表示します。
Show VLAN Statistics	VLLAN 統計情報を表示します。
Show Port Statistics	ポート統計情報を表示します。
Show Trunk Statistics	トランク統計情報を表示します。

6.12.2. MLD Snooping

6.12.2.1. General

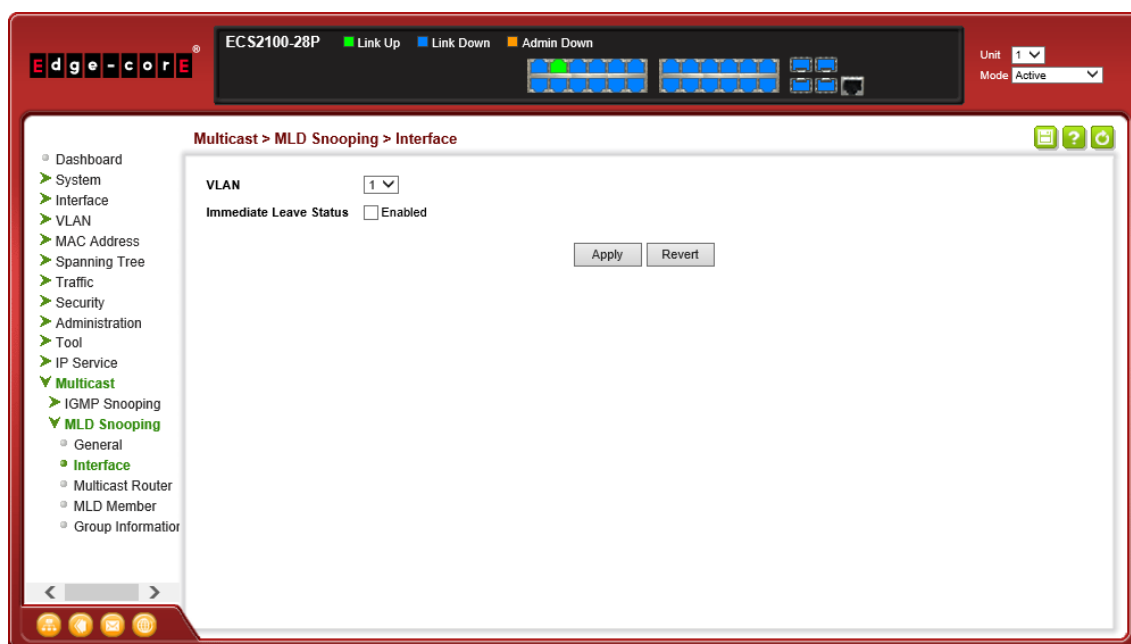
MLD スヌーピングの基本設定を行います。



表示	説明
MLD Snooping Status	有効の場合、どのホストが Multicast Traffic を受信するか決定します。
Querier Status	スイッチは MLDv2 スヌーピングのクエリアとして選択できます。
Robustness	MLD スヌーピングロバストネス変数を設定します。
Query Interval	MLD 一般クエリを送信する間隔を設定します。
Query Max Response Time	MLD 一般クエリで通知される最大応答時間を設定します。
Router Port Expiry Time	前回のクエリアが停止してから、スイッチのルータポート(クエリパケットを受信していたインタフェース)が期限切れになるまで待つ時間を設定します。
MLD Snooping Version	ネットワーク上の他のデバイスとの互換性のために使用されるプロトコルバージョンを設定します。
Unknown Multicast Mode	不明マルチキャストパケットを処理するためのアクションを設定します。 Flood : VLAN 内のすべてのポートにフラッディングします。 To Router Port : 検出されたマルチキャストルータに接続されているポートに、ホストから要求されていない受信した IPv6 マルチキャストパケットを転送します。

6.12.2.2. Interface

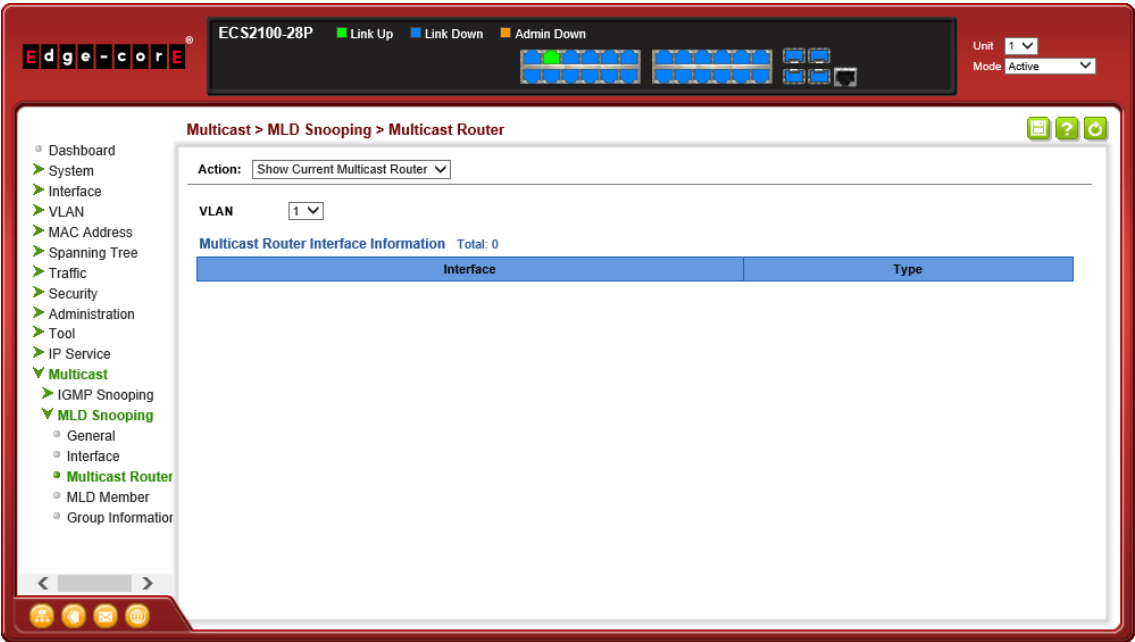
VLAN 毎に MLD Snooping の設定を行います。



表示	説明
VLAN	VLAN 番号を選択します。
Immediate Leave Status	有効の場合、そのポートで leave パケットが受信され、IPv6 マルチキャストメンバーを即座に削除します。

6.12.2.3. Multicast Router

マルチキャストルータポートの設定を行います。



● Action: Add Static Multicast Router

マルチキャストルータポートを設定します。

Action: Add Static Multicast Router

VLAN1

Interface

Port1

Trunk

Apply

Revert

表示	説明
VLAN	接続されたマルチキャストルータからのすべての IPv6 Multicast Traffic を伝播する VLAN を選択します。
Interface	マルチキャストルータに接続されているインタフェースを指定します。

- **Action: Show Static Multicast Router**

マルチキャストルータポートを表示します。

Action: Show Static Multicast Router ▼	
VLAN	1 ▼
Static Multicast Router Interface List Total: 1	
<input type="checkbox"/>	Interface
<input type="checkbox"/>	Unit 1 / port 1
<div>Delete</div> <div>Revert</div>	

表示	説明
VLAN	VLAN を指定します。
Static Multicast Router Interface Information	Add Static Multicast Router で設定した VLAN に対するインタフェース表示します。

- **Action: Show Current Multicast Router**

現在アクティブなマルチキャストルータポートを表示します。

Action: Show Current Multicast Router ▼	
VLAN	1 ▼
Multicast Router Interface Information Total: 1	
Interface	Type
Unit 1 / Port 1	Static

表示	説明
VLAN	VLAN を指定します。
Multicast Router Interface Information	現在のマルチキャストルータを表示します。

6.12.2.4. MLD Member

MLD Member の設定を行います。



- **Action: Add Static Member**

MLD Member の追加を行います。

Action: Add Static Member

VLAN 1

Multicast IPv6 Address

Interface ☒ Port 1 ☐ Trunk

Apply Revert

表示	説明
VLAN	マルチキャストサービスを伝播する VLAN を指定します。
Multicast IPv6 Address	特定のマルチキャストサービスの IP アドレスを設定します。
Interface	マルチキャストグループに割り当てられたインタフェースを指定します。

- **Action: Show Static Member**

追加した MLD Member を表示します。

Action: Show Static Member ▼	
VLAN 1 ▼	
MLD Member Interface List Total: 0	
Multicast IPv6 Address	
Interface	

表示	説明
VLAN	VLAN を指定します。
MLD Member Interface Information	Add Static Member で設定した、マルチキャスト IP アドレスやインタフェースを表示します。

- **Action: Show Current Member**

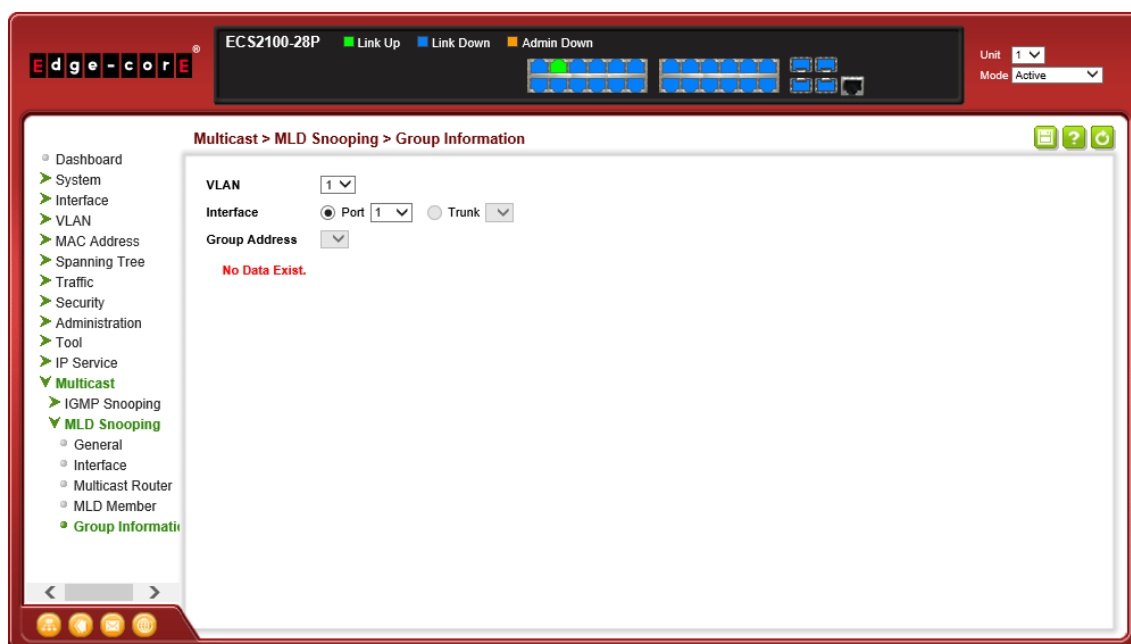
現在アクティブな MLD Member を表示します。

Action: Show Current Member ▼			
VLAN 1 ▼			
MLD Snooping Member Interface List Total: 0			
Multicast IPv6 Address		Interface	Type
<div>Clear</div> Click this button to clear all MLD Snooping dynamic groups.			

表示	説明
VLAN	VLAN を指定します。
MLD Snooping Member Interface List	現在の MLD スヌーピングのメンバーリストを表示します。

6.12.2.5. Group Information

MLD マルチキャストグループ情報を表示します。



表示	説明
VLAN	VLAN 番号を選択します。
Interface	Port または Trunk を選択します。
Group Address	特定のマルチキャストサービスの IP アドレスを選択します。

7. 製品仕様

製品名	ECS2100-10T	ECS2100-28T
規格	IEEE 802.3 10Base-T IEEE 802.3u 100Base-TX IEEE 802.3ab 1000BASE-T IEEE 802.3z 1000BASE-SX/LX(SFP) 1000BASE-ZX(Cisco Systems SFP) IEEE 802.3x Flow Control and Back Pressure IEEE 802.3ad Link Aggregation Control Protocol (LACP) IEEE 802.1d STP IEEE 802.1w RSTP IEEE 802.1s MSTP IEEE 802.1Q VLAN	
スイッチング容量	20Gbps	56Gbps
MACアドレス登録数	8K	
最大フレーム長	10Kbytes (VLAN Tag含む)	
管理機能	Console、SNMPv1,v2c,v3、TELNET、SSH、HTTP、SSL	
インタフェース	RJ-45 × 8 ポート ・10/100/1000BASE-T	RJ-45 × 24 ポート ・10/100/1000BASE-T
	SFP × 2 ポート ・1000BASE-SX/LX/ZX	SFP × 4 ポート ・1000BASE-SX/LX/ZX
	コンソール x1 ポート	
寸法	(W)196 x (H)36 x (D)117mm (突起部含まず)	(W)440 x (H)44 x (D)220mm (突起部含まず)
重量	816g	2.2kg
電源	AC 100-240V,50-60Hz	
消費電力	8W(最大)	20W(最大)
動作温度	0～50℃	
動作湿度	10～90%RH (結露なきこと)	
保存温度	-40～+70℃	
保存湿度	10～90%RH (結露なきこと)	
認定	WEEE、RoHS、CSA/CUS (CSA 22.2. NO 60950-1 & UL60950-1) CB (IEC60950-1)、FCC Class A、EN 61000-3-2/3 EN55022 (CISPR 22) Class A、VCCI Class A	

付属品	ゴム足 x 4 19インチラックマウントキット 電源ケーブル x 1
-----	--

製品名		ECS2100-10P	ECS2100-28P
規格		IEEE 802.3 10Base-T IEEE 802.3u 100Base-TX IEEE 802.3ab 1000BASE-T IEEE 802.3z 1000BASE-SX/LX(SFP) 1000BASE-ZX(Cisco Systems SFP) IEEE 802.3af/at Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3x Flow Control and Back Pressure IEEE 802.3ad Link Aggregation Control Protocol (LACP) IEEE 802.1d STP IEEE 802.1w RSTP IEEE 802.1s MSTP IEEE 802.1Q VLAN	
スイッチング容量		20Gbps	56Gbps
MACアドレス登録数		8K	
最大フレーム長		10Kbytes (VLAN Tag含む)	
管理機能		Console、SNMPv1,v2c,v3、TELNET、SSH、HTTP、SSL	
インタフェース		RJ-45 × 8 ポート ・10/100/1000BASE-T ・PoE (Power over Ethernet)	RJ-45 × 24 ポート ・10/100/1000BASE-T ・PoE (Power over Ethernet)
		SFP × 2 ポート ・1000BASE-SX/LX/ZX	SFP × 4 ポート ・1000BASE-SX/LX/ZX
		コンソール x1 ポート	
寸法		(W)330 x (H)42.6 x (D)204mm (突起部含まず)	(W)440 x (H)44 x (D)220mm (突起部含まず)
重量		2.4kg	2.8kg
電源		AC 100-240V,50-60Hz	
消費電力	PoE未使用時	35W(最大)	60W(最大)
	PoE使用時	160W(最大)	260W(最大)
PoE	給電方式	Alternative A	
	最大給電電力	30W(1ポートあたり) 125W(装置全体)	30W(1ポートあたり) 200W(装置全体)

動作温度	0～40℃	0～50℃
動作湿度	10～90%RH（結露なきこと）	
保存温度	-40～+70℃	
保存湿度	10～90%RH（結露なきこと）	
認定	WEEE、RoHS、CSA/CUS (CSA 22.2. NO 60950-1 & UL60950-1) CB (IEC60950-1)、FCC Class A、EN 61000-3-2/3 EN55022 (CISPR 22) Class A、VCCI Class A	
付属品	ゴム足 x 4 19インチラックマウントキット 電源ケーブル x 1	

製品名	ECS2100-28PP
規格	IEEE 802.3 10Base-T IEEE 802.3u 100Base-TX IEEE 802.3ab 1000BASE-T IEEE 802.3z 1000BASE-SX/LX(SFP) 1000BASE-ZX(Cisco Systems SFP) IEEE 802.3af/at Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3x Flow Control and Back Pressure IEEE 802.3ad Link Aggregation Control Protocol (LACP) IEEE 802.1d STP IEEE 802.1w RSTP IEEE 802.1s MSTP IEEE 802.1Q VLAN
スイッチング容量	56Gbps
MACアドレス登録数	8K
最大フレーム長	10Kbytes (VLAN Tag含む)
管理機能	Console、SNMPv1,v2c,v3、TELNET、SSH、HTTP、SSL
インタフェース	RJ-45 x 24 ポート ・10/100/1000BASE-T ・PoE (Power over Ethernet)
	SFP x 4 ポート ・1000BASE-SX/LX/ZX
	コンソール x1 ポート
寸法	(W)440 x (H)44 x (D)220mm (突起部含まず)

重量		3.1kg
電源		AC 100-240V,50-60Hz
消費電力	PoE未使用時	120W(最大)
	PoE使用時	490W(最大)
PoE	給電方式	Alternative A
	最大給電電力	30W(1ポートあたり) 370W(装置全体)
動作温度		0～45℃
動作湿度		10～90%RH（結露なきこと）
保存温度		-40～+70℃
保存湿度		10～90%RH（結露なきこと）
認定		WEEE、RoHS、CSA/CUS (CSA 22.2. NO 60950-1 & UL60950-1) CB (IEC60950-1)、FCC Class A、EN 61000-3-2/3 EN55022 (CISPR 22) Class A、VCCI Class A
付属品		ゴム足 x 4 19インチラックマウントキット 電源ケーブル x 1

8. 困ったときは

本製品の使用中になんらかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか
- 電源には、適切な電圧が供給されているか
- 正しいポートに、電圧が供給されているか

RJ-45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- 接続先の機器の電源は、オンになっているか
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか

9. 製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。

- 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
- 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させていただきます。
- 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
- 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせていただきますのでご了承ください。

初期不良保証期間：

ご購入日より **3ヶ月間**（弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応）

製品保証期間：

《本体》ご購入日より **2年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせていただきます。
（修理できない場合もあります）
 - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社

カスタマサポート

TEL 0570-060030

E-mail support@hytec.co.jp

受付時間 平日 9:00～17:00